

健康に関するアンケート調査結果

清 須 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1	回答者の属性	3
1-1	性別（問1）	3
1-2	年齢（問2）	3
1-3	居住地区（問3）	3
1-4	職業（問4）	4
1-5	平均労働時間（問5）	4
1-6	健康保険の種類（問6）	4
1-7	家族構成（問7）	4
1-8	身長・体重・BMI（問8）	5
2	健康について	7
2-1	自分の体型評価	7
2-2	適正体重の把握	8
2-3	定期的な体重測定の有無	9
2-4	体型改善の意向	10
2-5	主観的健康観	11
2-6	健康に関する悩みや不安	14
2-7	健康への配慮	15
2-8	「健康日本21 清須計画」の認知度	17
3	栄養・食生活について	18
3-1	健康のために食生活に気をつける必要性	18
3-2	朝食の摂取状況	20
3-3	朝食を毎日食べない理由	21
3-4	主食・主菜・副菜をそろえた食事の頻度	22
3-5	2人以上で食事をする機会	24
3-6	野菜の意識的な摂取	25
3-7	食事について気をつけていること	26
3-8	適切な食事内容・量の認知度	27
3-9	外食の頻度	29
3-10	栄養成分表示の活用	30

3-11	自分の食生活について	32
3-12	食生活の改善意向	33
4	身体活動・運動について	35
4-1	健康における運動の必要性	35
4-2	運動不足に対する意識	36
4-3	身体を動かす心がけ	38
4-4	1日の平均歩数	39
4-5	運動習慣	40
4-6	運動をしていない理由	41
4-7	運動習慣の改善意向	43
4-8	「ロコモティブシンドローム」の認知度	44
5	休養・こころの健康について	46
5-1	健康のために睡眠や休養をとる必要性	46
5-2	平均睡眠時間／日	47
5-3	睡眠の充足度	48
5-4	睡眠の状況	49
5-5	睡眠による疲れの解消度	51
5-6	1か月間にストレスを感じたこと	52
5-7	ストレスが大きくて逃げ出したいと思うこと	54
5-8	ストレス解消方法の有無	57
5-9	何でも話せる人の有無	58
5-10	趣味の有無	59
5-11	生きがいや楽しみ	60
5-12	市が行う心の健康相談窓口の認知度	62
6	たばこについて	63
6-1	喫煙状況	63
6-2	受動喫煙への配慮	67
6-3	禁煙意向	68
6-4	保険適用である禁煙外来の利用意向	70
6-5	禁煙をした動機	71
6-6	喫煙による健康への影響	73
6-7	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度	74
7	アルコールについて	76
7-1	節度ある適度な飲酒の認知度	76
7-2	飲酒状況	78
7-3	飲酒量／日	81
7-4	節度ある適度な飲酒の実施意向	82
7-5	生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度	84
8	歯と口腔の健康について	85
8-1	歯の本数	85

8-2	歯ぐきの異常の有無.....	86
8-3	歯の健康管理.....	88
8-4	8020 運動の認知度.....	89
8-5	歯周病の認知度.....	91
8-6	歯・口腔の健康と関連がある疾病の認知度.....	92
9	生活習慣病の予防について.....	94
9-1	生活習慣病の認知度.....	94
9-2	健康的な生活習慣への改善意向.....	95
9-3	健診や人間ドックの受診状況.....	97
9-4	健診結果の活用.....	98
9-5	受けなかった理由.....	100
9-6	がん検診の受診状況.....	102
9-7	がん検診を受診した項目・検診を受けた実施主体.....	103
10	社会参加・社会環境について.....	105
10-1	ボランティア活動への参加状況.....	105
10-2	参加したボランティア活動の内容.....	106
10-3	人との交流の程度.....	108
10-4	住んでいる地域について.....	109
11	行政の取り組み等について.....	110
11-1	市の保健事業の利用意向.....	110
11-2	実施希望の保健事業.....	112
11-3	健康に暮らすまちをつくるために行政に望むこと.....	113
11-4	自由意見.....	115
12	中学生以下の子どもがいる保護者への質問.....	116
12-1	子どもの年齢.....	116
12-2	子どもの「食」について気をつけていること.....	116
12-3	子どもが大人と一緒に食事をする機会.....	117
12-4	子どもの運動の状況.....	117
12-5	子どもの生活習慣.....	118
12-6	家族内喫煙者の有無.....	118
12-7	子どもへの受動喫煙への配慮.....	119
12-8	子どもへの飲酒防止への配慮.....	119
12-9	子どもの歯科健診.....	120
12-10	子どもの健康について気になっていること.....	121
12-11	自由意見.....	122

I 調査の概要

1 調査の目的

- 市民の健康に関する意識や生活習慣等を把握し、市民の健康の保持・増進を目指した「健康日本21清須計画」策定の基礎資料を得る目的で実施した。

2 調査の設計

調査地域： 清須市全体
調査対象： 清須市在住の20歳以上の男女
サンプル数： 2,000件
調査方法： 郵送配布、郵送回収
調査時期： 平成26年6月

3 回収結果

配布数	回収数	有効	無効
2,000 100.0%	852 42.6%	850 42.5%	2 0.2%

※白紙票は無効とした。

【年代別回収結果】

年代	配布数	回収数(有効)
20歳代	276 100.0%	70 25.4%
30歳代	387 100.0%	133 34.4%
40歳代	370 100.0%	129 34.9%
50歳代	270 100.0%	112 41.5%
60歳代	323 100.0%	168 52.0%
70歳以上	374 100.0%	228 61.0%

4 報告書の見方

- ①比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100にならないこともある。
- ②基数となるべき実数は「件数」として掲載した。したがって比率は、件数を100%として算出している。
- ③複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をする。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- ④本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- ⑤肥満の判定は、BMI（Body Mass Index）で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会による肥満の判定基準により判定した。この指数は22を標準とし、18.5未満ではやせすぎ、25.0以上では肥満となる。

計算方法：BMI = 体重kg / (身長×身長) m

- ⑥調査結果の中で、前回の調査結果との比較を盛り込んでいる設問がある。

前回の調査の設計は以下のとおりである。

調査名称：健康に関するアンケート調査
調査地域：清須市全域
調査対象：清須市在住の20歳以上の男女
サンプル数：2,000件
有効回収数：862件（有効回収率43.1%）
調査方法：郵送配布、郵送回収
調査時期：平成22年8月

- ⑦調査結果の中で、愛知県の調査結果と清須市の調査結果との比較を盛り込んでいる設問がある。

愛知県の調査の設計は以下のとおりである。

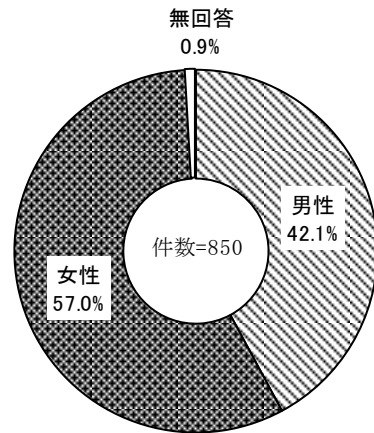
調査名称：平成24年愛知県生活習慣関連調査
調査地域：愛知県全域
調査対象：県内在住の20歳以上の男女
サンプル数：5,000件
有効回収数：1,884件（有効回収率37.7%）
調査方法：郵送配布、郵送回収
調査時期：平成24年8月27日～9月27日

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

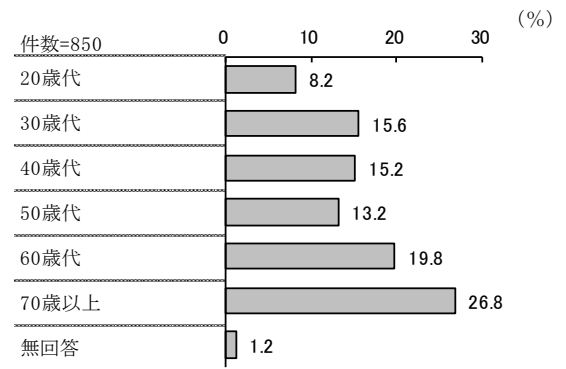
1-1 性別（問1）

- 調査回答者の性別は「男性」が42.1%、女性が57.0%で、女性の割合が高くなっている。



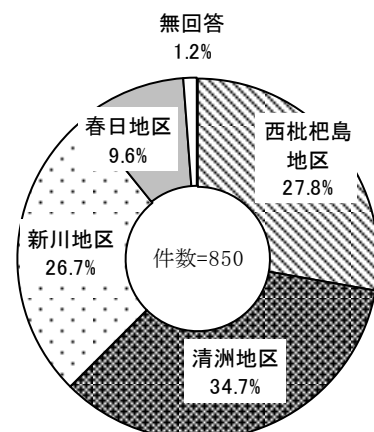
1-2 年齢（問2）

- 調査回答者の年齢は、「70歳以上」の回答が26.8%で最も高くなっている。最も低いのは「20歳代」で8.2%となっている。



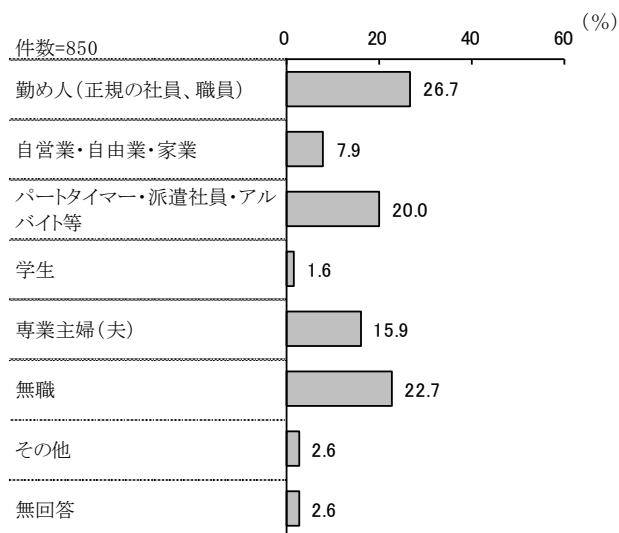
1-3 居住地区（問3）

- 調査回答者の居住地区は、「清洲地区」が34.7%で最も高く、次いで「西枇杷島地区」が27.8%、「新川地区」が26.7%、「春日地区」が9.6%となっている。



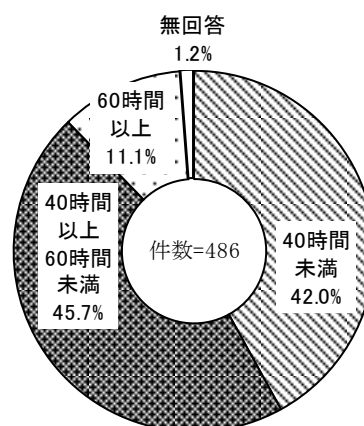
1-4 職業（問4）

- 職業は、「勤め人（正規の社員、職員）」が26.7%で最も高く、次いで「無職」が22.7%、「パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」が20.0%、「専業主婦（夫）」が15.9%となっている。



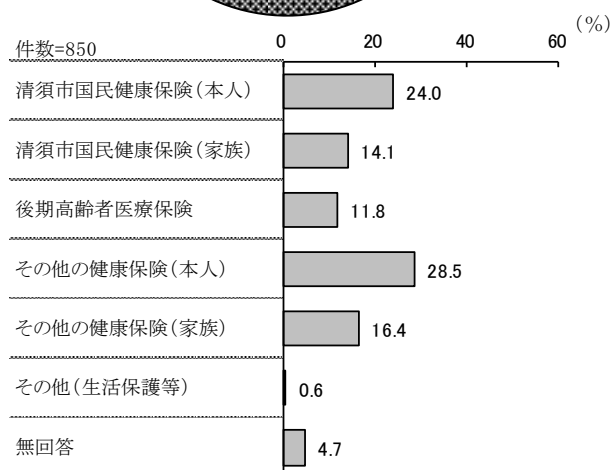
1-5 平均労働時間（問5）

- 「勤め人（正規の社員、職員）」「自営業・自由業・家業」「パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」と回答した人に平均労働時間をたずねたところ、「40時間以上60時間未満」が45.7%で最も高く、次いで「40時間未満」が42.0%、「60時間以上」が11.1%となっている。



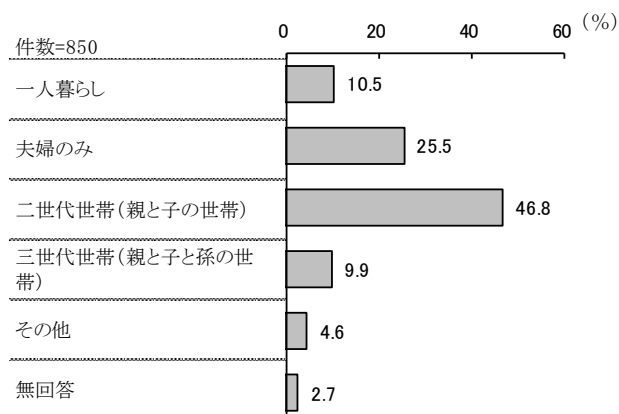
1-6 健康保険の種類（問6）

- 健康保険の種類は、「その他の健康保険（本人）」が28.5%で最も高く、次いで「清須市国民健康保険（本人）」が24.0%、「その他の健康保険（家族）」が16.4%、「清須市国民健康保険（家族）」が14.1%となっている。



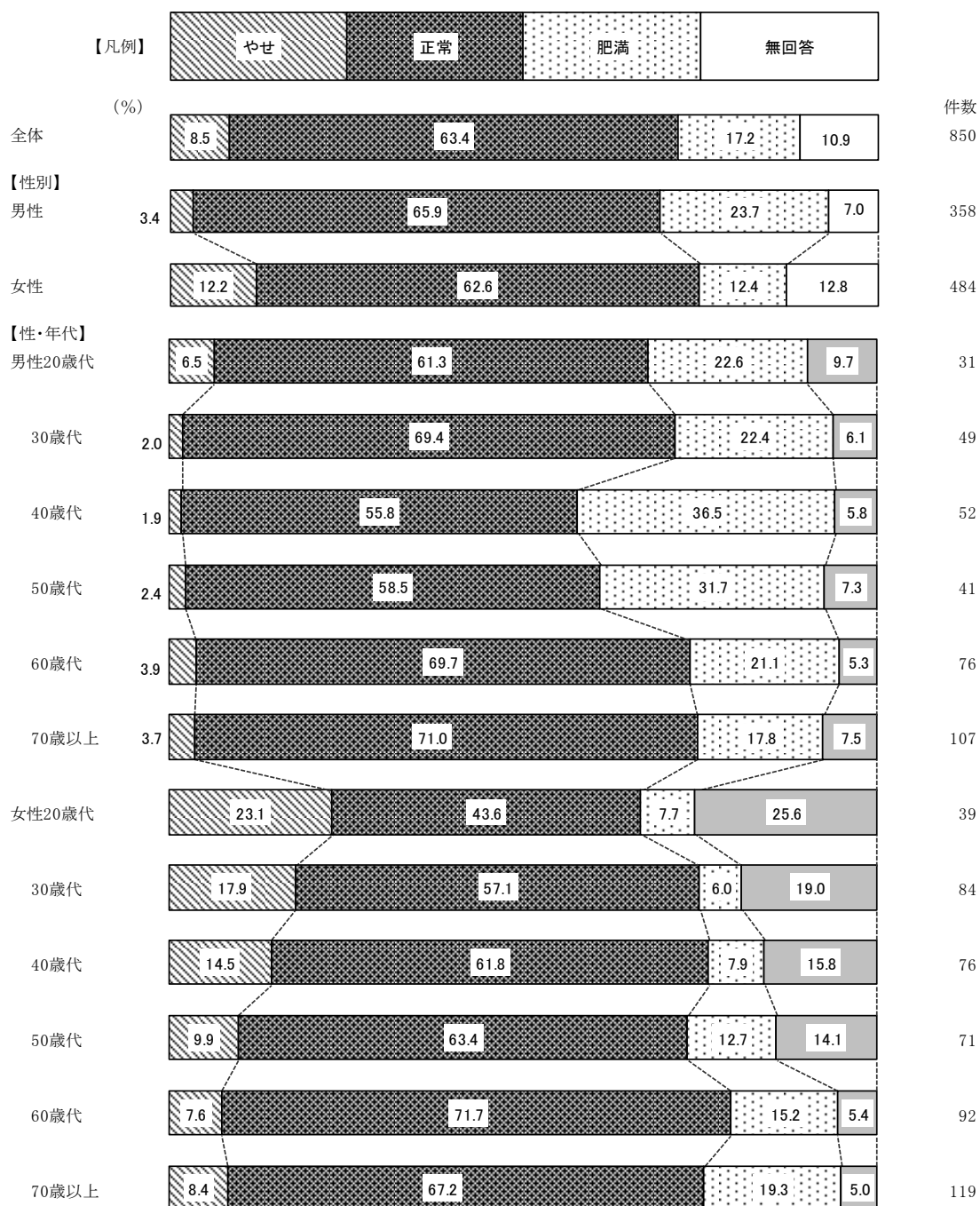
1-7 家族構成（問7）

- 家族構成は、「二世世代世帯（親と子の世帯）」が46.8%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.5%、「一人暮らし」が10.5%、「三世世代世帯（親と子と孫の世帯）」が9.9%となっている。



1-8 身長・体重・BMI（問8）

- 日本肥満学会の基準で現在のBMIをみると、「正常（18.5以上25.0未満）」が63.4%で最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」が17.2%、「やせ（18.5未満）」が8.5%となっている。
- 性別でみると、男性の「肥満」は23.7%、女性の「やせ」は12.2%となっている。
- 性・年齢別でみると、男性の「肥満」は40歳代（36.5%）、50歳代（31.7%）で高く、女性の「やせ」は20歳代（23.1%）、30歳代（17.9%）で高くなっている。



- 市の前回調査（平成22年実施）と比較すると、全体では大きな差はみられないが、性別でみると、男性の「肥満」は1.9ポイント減少し、女性の「やせ」は1.8ポイント増加している。

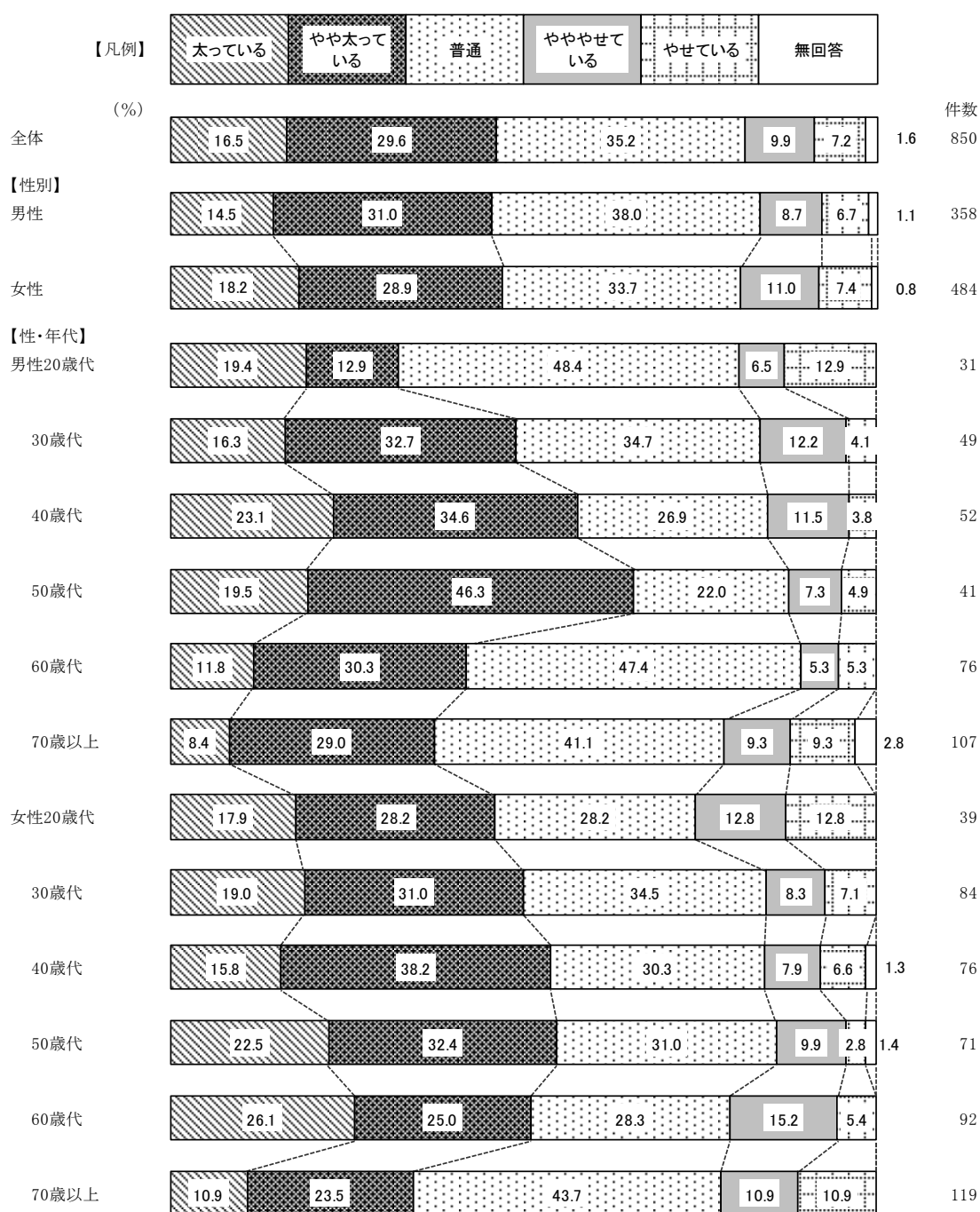
		(件 数)	や せ	正 常	肥 満	無 回 答
		(%)				
全体	今回調査 (H26)	850	8.5	63.4	17.2	10.9
	前回調査 (H22)	862	8.5	66.6	17.1	7.9
男性	今回調査 (H26)	358	3.4	65.9	23.7	7.0
	前回調査 (H22)	383	6.3	65.3	25.6	2.9
女性	今回調査 (H26)	484	12.2	62.6	12.4	12.8
	前回調査 (H22)	473	10.4	67.7	10.1	11.8

2 健康について

2-1 自分の体型評価

問9 今の自分の体型をどう思いますか。(1つだけ)

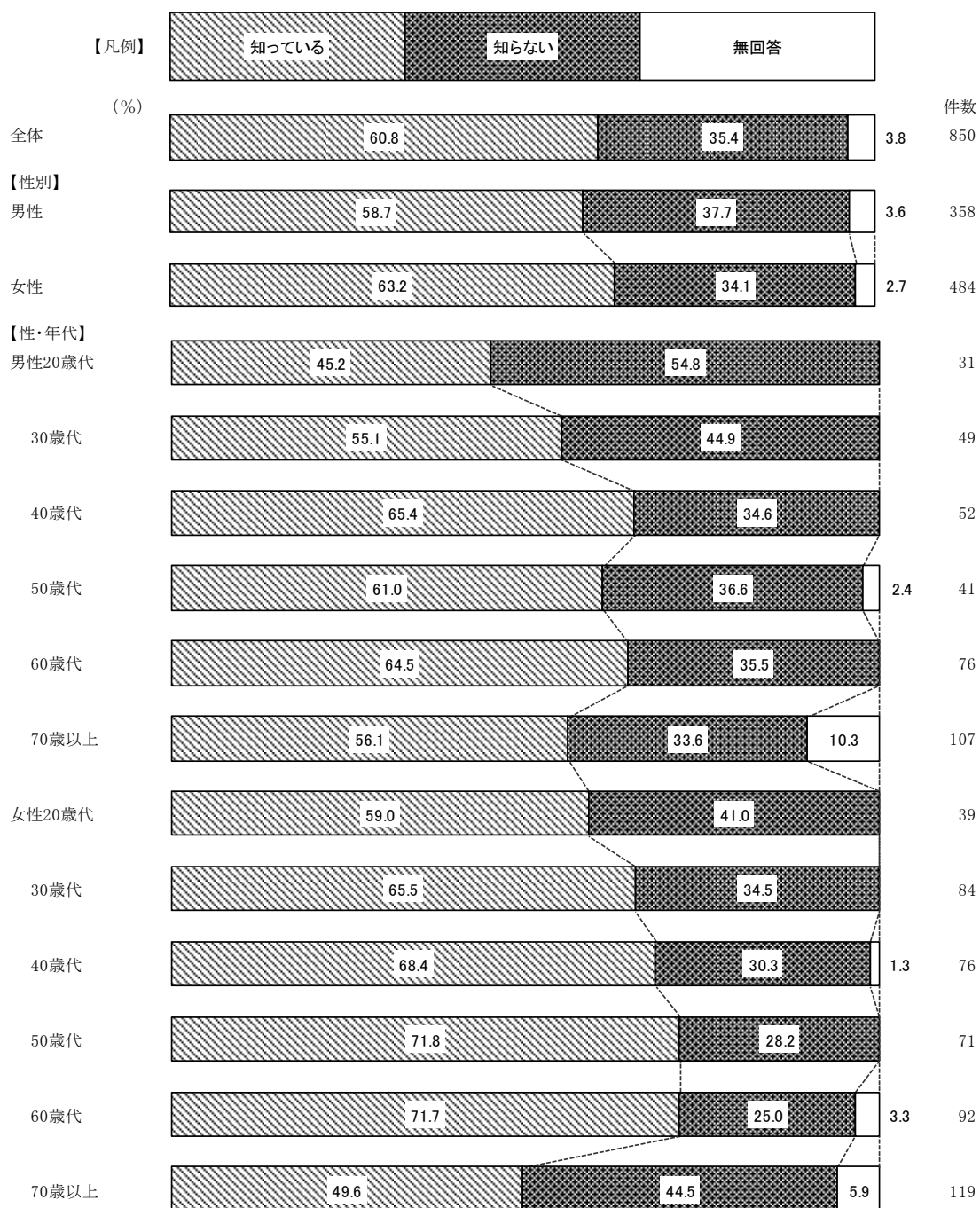
- 自分の体型評価は、「普通」が35.2%で最も高くなっている。また、『太っている』※と評価する人は46.1%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年齢別でみると、「やや太っている」は男性50歳代（46.3%）の割合が高くなっている。また、『太っている』と評価する人は男性では40歳代（57.7%）、50歳代（65.8%）、女性では30歳代（50.0%）、40歳代（54.0%）、50歳代（54.9%）、60歳代（51.1%）で5割以上となっている。
※「太っている」「やや太っている」の計



2-2 適正体重の把握

問10 自分の適正体重を知っていますか。(1つだけ)

- 適正体重の把握は、「知っている」が60.8%となっている。
- 性別で見ると、「知っている」は男性が58.7%、女性が63.2%となっている。
- 性・年齢別で見ると、女性の50歳代(71.8%)、60歳代(71.7%)が7割以上で高くなっている。



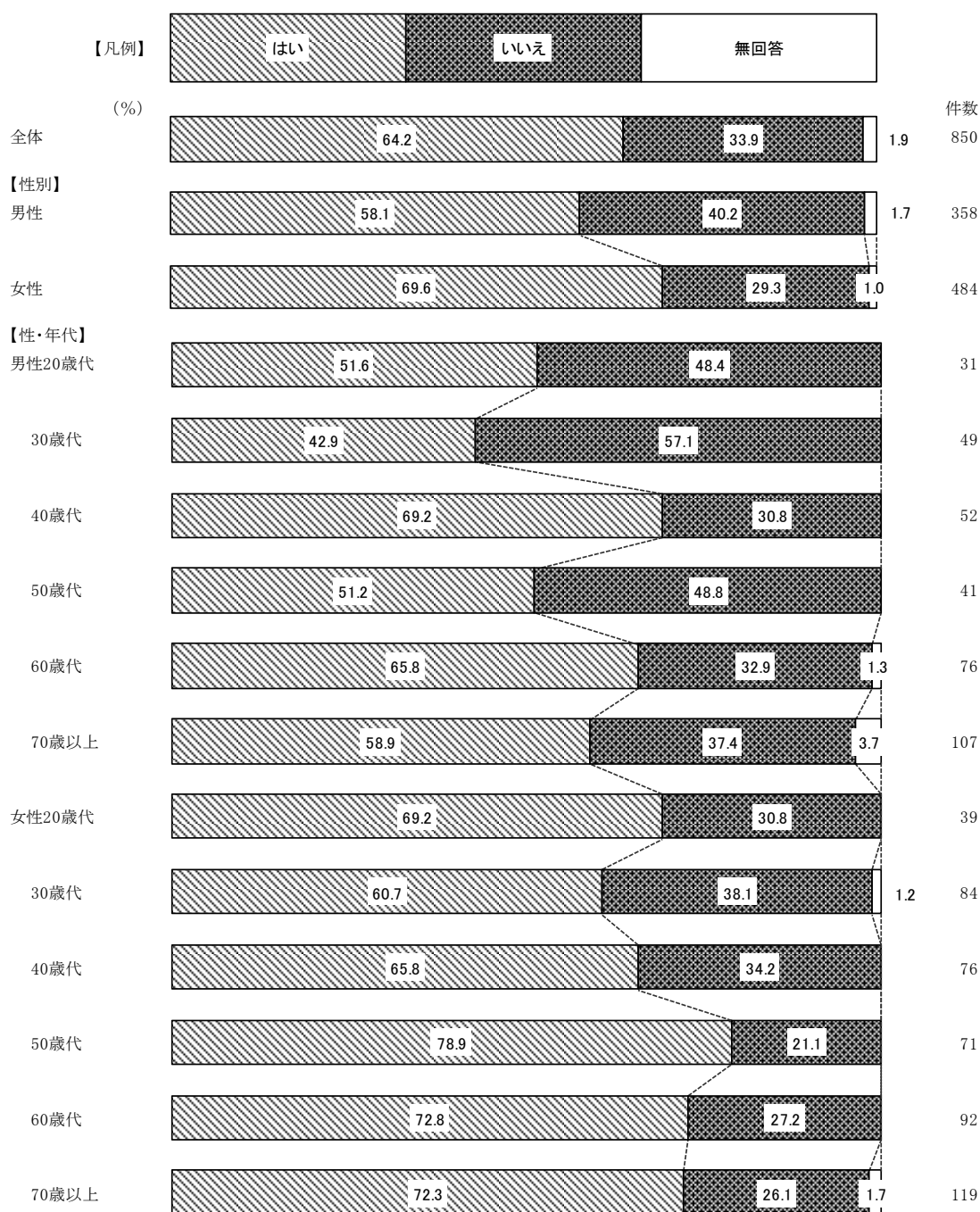
- 前回調査と比較すると、「知っている」は10.6ポイント増加している。

(%)	(件数)	知っている	知らない	無回答
今回調査 (H26)	850	60.8	35.4	3.8
前回調査 (H22)	862	50.2	45.0	4.8

2-3 定期的な体重測定の有無

問11 定期的（目安：1か月に1回以上）に体重を測定していますか。（1つだけ）

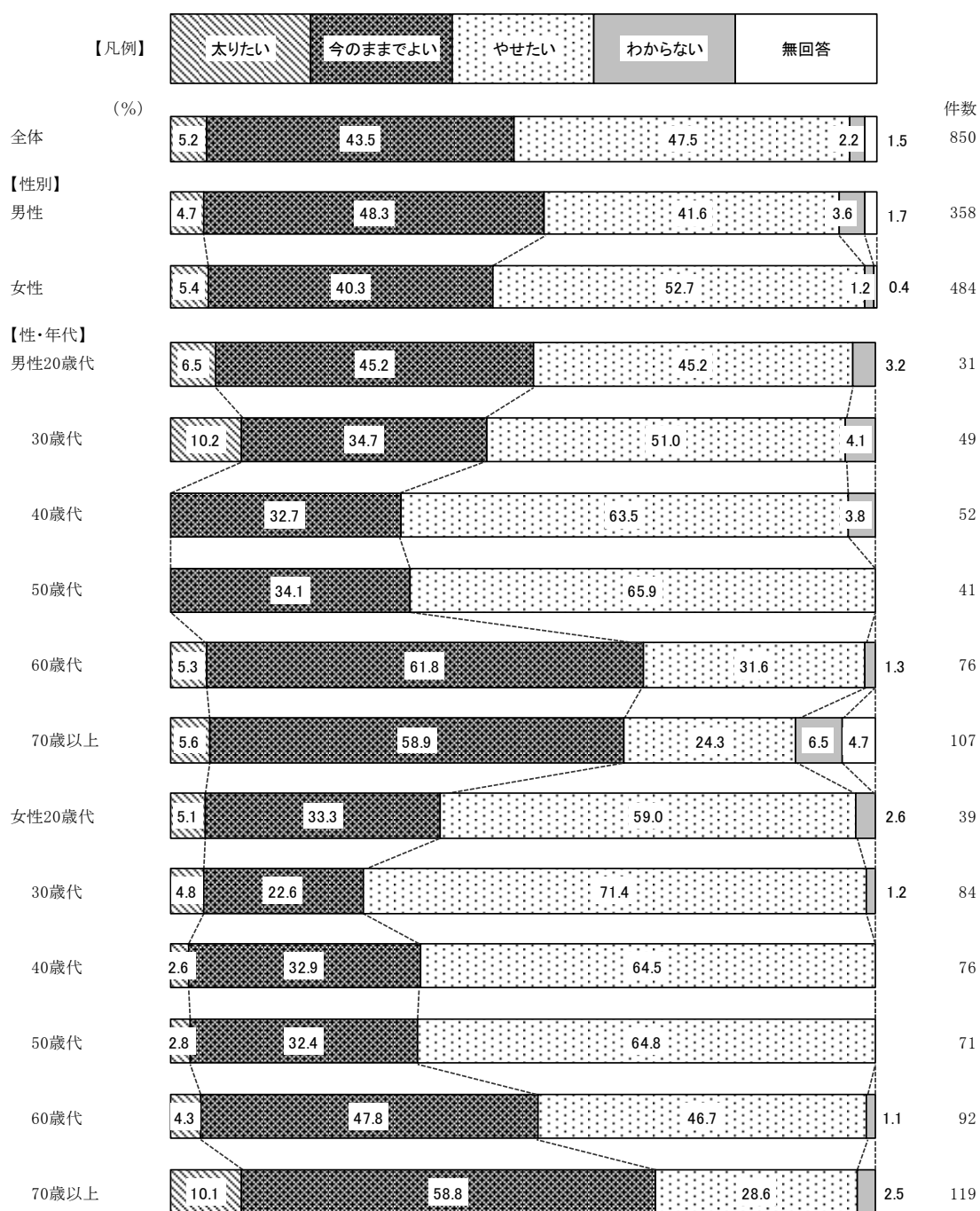
- 定期的（目安：1か月に1回以上）な体重測定の有無は、「はい」が64.2%となっている。
- 性別で見ると、「はい」は女性（69.6%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「はい」は女性の50歳代（78.9%）、60歳代（72.8%）、70歳以上（72.3%）で7割以上となっている。一方「いいえ」は男性の30歳代（57.1%）で5割以上となっている。



2-4 体型改善の意向

問12 今後、自分の体型をどうしたいですか。(1つだけ)

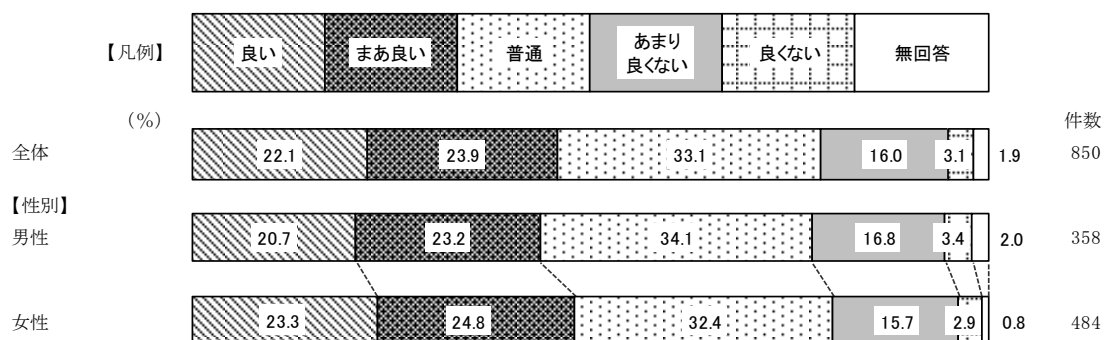
- 体型改善の意向は、「やせたい」が47.5%、次いで「今のままでよい」が43.5%となっている。
- 性別で見ると、「今のままでよい」は男性(48.3%)が高く、「やせたい」は女性(52.7%)で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「今のままでよい」は男性の60歳代(61.8%)、70歳以上(58.9%)、女性の70歳以上(58.8%)で6割前後の割合となっている。また、「やせたい」は女性の30歳代(71.4%)で7割以上と高く、男女ともに40歳代・50歳代で6割以上となっている。



2-5 主観的健康観

問13 現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

- 主観的健康観は、「普通」が33.1%で最も高くなっている。また、『良い※1』は46.0%、『良くない※2』は19.1%となっている。
 - 性別でも、大きな差はみられない。
 - 居住地区別でも、大きな差はみられない。
- ※1 「良い」「まあ良い」の計
 ※2 「あまり良くない」「良くない」の計

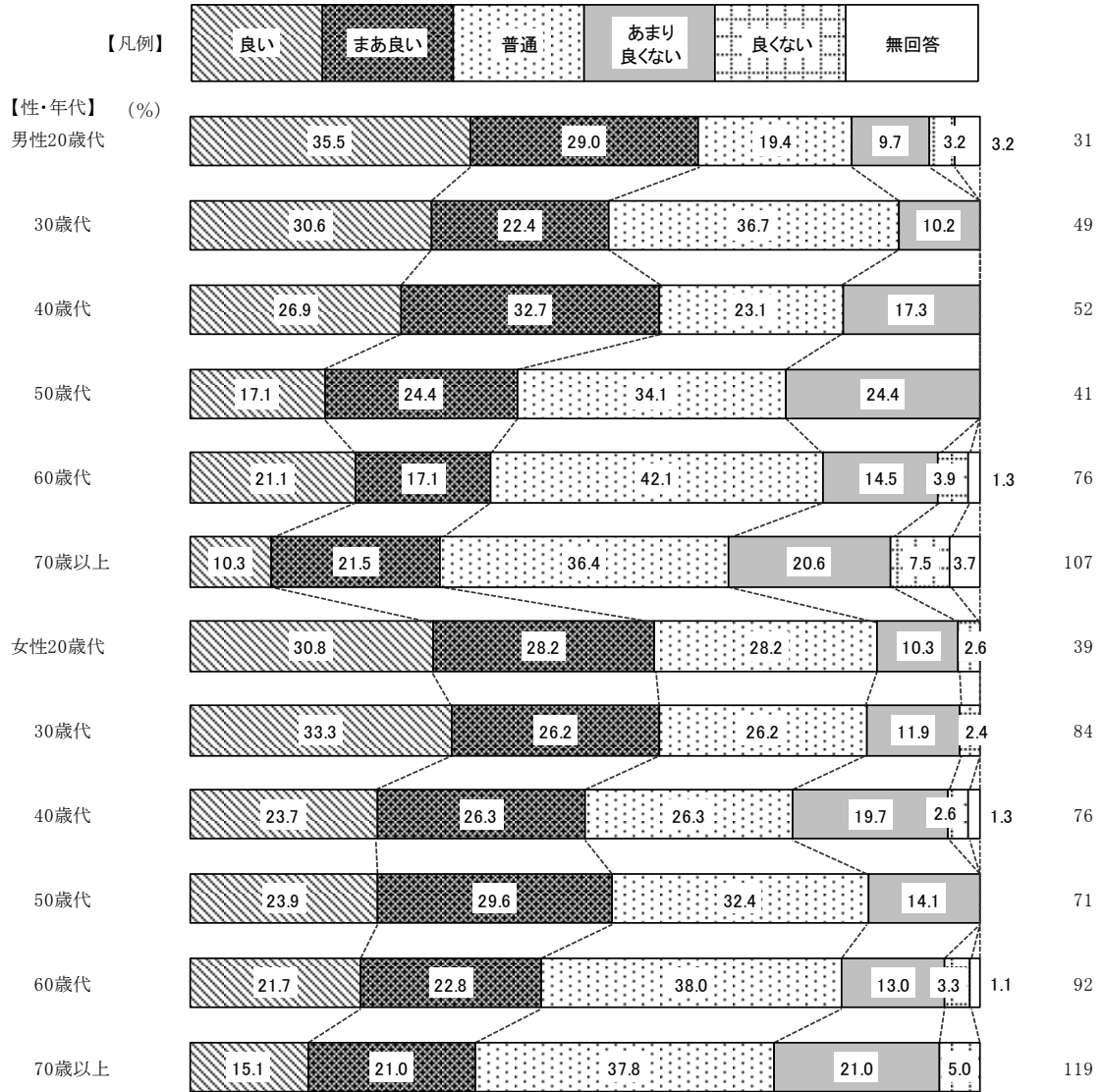


	件数	良好	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答
(%)							
全体	850	22.1	23.9	33.1	16.0	3.1	1.9
西枇杷島地区	236	20.3	25.0	30.9	17.4	4.7	1.7
清洲地区	295	23.4	24.4	32.9	16.3	2.7	0.3
新川地区	227	23.3	23.3	35.2	14.1	2.6	1.3
春日地区	82	22.0	23.2	36.6	18.3	-	-

- 愛知県の調査（平成24年実施）と比較すると、『良好』は清須市が46.0%、愛知県が51.8%で、清須市の割合が低くなっている。

	(件数)	良好	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答
(%)							
今回調査 (H26)	850	22.1	23.9	33.1	16.0	3.1	1.9
愛知県 (H24)	1,884	25.2	26.6	32.5	12.0	2.2	1.4

- 性・年齢別でみると、『良い』は男女ともに高年齢になるほど割合が低くなる傾向にあり、男性では20歳代が64.5%であるのに対し70歳以上は31.8%、女性では20歳代が59.0%であるのに対し70歳以上では36.1%となっている。



- 問60ボランティア活動への参加状況を主観的健康観別（3段階）でも、大きな差はみられない。

問60 ボランティア活動への参加状況
問13 主観的健康観（3段階）

	件数	行った	行わなかった	無回答
(%)				
全体	850	17.2	77.9	4.9
良い	391	18.4	78.0	3.6
普通	281	15.3	78.3	6.4
良くない	162	17.3	78.4	4.3

- 問61交流の程度を主観的健康観別（3段階）で見ると、「ア ご近所の方」「イ 友人・知人」では、交流が「日常的にある」は「良くない」の割合が低くなっている。

ア ご近所の方
問13 主観的健康観（3段階）

	件数	日常的にある	ときどきある	めったにない	無回答
(%)					
全体	850	24.0	36.2	32.6	7.2
良い	391	26.3	35.3	34.0	4.3
普通	281	25.3	35.9	28.5	10.3
良くない	162	16.0	40.7	36.4	6.8

ウ 親戚・親類
問13 主観的健康観（3段階）

	件数	日常的にある	ときどきある	めったにない	無回答
(%)					
全体	850	20.2	52.6	19.3	7.9
良い	391	22.8	54.5	17.4	5.4
普通	281	18.1	53.0	18.9	10.0
良くない	162	17.3	48.8	25.3	8.6

イ 友人・知人
問13 主観的健康観（3段階）

	件数	日常的にある	ときどきある	めったにない	無回答
(%)					
全体	850	34.9	46.1	11.3	7.6
良い	391	41.2	45.0	8.4	5.4
普通	281	32.0	48.4	10.3	9.3
良くない	162	25.3	46.9	19.1	8.6

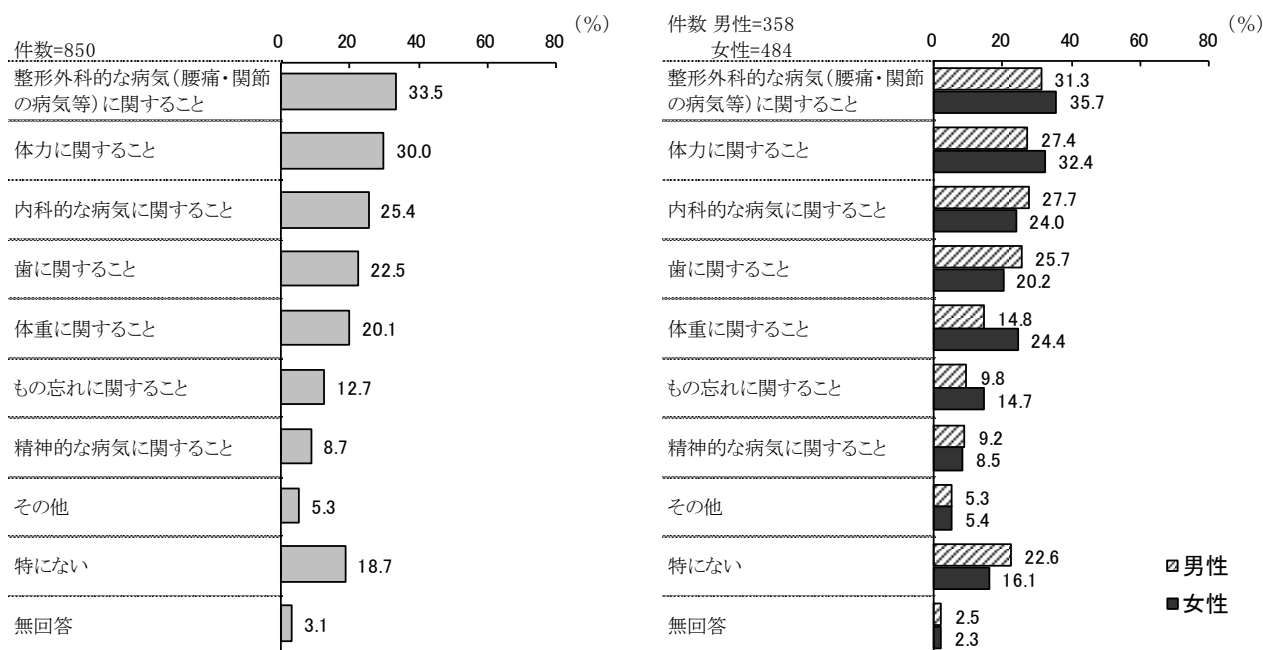
エ 家族
問13 主観的健康観（3段階）

	件数	日常的にある	ときどきある	めったにない	無回答
(%)					
全体	850	78.1	11.4	2.8	7.6
良い	391	83.1	11.3	1.5	4.1
普通	281	75.1	11.0	3.2	10.7
良くない	162	72.2	13.6	4.9	9.3

2-6 健康に関する悩みや不安

問14 健康に関してどのような悩みや不安がありますか。(いくつでも)

- 健康に関する悩みや不安は、「特にない」が18.7%、何らかの不安がある人※が78.2%となっている。不安については「整形外科的な病気（腰痛・関節の病気等）に関すること」が33.5%、次いで「体力に関すること」が30.0%となっている。
 - 性別でみると、「体重に関すること」は女性（24.4%）の割合が高くなっている。
 - 性・年齢別でみると、「整形外科的な病気（腰痛・関節の病気等）に関すること」は女性70歳以上（47.9%）で高く、「体重に関すること」は女性の20歳代から50歳代がそれぞれ3割台で高くなっている。また、「特にない」は男性20歳代（51.6%）で高くなっている。
- ※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合



	件数(件)	整形外科的な病気(腰痛・関節の病気等)に関すること (%)	体力に関すること (%)	内科的な病気に関すること (%)	歯に関すること (%)	体重に関すること (%)	もの忘れに関すること (%)	精神的な病気に関すること (%)	その他 (%)	特にない (%)	無回答 (%)
全体	850	33.5	30.0	25.4	22.5	20.1	12.7	8.7	5.3	18.7	3.1
男性20歳代	31	9.7	16.1	12.9	9.7	12.9	3.2	3.2	3.2	51.6	3.2
30歳代	49	18.4	14.3	20.4	24.5	24.5	8.2	8.2	6.1	28.6	-
40歳代	52	26.9	34.6	17.3	23.1	26.9	5.8	19.2	1.9	21.2	-
50歳代	41	34.1	39.0	26.8	29.3	22.0	4.9	14.6	2.4	12.2	2.4
60歳代	76	39.5	32.9	34.2	31.6	14.5	6.6	6.6	6.6	17.1	1.3
70歳以上	107	39.3	25.2	35.5	27.1	2.8	18.7	6.5	7.5	20.6	4.7
女性20歳代	39	20.5	25.6	15.4	17.9	33.3	-	10.3	5.1	23.1	-
30歳代	84	22.6	41.7	20.2	31.0	34.5	8.3	11.9	9.5	13.1	1.2
40歳代	76	32.9	38.2	31.6	27.6	34.2	14.5	17.1	3.9	17.1	-
50歳代	71	40.8	42.3	25.4	18.3	31.0	8.5	4.2	5.6	11.3	1.4
60歳代	92	38.0	29.3	23.9	15.2	18.5	19.6	6.5	6.5	17.4	1.1
70歳以上	119	47.9	21.8	24.4	14.3	9.2	24.4	4.2	2.5	17.6	4.2

- 前回調査と比較すると、何らかの不安がある人の割合は5.2ポイント減少し（前回83.4%→今回78.2%）、「体重に関すること」が11.7ポイント、「体力に関すること」が6.7ポイント減少している。また、「歯に関すること」が5.1ポイント増加している。

(%)	件数(件)	等（腰痛・関節の病気に 整形外科的な病気に 関すること	体力に関すること	内科的な病気に 関すること	歯に関すること	体重に関すること	もの忘れに関するこ と	精神的な病気に 関すること	その他	特 に な い	無 回 答
今回調査 (H26)	850	33.5	30.0	25.4	22.5	20.1	12.7	8.7	5.3	18.7	3.1
前回調査 (H22)	862	32.1	36.7	27.5	17.4	31.8	14.8	12.3	3.4	13.1	3.5

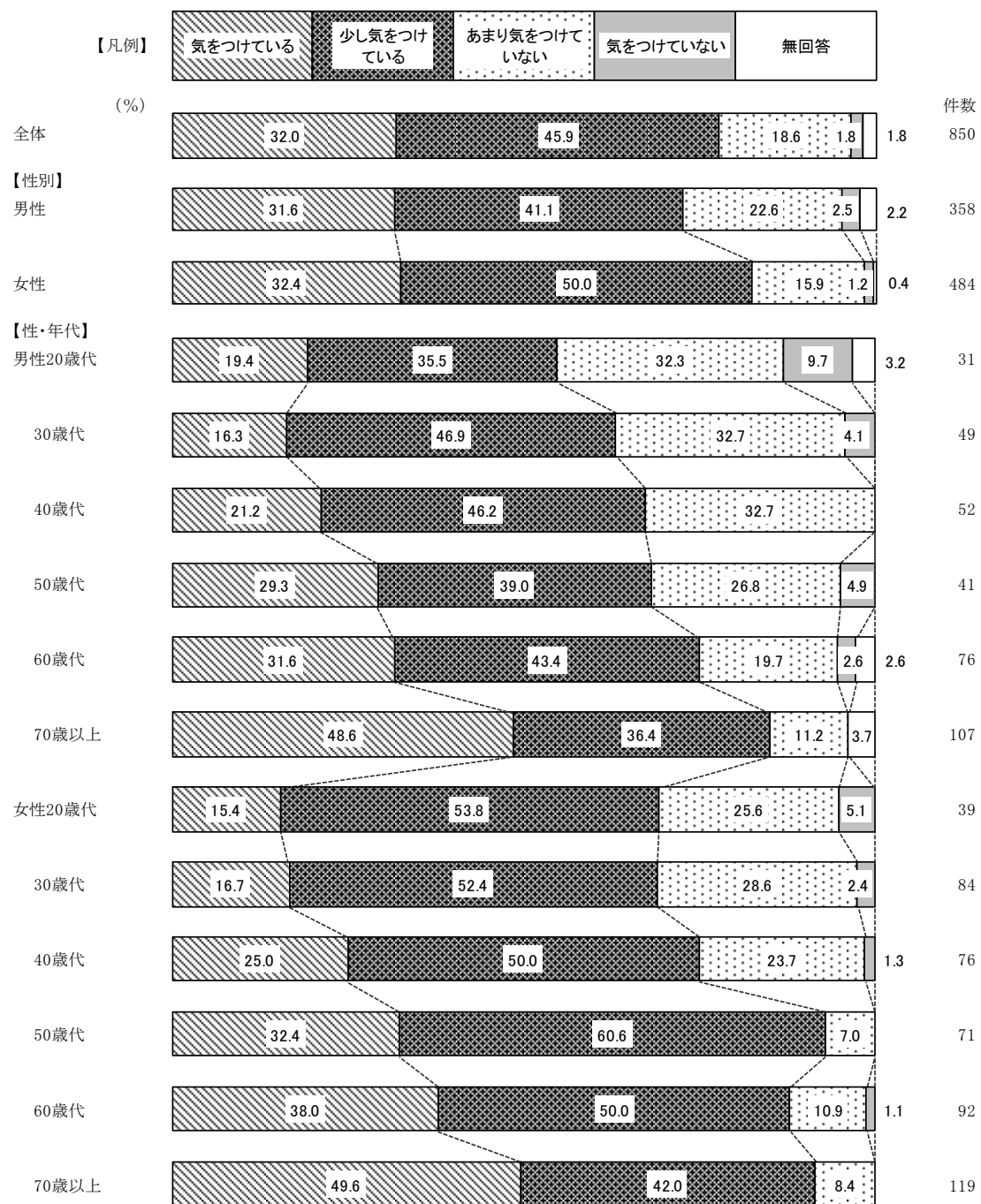
2-7 健康への配慮

問15 ふだん健康に気をつけていますか。（1つだけ）

- 健康への配慮は、「少し気をつけている」が45.9%で最も高くなっている。次いで「気をつけている」が32.0%であり、これらを合わせた『気をつけている※1』人は77.9%となる。
- 性別で見ると、『気をつけている』は女性（82.4%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、『気をつけている』は女性50歳代（93.0%）、60歳代（88.0%）、70歳以上（91.6%）で高くなっている。一方、『気をつけていない※2』は男性20歳代（42.0%）で高くなっている。

※1 「気をつけている」「少し気をつけている」の計

※2 「あまり気をつけていない」「気をつけていない」の計



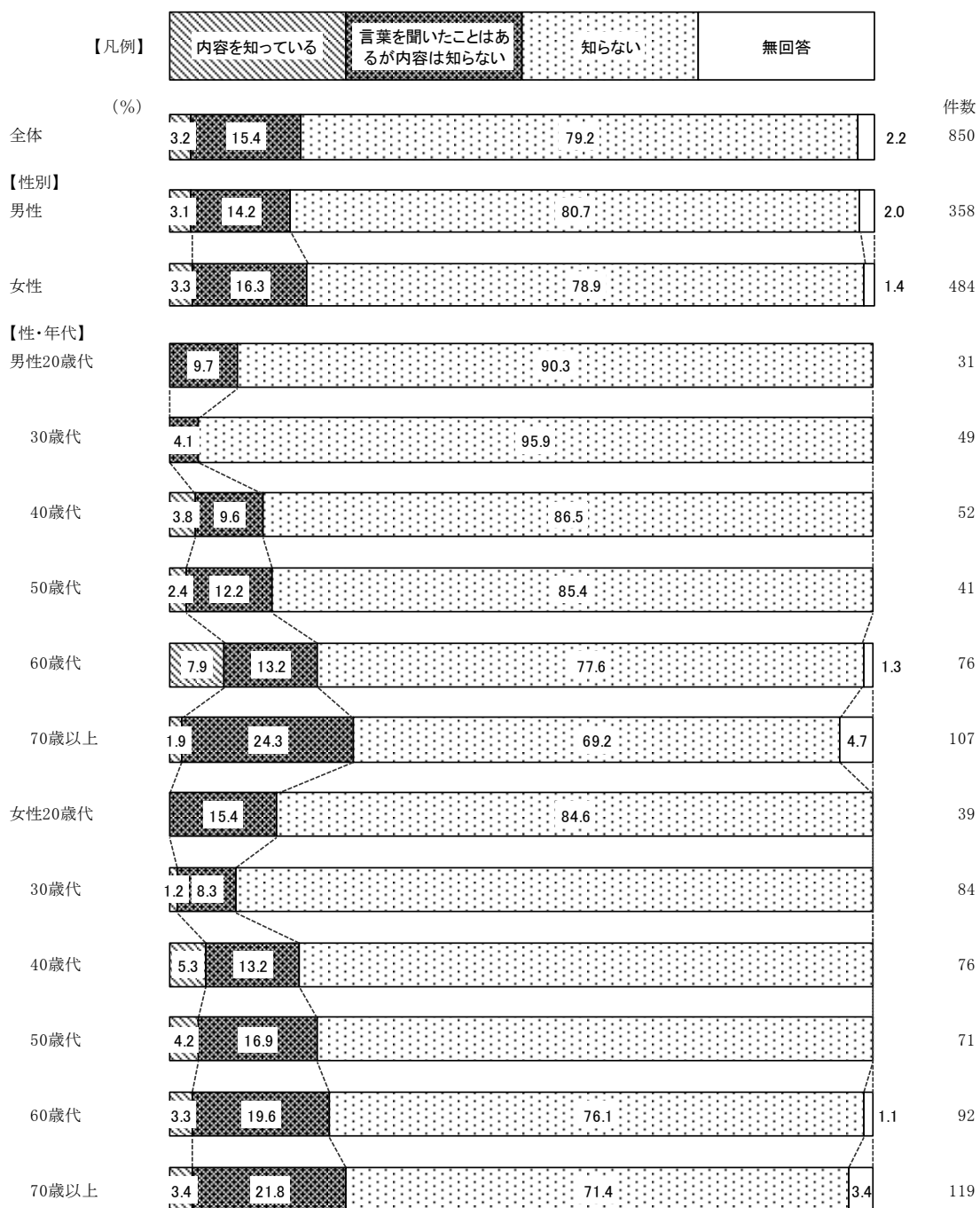
● 前回調査と比較すると、『気をつけている』人の割合は6.1ポイント増加している（前回71.8%→今回77.9%）。

	件数 (件)	気をつけている (%)	少し気をつけている (%)	あまり気をつけていない (%)	気をつけていない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	32.0	45.9	18.6	1.8	1.8
前回調査 (H22)	862	31.1	40.7	22.3	2.3	3.6

2-8 「健康日本21 清須計画」の認知度

問16 「健康日本21清須計画」を知っていますか。（1つだけ）

- 「健康日本21清須計画」の認知度※は18.6%であり、そのうち「内容を知っている」は3.2%と1割未満となっている。一方、「知らない」が79.2%となっている。
 - 性別でも、大きな差はみられない。
 - 性・年齢別で見ると、認知度は男女ともに70歳以上が高くなっている（男性70歳以上26.2%、女性70歳以上25.2%）。一方、「知らない」は男性30歳代（95.9%）が最も高くなっている
- ※「内容を知っている」「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」の計



3 栄養・食生活について

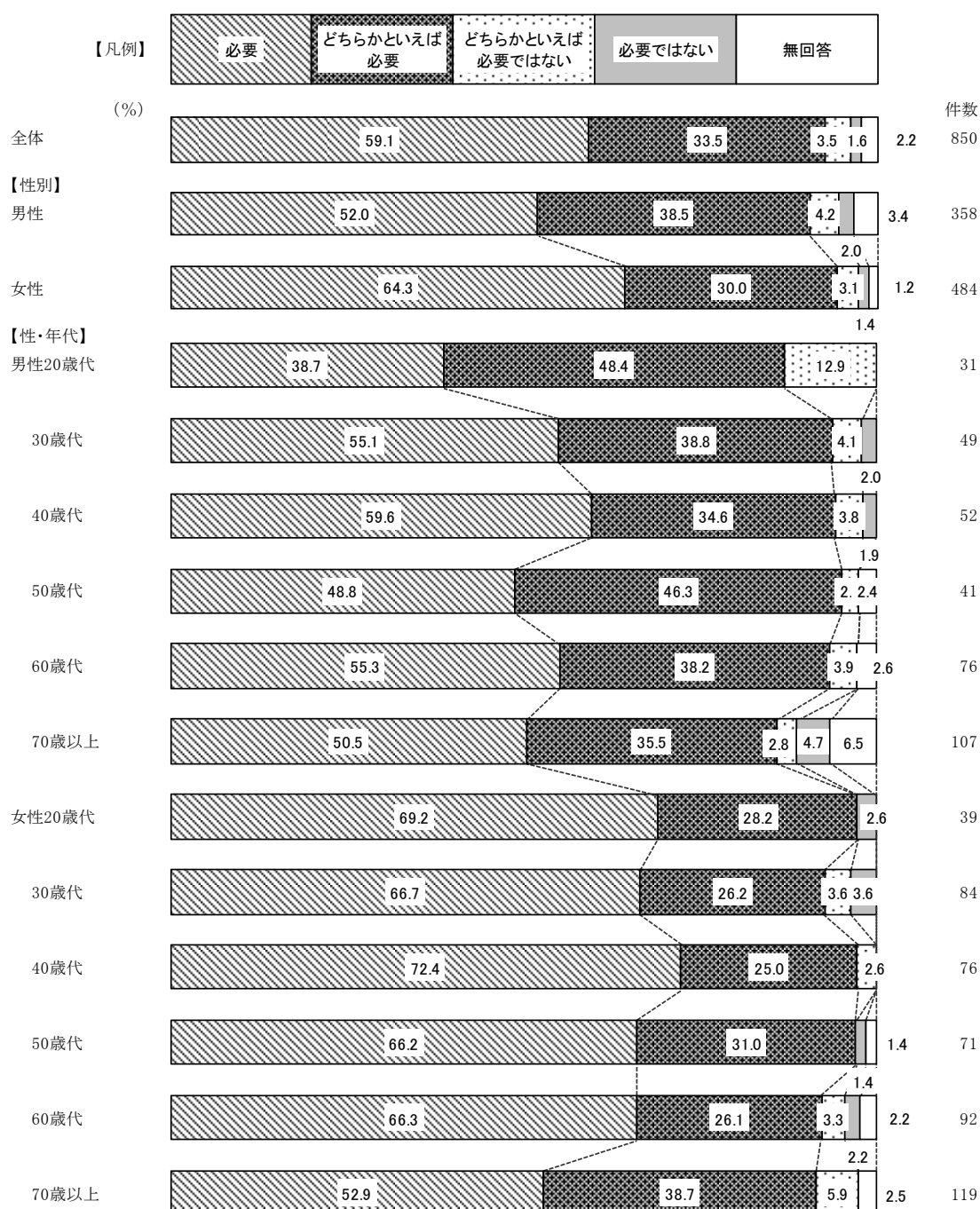
3-1 健康のために食生活に気をつける必要性

問17 ふだんの生活において、健康のために食生活に気をつける必要があると思いますか。（1つだけ）

- 健康のために食生活に気をつける必要性は、「必要」が59.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば必要」が33.5%となっている。これらを合わせた『必要※1』は92.6%となる。
- 性別で見ると、『必要』は女性（94.3%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、『必要』は女性の20歳代（97.4%）、40歳代（97.4%）、50歳代（97.2%）で高くなっている。一方、『必要でない※2』は男性の20歳代（12.9%）で高くなっている。

※1 「必要」「どちらかといえば必要」の計

※2 「必要ではない」「どちらかといえば必要ではない」の計



- 居住地区別でも、大きな差はみられない。

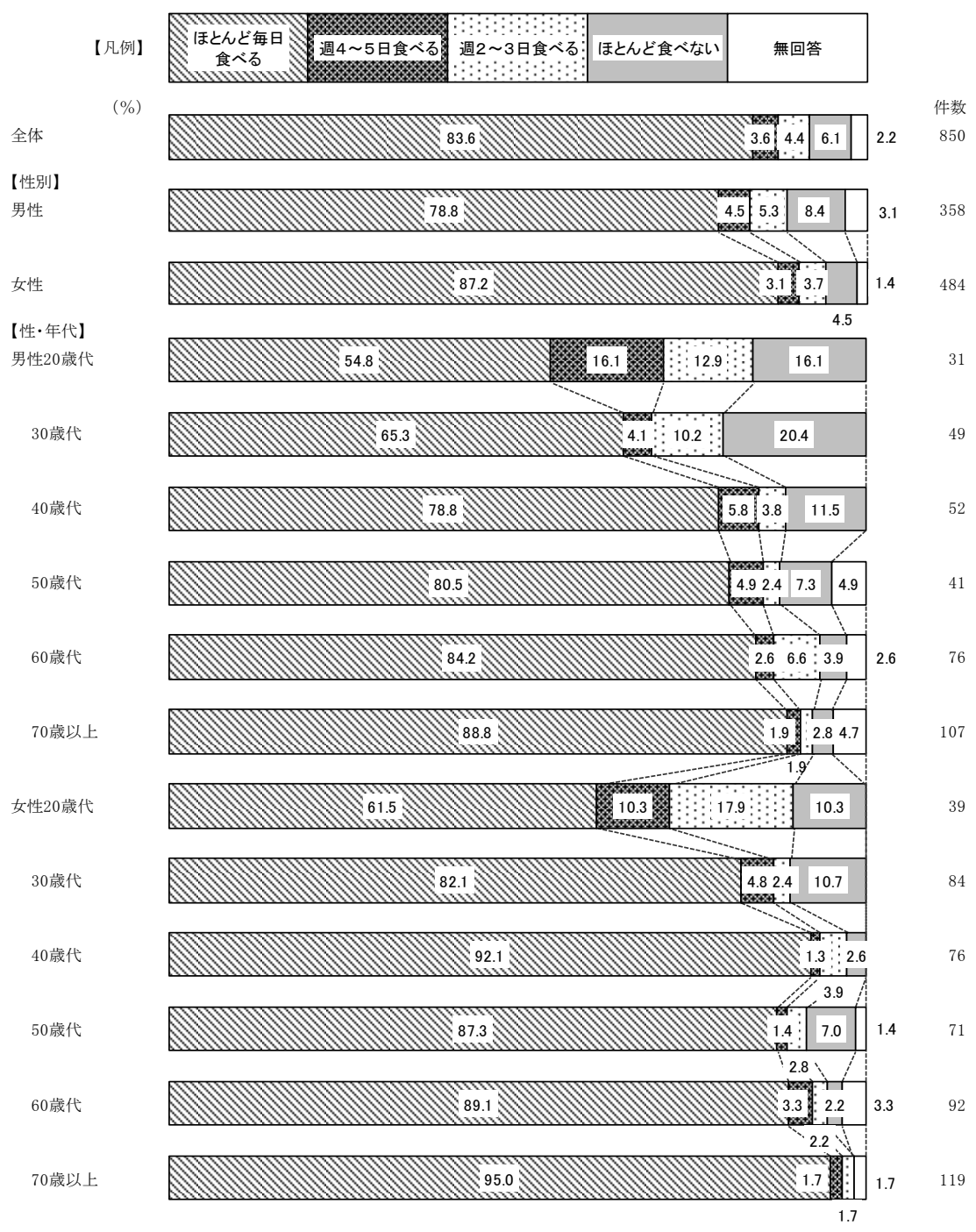
問17 健康のために食生活に気をつける必要性
問3 居住地区

	件数	必要	どちらかといえ	どちらかといえ	必要ではない	無回答
(%)						
全 体	850	59.1	33.5	3.5	1.6	2.2
西枇杷島地区	236	56.4	33.1	5.1	3.4	2.1
清洲地区	295	62.4	31.2	3.4	0.3	2.7
新川地区	227	59.5	35.2	1.8	1.8	1.8
春日地区	82	53.7	40.2	4.9	1.2	-

3-2 朝食の摂取状況

問18 朝食を食べますか。(1つだけ)

- 朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が83.6%を占めている。一方、『朝食を欠食することがある※』は14.1%となっている。
 - 性別で見ると、「ほとんど毎日食べる」は男性（78.8%）の割合が低くなっている。
 - 性・年齢別で見ると、『朝食を欠食することがある』は、男性の20歳代（45.1%）、30歳代（34.7%）、女性の20歳代（38.5%）で高くなっている。
- ※「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」の計



- 前回調査及び愛知県の調査と比較しても、大きな差はみられない。

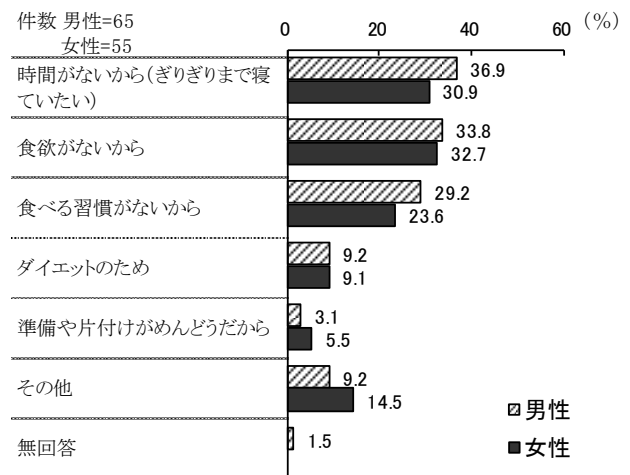
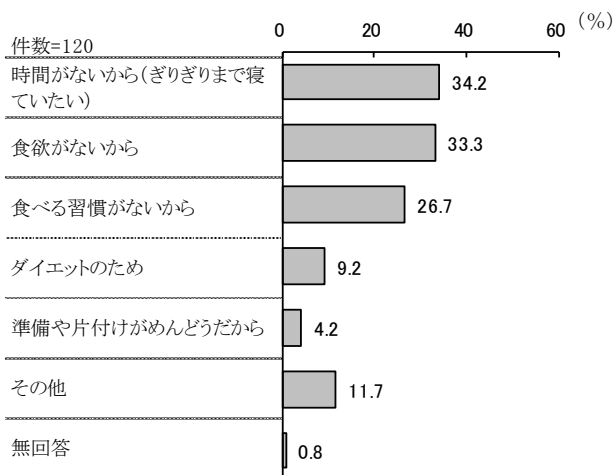
(%)	(件数)	日ほと 食と べん ど 毎	食週 べ4 る5 日	食週 べ2 る3 日	べほ ない んど 食	無 回 答
今回調査 (H26)	850	83.6	3.6	4.4	6.1	2.2
前回調査 (H22)	862	85.8	3.7	2.7	6.5	1.3
愛知県 (H24)	1,884	85.9	2.7	3.8	6.7	0.9

3-3 朝食を毎日食べない理由

【問18で「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」と回答した方】

問18-1 朝食を毎日食べない理由は何ですか。(いくつでも)

- 朝食を食べない理由は、「時間がないから(ぎりぎりまで寝ていたい)」(34.2%)、「食欲がないから」(33.3%)が3割台となっている。
- 性別で見ると、「時間がないから(ぎりぎりまで寝ていたい)」は男性(36.9%)で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「時間がないから（ぎりぎりまで寝ていたい）」は男性20歳代（57.1%）、30歳代（47.1%）と女性の20歳代（46.7%）で高くなっている。

	件数 (件)	時間がないから (ぎりぎりまで寝ていたい)	食欲がないから	食べる習慣がないから	ダイエットのため	準備や片付けがめんど うだから	その他	無回答
(%)								
全体	120	34.2	33.3	26.7	9.2	4.2	11.7	0.8
男性20歳代	14	57.1	28.6	28.6	-	-	7.1	-
30歳代	17	47.1	35.3	29.4	5.9	-	5.9	-
40歳代	11	27.3	36.4	27.3	18.2	-	-	9.1
50歳代	6	50.0	66.7	-	16.7	16.7	-	-
60歳代	10	20.0	20.0	40.0	10.0	10.0	30.0	-
70歳以上	7	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-
女性20歳代	15	46.7	26.7	6.7	-	-	26.7	-
30歳代	15	33.3	20.0	40.0	26.7	6.7	-	-
40歳代	6	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3	-
50歳代	8	37.5	25.0	25.0	-	-	12.5	-
60歳代	7	14.3	71.4	14.3	-	-	14.3	-
70歳以上	4	-	50.0	50.0	-	-	-	-

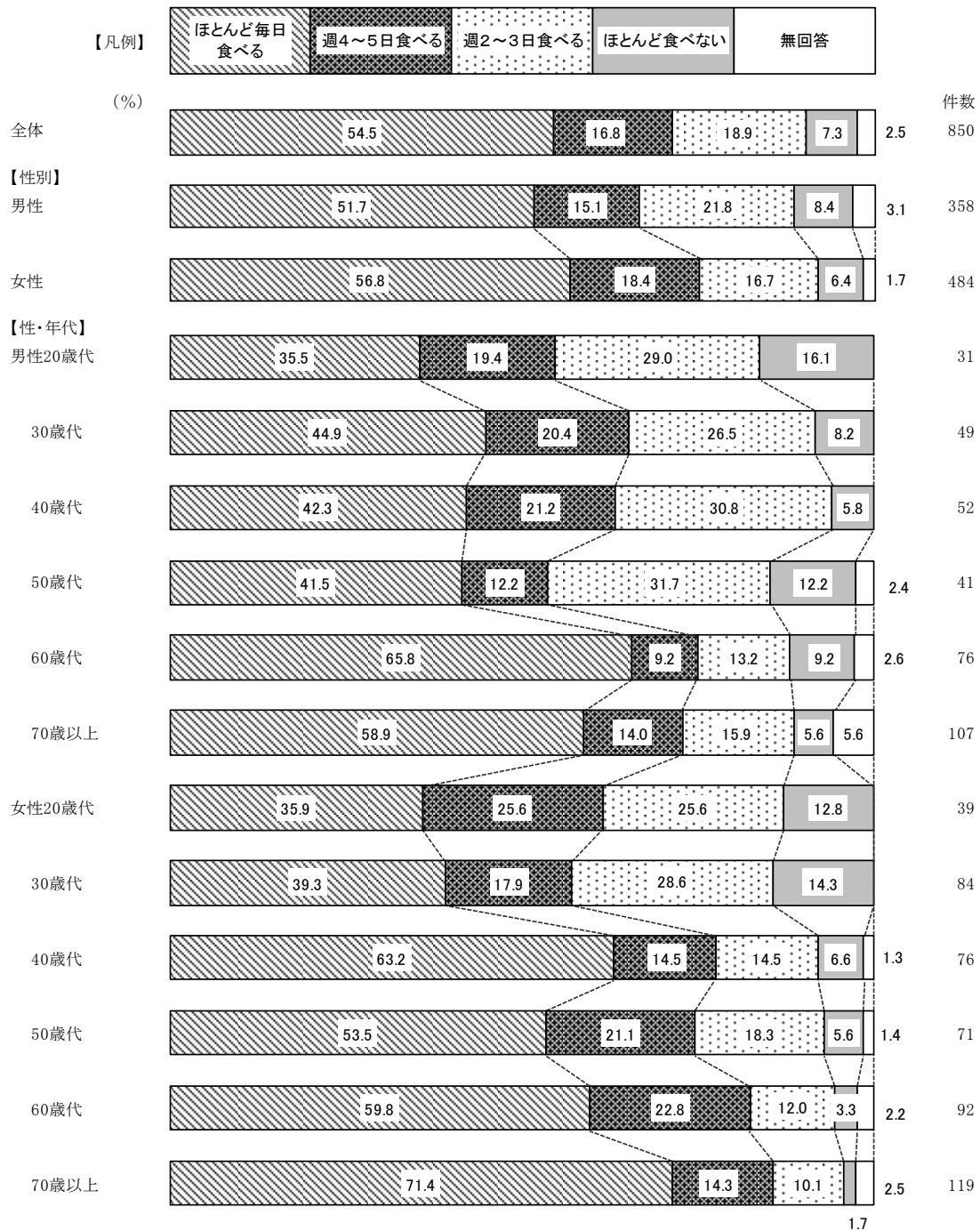
- 前回調査と比較すると、「食欲がないから」が6.3ポイント、「ダイエットのため」が5.6ポイントそれぞれ増加している。

	件数 (件)	時間がないから (ぎりぎりまで寝ていたい)	食欲がないから	食べる習慣がないから	ダイエットのため	準備や片付けがめんど うだから	その他	無回答
(%)								
今回調査 (H26)	120	34.2	33.3	26.7	9.2	4.2	11.7	0.8
前回調査 (H22)	111	35.1	27.0	25.2	3.6	4.5	16.2	5.4

3-4 主食・主菜・副菜をそろえた食事の頻度

問19 1日に2回以上、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが週に何日ありますか。
(1つだけ)

- 主食・主菜・副菜をそろえた食事の頻度は、「ほとんど毎日食べる」(54.5%)が5割以上となっている。一方、「ほとんど食べない」(7.3%)は1割未満となっている。
- 性別でみると、「ほとんど毎日食べる」は女性(56.8%)で高くなっている。
- 性・年齢別でみると、「ほとんど毎日食べる」は女性の70歳以上(71.4%)で高く、20歳代では男女ともに3割台と低くなっている。



主食：ごはん・パン・麺類 主菜：魚・肉・卵・豆腐などのたんぱく質を中心とした料理
 副菜：野菜や海藻を中心とした料理

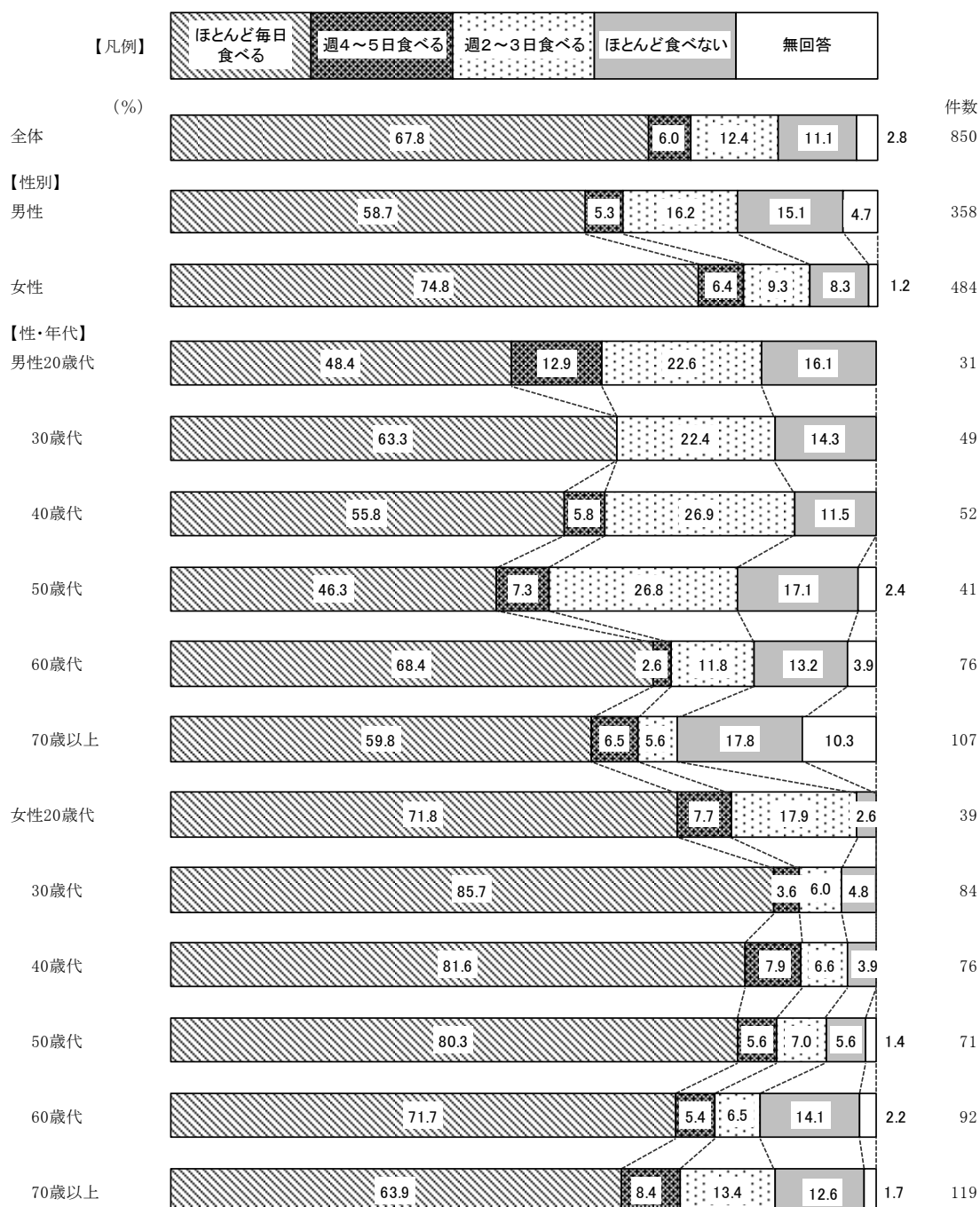
- 愛知県の調査と比較すると、「ほとんど毎日食べる」は清須市が54.5%、愛知県が61.5%で、清須市の割合が低くなっている。

	(件数)	日ほとんど食べる (%)	食週4～5日食べる (%)	食週2～3日食べる (%)	ほとんど食べない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	54.5	16.8	18.9	7.3	2.5
愛知県 (H24)	1,884	61.5	15.7	15.3	6.5	1.0

3-5 2人以上で食事をする機会

問20 1日に1回は家族や友人などと2人以上で食事をするのが週に何日ありますか。
(1つだけ)

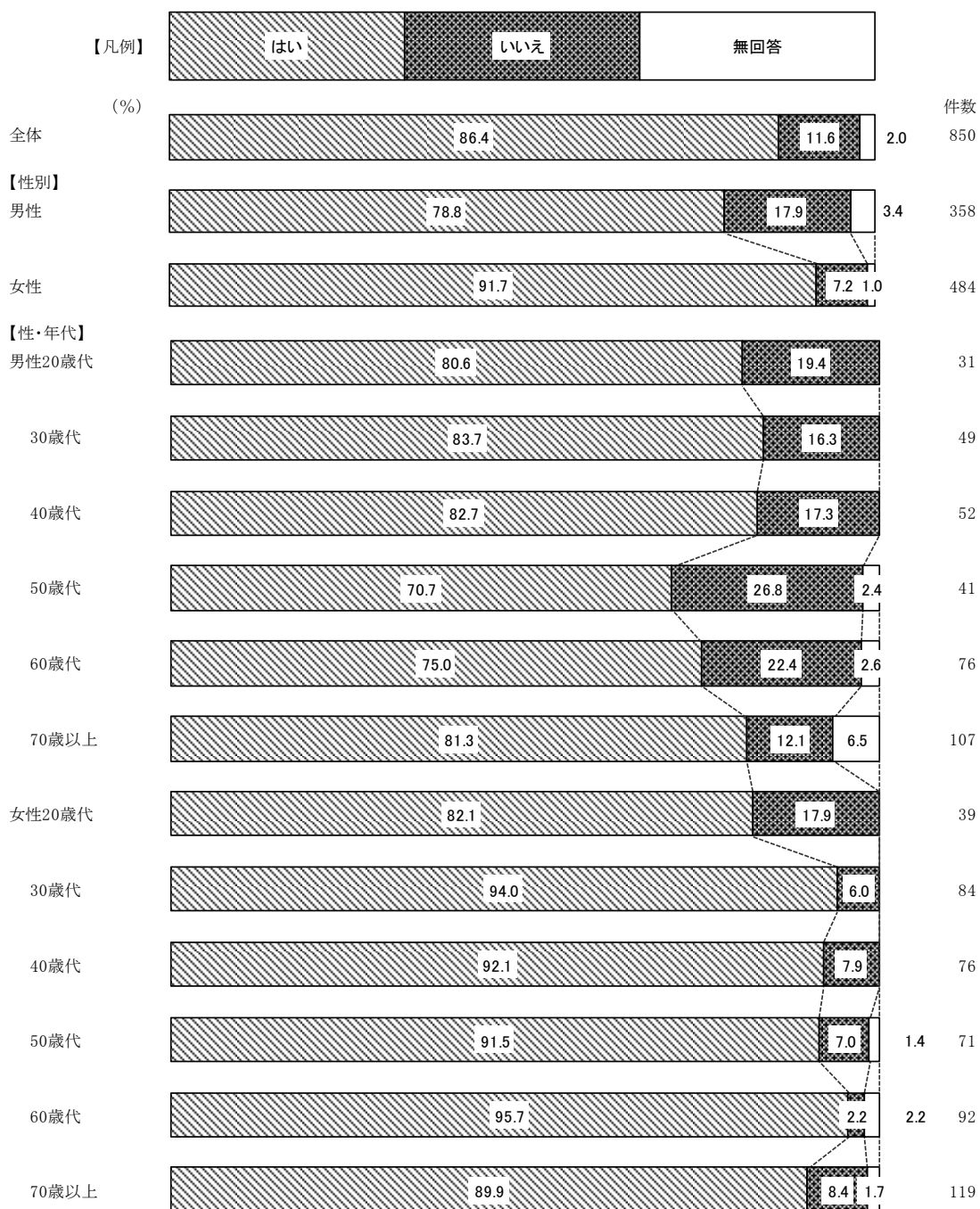
- 2人以上で食事をする機会は、「ほとんど毎日食べる」が67.8%で最も高く、およそ3人に2人の割合となっている。また、「ほとんど食べない」は11.1%となっている。
- 性別で見ると、「ほとんど毎日食べる」は女性（74.8%）が男性（58.7%）よりも高く、16.1ポイントの差がみられる。
- 性・年齢別で見ると、女性の30歳代（85.7%）、40歳代（81.6%）、50歳代（80.3%）では8割以上となっているが、男性の20歳代（48.4%）、50歳代（46.3%）では5割を下回っている。



3-6 野菜の意識的な摂取

問21 野菜を意識して食べるようにしていますか。（1つだけ）

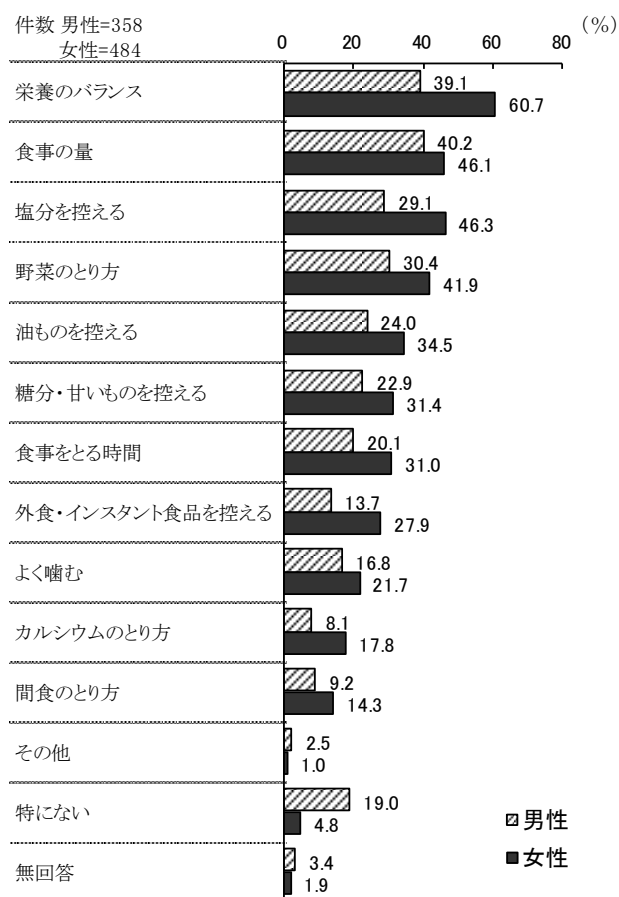
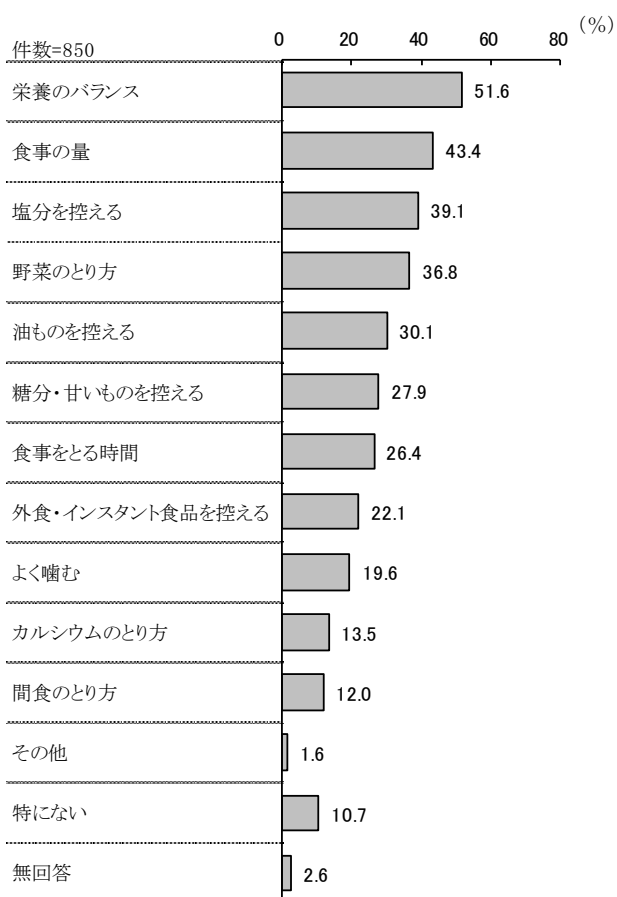
- 野菜の意識的な摂取は、「はい」が86.4%、「いいえ」が11.6%となっている。
- 性別で見ると、「はい」は、女性（91.7%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「はい」は、女性の30歳代から60歳代では9割以上となっているが、男性の50歳代（70.7%）、60歳代（75.0%）では8割未満となっている。



3-7 食事について気をつけていること

問22 食事について、気をつけていることはありますか。(いくつでも)

- 食事について気をつけていることは、「栄養のバランス」が51.6%で最も高く、次いで「食事の量」が43.4%、「塩分を控える」が39.1%、「野菜のとり方」が36.8%、「油ものを控える」が30.1%となっている。また、「特にない」は10.7%となっている。
- 性別でみると、気をつけていることは、いずれの項目についても女性の割合が高くなっている。特に「栄養のバランス」は女性(60.7%)と男性(39.1%)とで21.6ポイントの差がみられる。



- 性・年齢別でみると、「栄養のバランス」は女性の30歳代（72.6%）、40歳代（75.0%）で高く、「塩分を控える」は女性の60歳代（53.3%）、70歳以上（64.7%）で高くなっている。一方、「特にない」は男性の20歳代（32.3%）、30歳代（26.5%）で高くなっている。

	件数 (件)	栄養の バランス	食事の 量	塩分を 控える	野菜の とり方	油もの を控える	糖分・ 甘いもの を控える	食事をとる 時間	外食・ インスタ ント食 品を控える	よく 噛む	カル シウムの とり方	間食の とり方	その他	特 に ない	無 回 答
全体	850	51.6	43.4	39.1	36.8	30.1	27.9	26.4	22.1	19.6	13.5	12.0	1.6	10.7	2.6
男性20歳代	31	35.5	25.8	12.9	35.5	12.9	12.9	19.4	9.7	6.5	3.2	19.4	6.5	32.3	-
30歳代	49	46.9	38.8	20.4	30.6	14.3	18.4	16.3	12.2	6.1	2.0	12.2	-	26.5	-
40歳代	52	44.2	44.2	13.5	38.5	13.5	17.3	30.8	7.7	17.3	5.8	5.8	1.9	17.3	-
50歳代	41	24.4	41.5	24.4	22.0	31.7	19.5	22.0	14.6	9.8	2.4	2.4	-	14.6	2.4
60歳代	76	38.2	44.7	34.2	27.6	32.9	32.9	13.2	14.5	19.7	11.8	10.5	-	19.7	2.6
70歳以上	107	41.1	40.2	43.9	30.8	28.0	25.2	21.5	17.8	25.2	13.1	8.4	5.6	14.0	6.5
女性20歳代	39	43.6	35.9	30.8	35.9	28.2	28.2	30.8	35.9	15.4	2.6	12.8	2.6	12.8	-
30歳代	84	72.6	40.5	33.3	52.4	23.8	22.6	27.4	27.4	16.7	7.1	11.9	1.2	3.6	-
40歳代	76	75.0	44.7	38.2	42.1	26.3	25.0	35.5	23.7	21.1	11.8	11.8	3.9	5.3	1.3
50歳代	71	63.4	52.1	39.4	42.3	29.6	29.6	46.5	32.4	16.9	16.9	15.5	-	1.4	2.8
60歳代	92	58.7	53.3	53.3	38.0	51.1	42.4	26.1	26.1	19.6	20.7	20.7	-	5.4	2.2
70歳以上	119	48.7	46.2	64.7	39.5	40.3	36.1	25.2	26.9	31.9	32.8	12.6	-	4.2	2.5

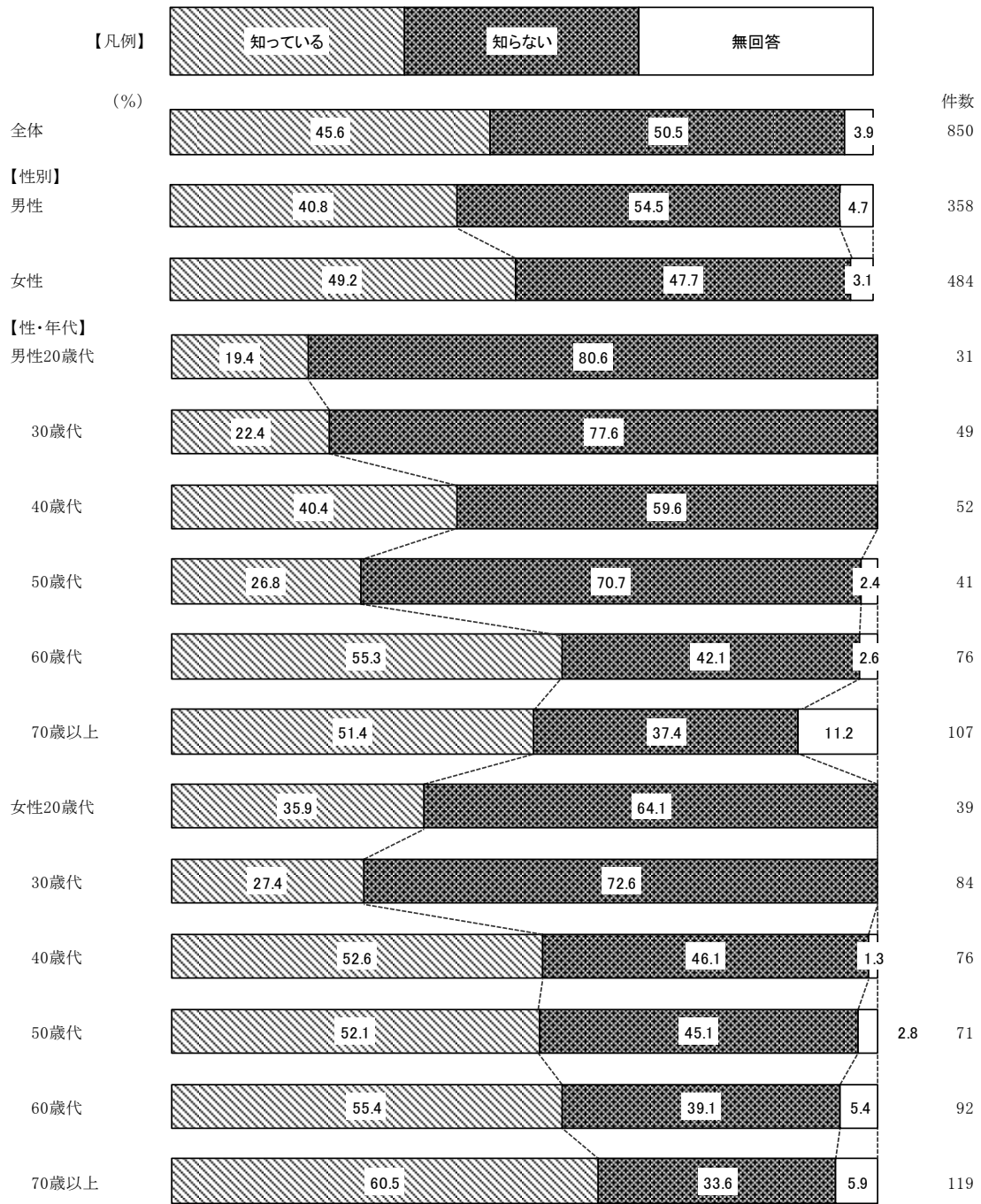
- 前回調査と比較すると、「塩分・辛いものを控える」「糖分・甘いものを控える」が5ポイント以上増加し、「栄養のバランス」「野菜のとり方」「外食・インスタント食品を控える」が5ポイント以上減少している。

	件数 (件)	栄養の バランス	食事の 量	塩分・ 辛いもの を控える	野菜の とり方	油もの を控える	糖分・ 甘いもの を控える	食事をとる 時間	外食・ インスタ ント食 品を控える	よく 噛む	カル シウムの とり方	間食の とり方	味 付け	その他	特 に ない	無 回 答
今回調査 (H26)	850	51.6	43.4	39.1	36.8	30.1	27.9	26.4	22.1	19.6	13.5	12.0	1.6	10.7	2.6	
前回調査 (H22)	862	57.4	42.3	34.0	48.5	32.8	22.3	24.2	27.1	21.2	14.0	24.9	1.7	12.4	1.9	

3-8 適切な食事内容・量の認知度

問23 自分にとって適切な食事内容・量を知っていますか。（1つだけ）

- 適切な食事内容・量の認知度は、「知っている」が45.6%、「知らない」が50.5%で、知らない人の割合が若干高くなっている。
- 性別でみると、「知っている」は、女性（49.2%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別でみると、「知っている」は、女性の70歳以上（60.5%）が6割以上で高く、男性の60歳代以上、女性の40歳代以上では5割以上となっている。一方、「知らない」は男性の20歳代（80.6%）、30歳代（77.6%）で高くなっている。



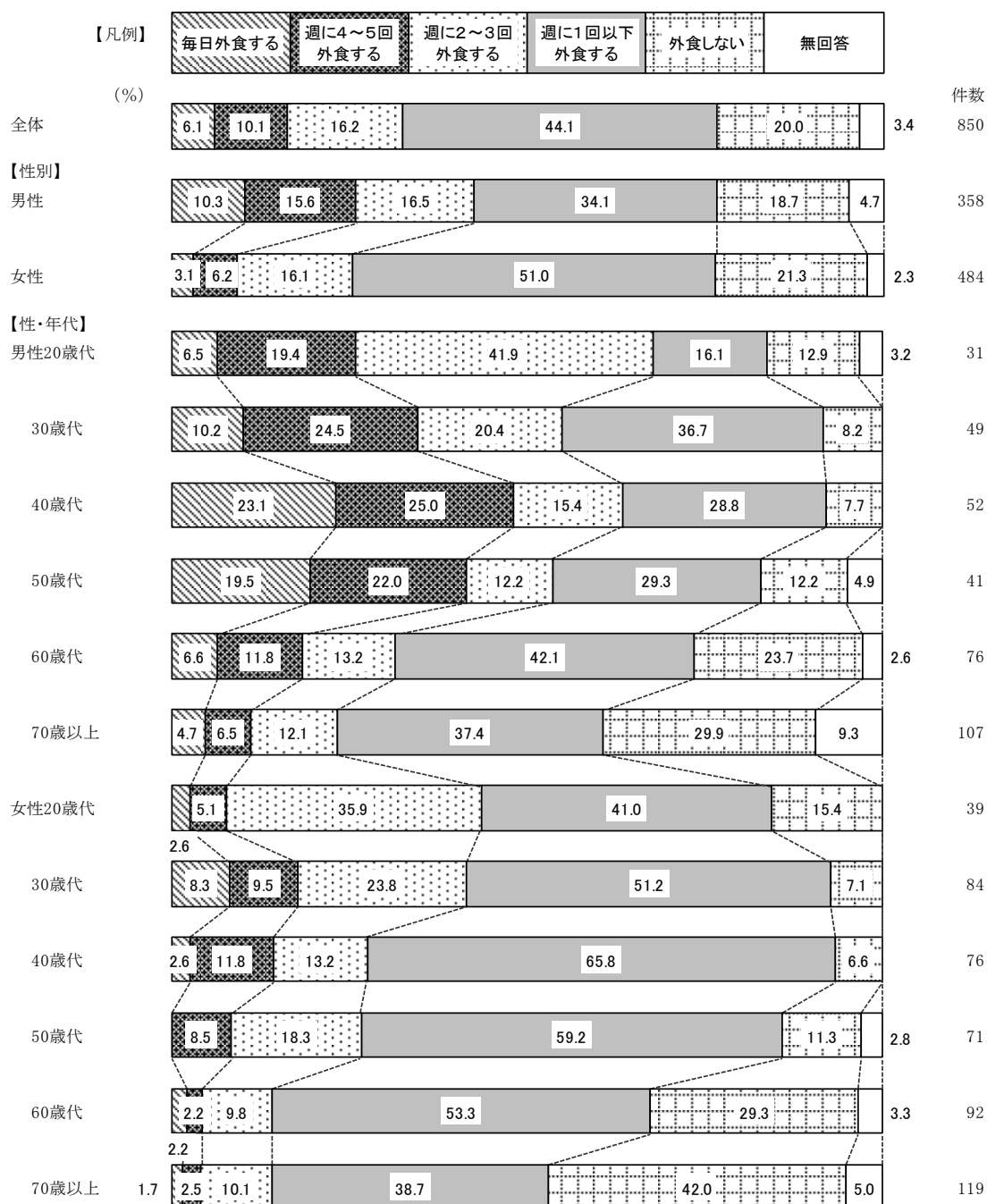
● 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(%)	件数(件)	知っている	知らない	無回答
今回調査 (H26)	850	45.6	50.5	3.9
前回調査 (H22)	862	46.1	51.9	2.1

3-9 外食の頻度

問24 外食をどのくらいの頻度でしていますか（持ち帰り弁当、社員食堂等を含む）。
（1つだけ）

- 外食頻度は、「週に1回以下外食する」が44.1%で最も高く、次いで「外食しない」が20.0%となっている。一方、『週4回以上外食する※』は、16.2%となっている。
 - 性別で見ると、「毎日外食する」「週に4～5回外食する」は男性の割合が高くなっている。
 - 性・年齢別で見ると、「毎日外食する」は男性の40歳代（23.1%）で高く、「週に4～5回外食する」は男性の30歳代（24.5%）、40歳代（25.0%）、50歳代（22.0%）で高くなっている。「外食しない」は女性の70歳以上（42.0%）で高くなっている。
- ※「毎日外食する」「週に4～5回外食する」の計



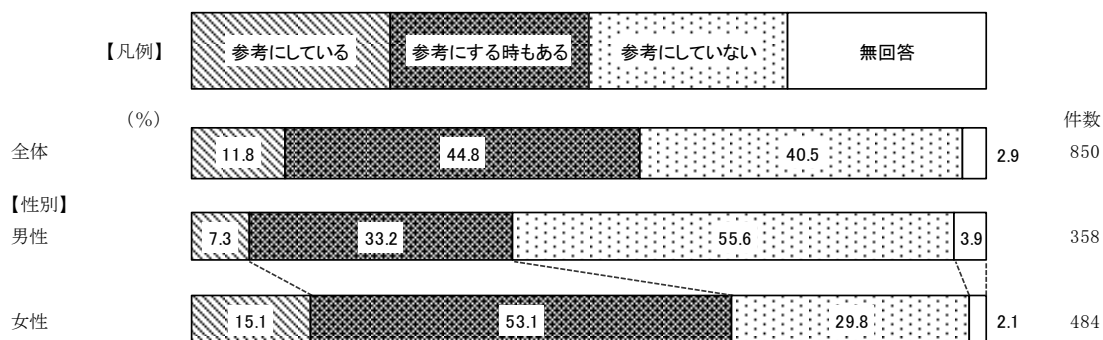
- 前回調査と比較すると、『週に4回以上外食する』が5.8ポイント増加している（前回10.4%→今回16.2%）。

(%)	件数 (件)	毎日外食する	外週に4回 5回	外週に2回 3回	外週に1回以下	外食しない	無回答
今回調査 (H26)	850	6.1	10.1	16.2	44.1	20.0	3.4
前回調査 (H22)	862	5.3	5.1	13.1	49.2	24.7	2.6

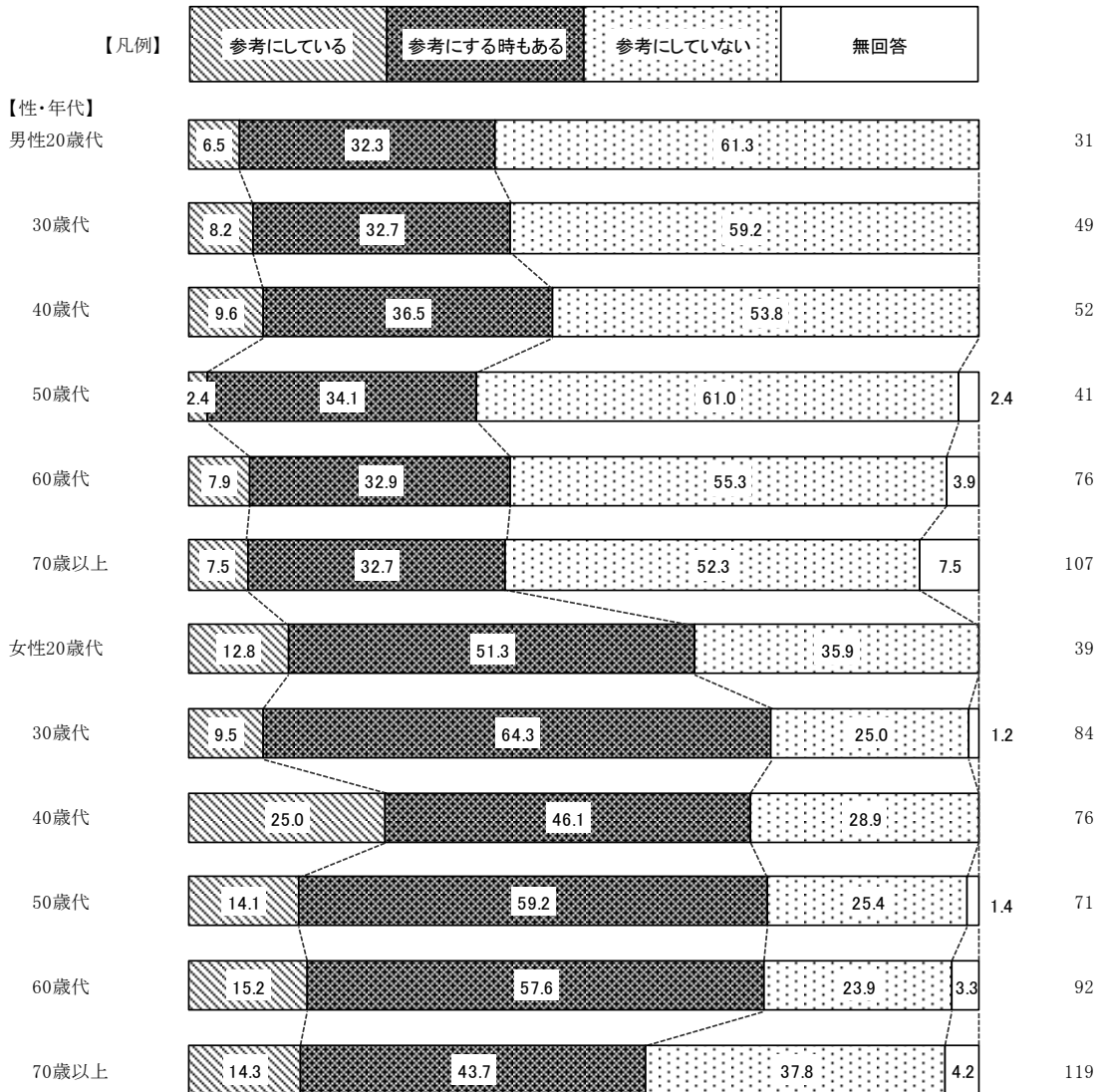
3-10 栄養成分表示の活用

問25 外食や食品を購入するとき、カロリーなどの栄養成分表示を参考にしますか。（1つだけ）

- 栄養成分表示の活用については、「参考にしている」が44.8%で最も高く、次いで「参考にしていない」が40.5%となっている。また、「参考にしている」は11.8%と1割台にとどまっている。
- 性別で見ると、「参考にしている」は女性（15.1%）で高くなっている。一方、「参考にしていない」は男性（55.6%）で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「参考にしている」は女性の40歳代（25.0%）で高くなっている。「参考にしていない」は、男性では、いずれの年齢でも5割以上であり、特に20歳代（61.3%）、50歳代（61.0%）では6割以上と高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「参考にしている」が3.3ポイント減少している。また、愛知県との調査と比較すると、「参考にしている」は、清須市が11.8%、愛知県が17.8%で、清須市の割合が低くなっている。

	件数 (件)	参考にしている (%)	も参考にする時もある (%)	ない参考にしていない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	11.8	44.8	40.5	2.9
前回調査 (H22)	862	15.1	43.9	38.9	2.2
愛知県 (H24)	1,884	17.8	44.9	36.3	1.1

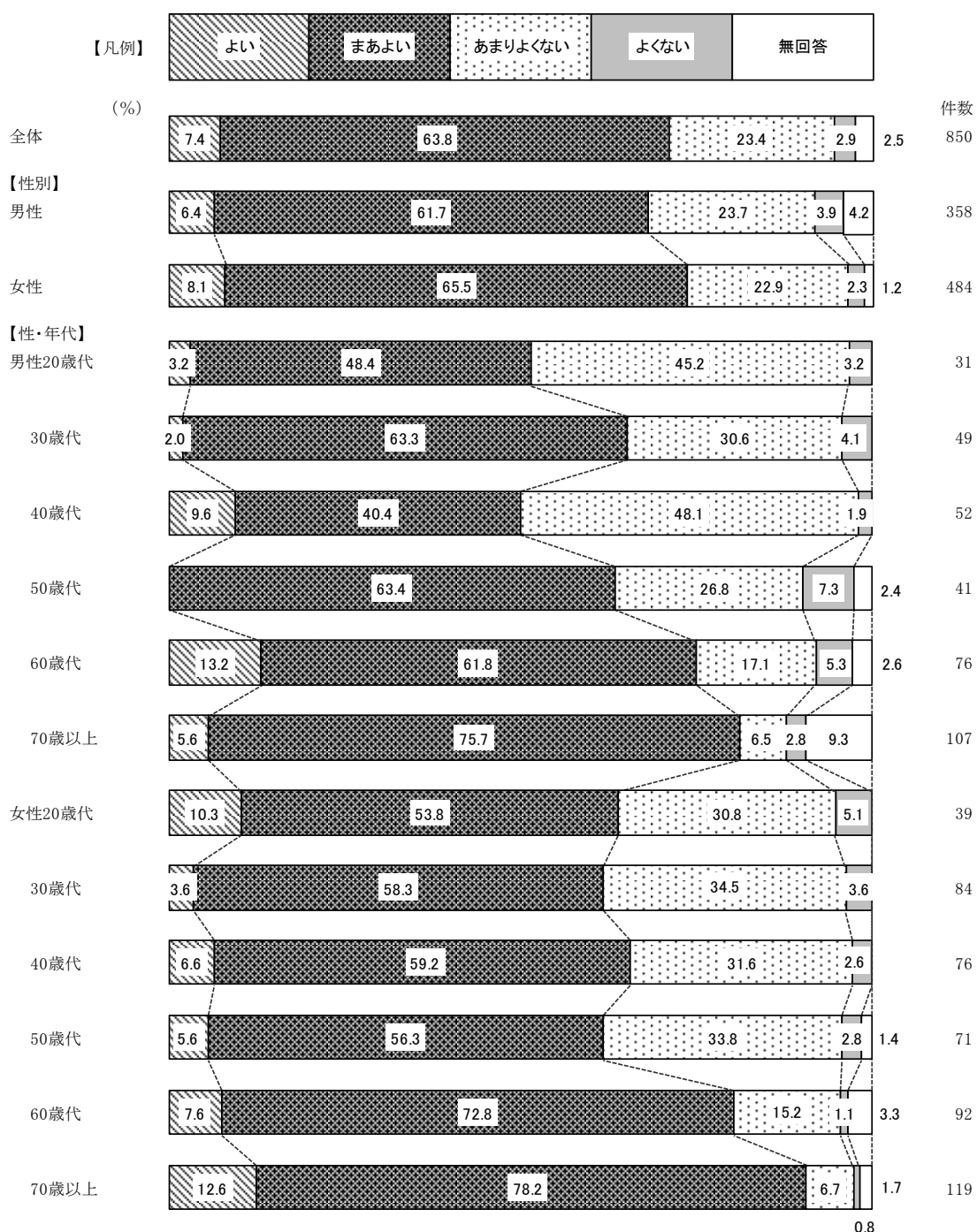
3-11 自分の食生活について

問26 自分の食生活をどのように思いますか。(1つだけ)

- 自分の食生活については、「まあよい」が63.8%で最も高く、「よい」(7.4%)とあわせると『よい※1』と評価する人は71.2%となる。一方、『よくない※2』と評価する人は26.3%となっている。
- 性別でみると、『よい』と評価する人は、男性が68.1%、女性が73.6%で女性の割合が高くなっている。
- 性・年齢別でみると、『よい』と評価する人は男性の70歳以上(81.3%)、女性の60歳代(80.4%)、70歳以上(90.8%)で高くなっている。一方、『よくない』と評価する人は男性の20歳代(48.4%)、40歳代(50.0%)で高くなっている。

※1 「よい」「まあよい」の計

※2 「あまりよくない」「よくない」の計



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

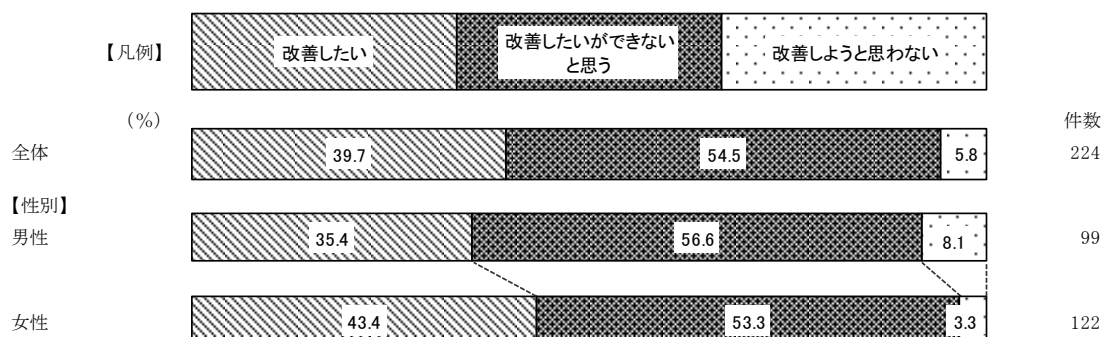
	件数 (件)	よい	まあよい	いあまり よくな	よくない	無回答
(%)						
今回調査 (H26)	850	7.4	63.8	23.4	2.9	2.5
前回調査 (H22)	862	8.8	62.3	23.3	4.2	1.4

3-12 食生活の改善意向

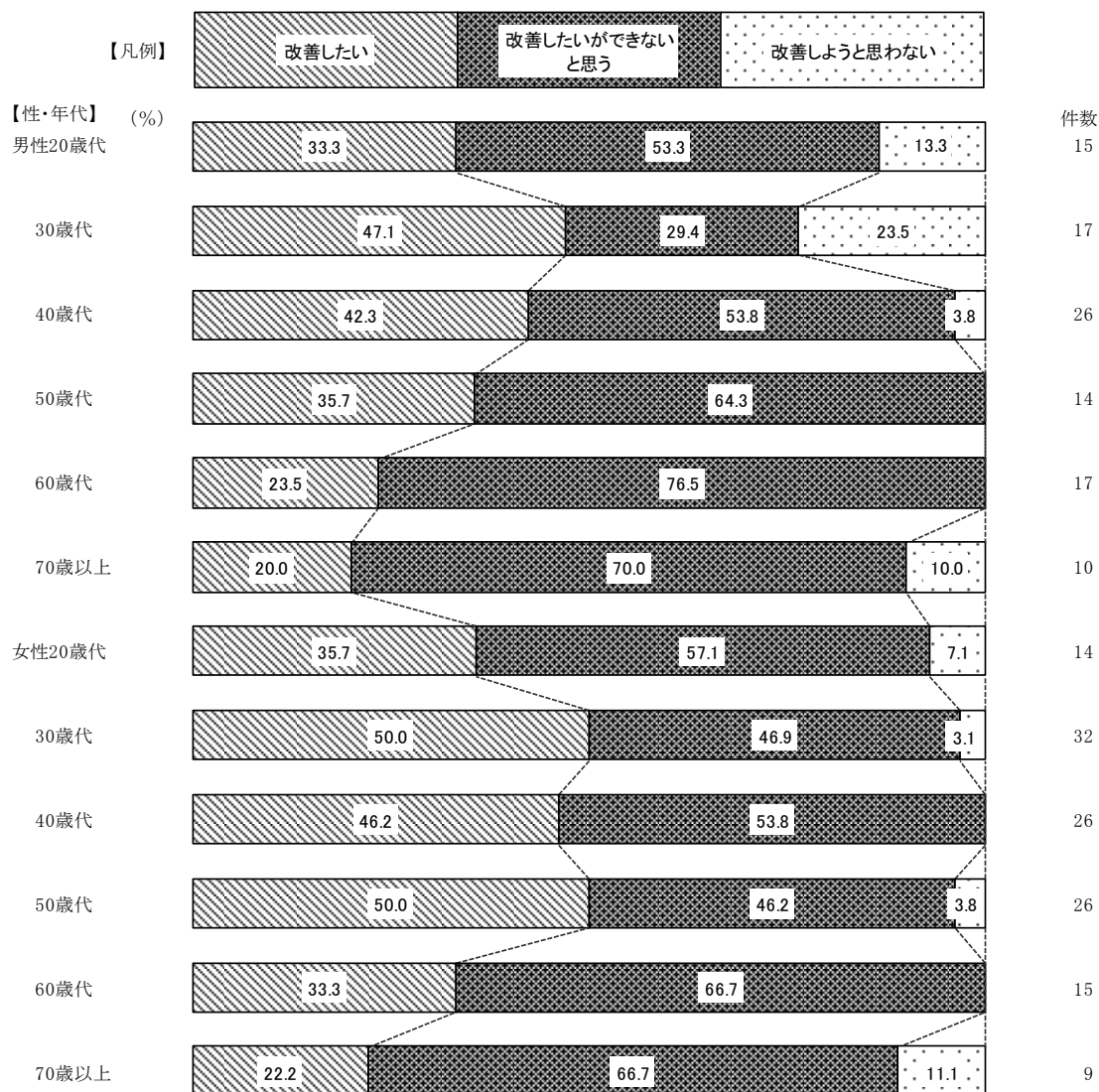
【問26で「あまりよくない」「よくない」と回答した方】

問26-1 今後、自分の食生活をどのようにしたいですか。(1つだけ)

- 食生活の改善意向は、「改善したい」(39.7%)と「改善したいができないと思う」(54.5%)を合わせた『改善意向がある』人が94.2%となっている。
- 性別で見ると、「改善したい」は女性(43.4%)で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「改善したい」は女性の30歳代（50.0%）、50歳代（50.0%）で5割となっている。「改善したいができないと思う」は男性の60歳代（76.5%）、70歳以上（70.0%）で高く、「改善しようと思わない」は男性の30歳代（23.5%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「改善したいができないと思う」が5.6ポイント増加している。

(%)	件数 (件)	改善したい (%)	改善したいができないと思う (%)	改善しようと思わない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	224	39.7	54.5	5.8	-
前回調査 (H22)	237	43.5	48.9	7.2	0.4

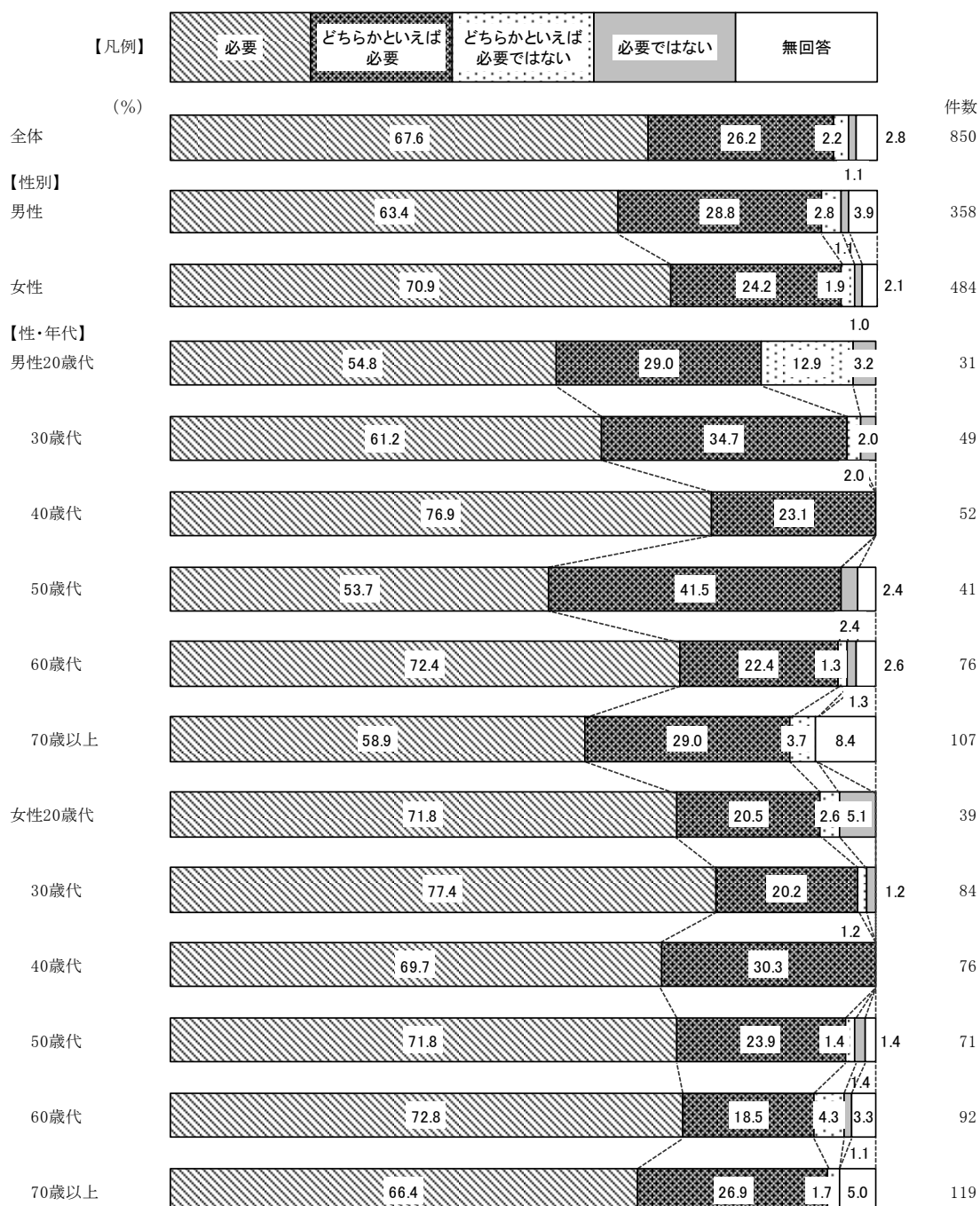
4 身体活動・運動について

4-1 健康における運動の必要性

問27 ふだんの生活において、健康のために運動や体を動かす必要があると思いますか。（1つだけ）

- 健康における運動の必要性については、「必要」が67.6%で最も高くなっている。これに「どちらかといえば必要」(26.2%)を合わせると『必要性がある※』は93.8%となる。
- 性別で見ると、「必要」は女性(70.9%)で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、『必要性がある』は男性の20歳代・70歳以上を除く各性・年齢層で9割以上となっている。男性20歳代では「どちらかといえば必要ではない」が12.9%で他の性・年齢層よりも高くなっている。

※「必要」「どちらかといえば必要」の計



- 居住地区別でみると、「必要」は春日地区が73.2%で高く、西枇杷島地区が63.6%で低くなっている。

問27 健康における運動の必要性
問3 居住地区

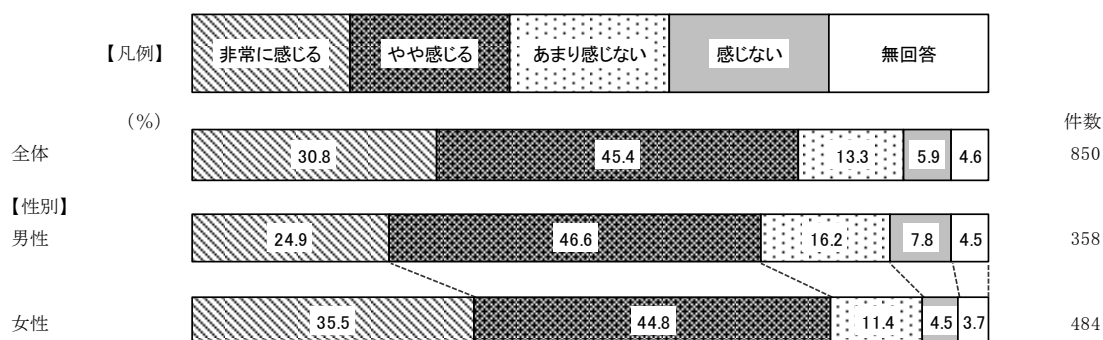
(%)	件数	必要	えど ばち らか とい	な えど ばち らか とい	必要 で は な い	無 回 答
全 体	850	67.6	26.2	2.2	1.1	2.8
西枇杷島地区	236	63.6	28.4	4.2	0.8	3.0
清洲地区	295	68.1	25.8	2.0	0.7	3.4
新川地区	227	70.0	25.1	0.9	1.8	2.2
春日地区	82	73.2	23.2	1.2	1.2	1.2

4-2 運動不足に対する意識

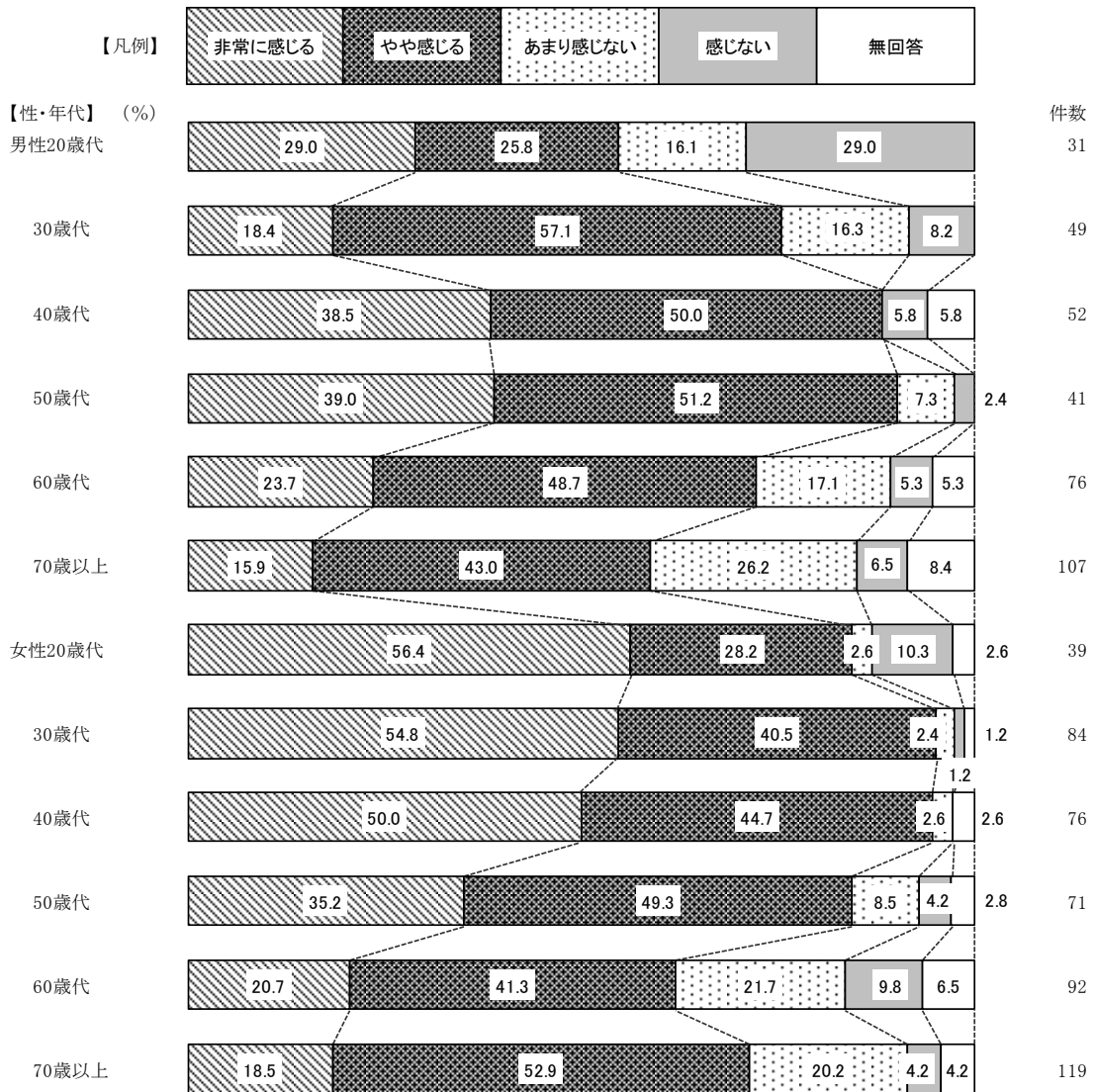
問28 運動不足を感じていますか。(1つだけ)

- 運動不足に対する意識は、「やや感じる」が45.4%で最も高くなっている。これに「非常に感じる」(30.8%)を合わせると『運動不足を感じる※1』人は76.2%となる。
- 性別でみると、『運動不足を感じる』は男性が71.5%、女性が80.3%で、女性の割合が高くなっている。

※1 「非常に感じる」「やや感じる」の計



- 性・年齢別で見ると、運動不足を「非常に感じる」は女性の20歳代（56.4%）、30歳代（54.8%）、40歳代（50.0%）で5割以上となっている。一方、「感じない」は男性の20歳代（29.0%）で高くなっている。



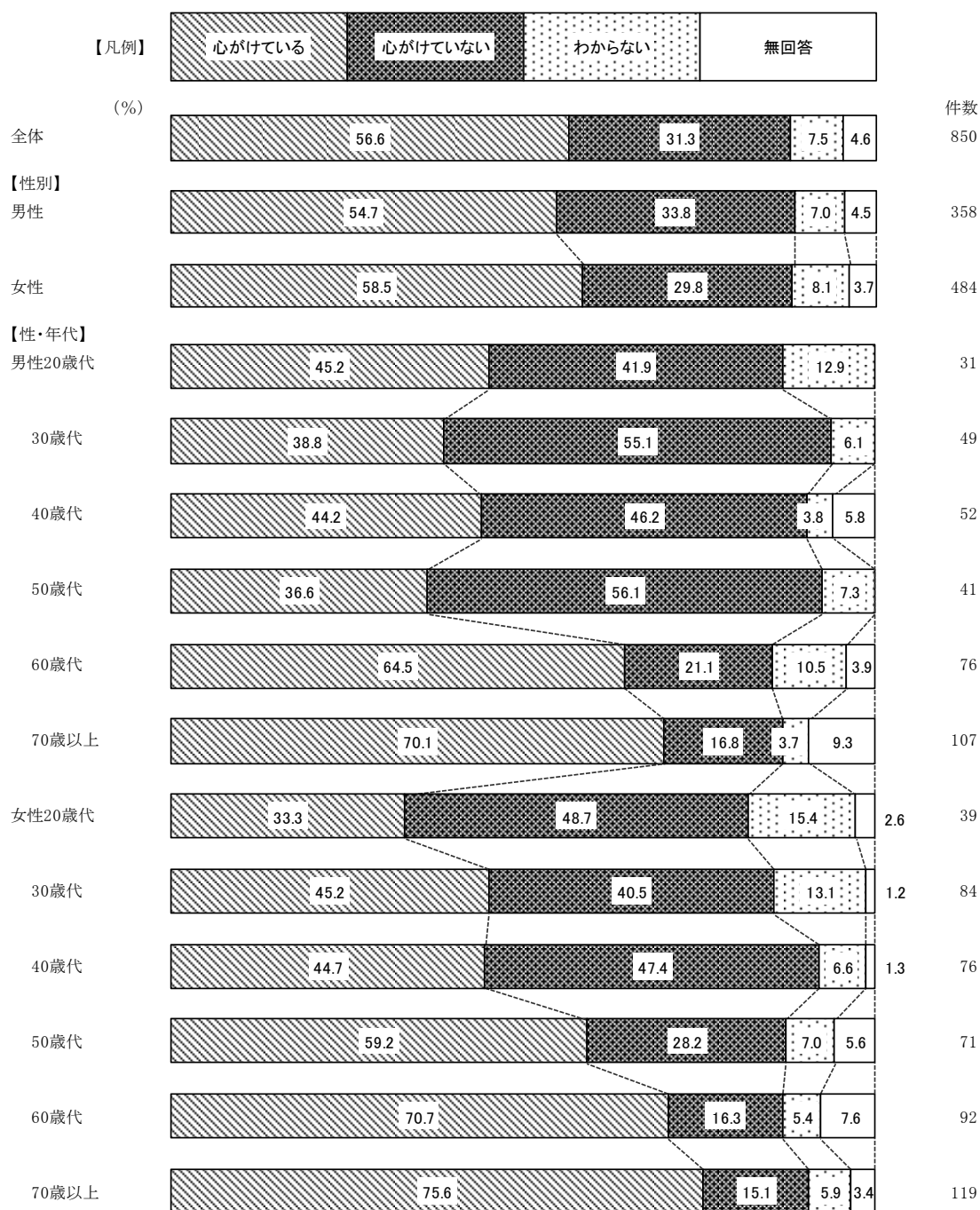
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

	件数 (件)	非常に感じる (%)	やや感じる (%)	あまり感じない (%)	感じない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	30.8	45.4	13.3	5.9	4.6
前回調査 (H22)	862	34.3	41.2	15.2	7.9	1.4

4-3 身体を動かす心がけ

問29 日頃から意識的に身体を動かすことを心がけていますか。(1つだけ)

- 身体を動かす心がけは、「心がけている」が56.6%で5割以上となっている。一方、「心がけていない」は31.3%となっている。
- 性別で見ても、大きな差はみられない。
- 性・年齢別で見ると、「心がけている」は男性の70歳以上(70.1%)、女性の60歳代(70.7%)、70歳以上(75.6%)で7割以上となっている。一方、「心がけていない」は男性の30歳代(55.1%)、50歳代(56.1%)で5割以上となっている。



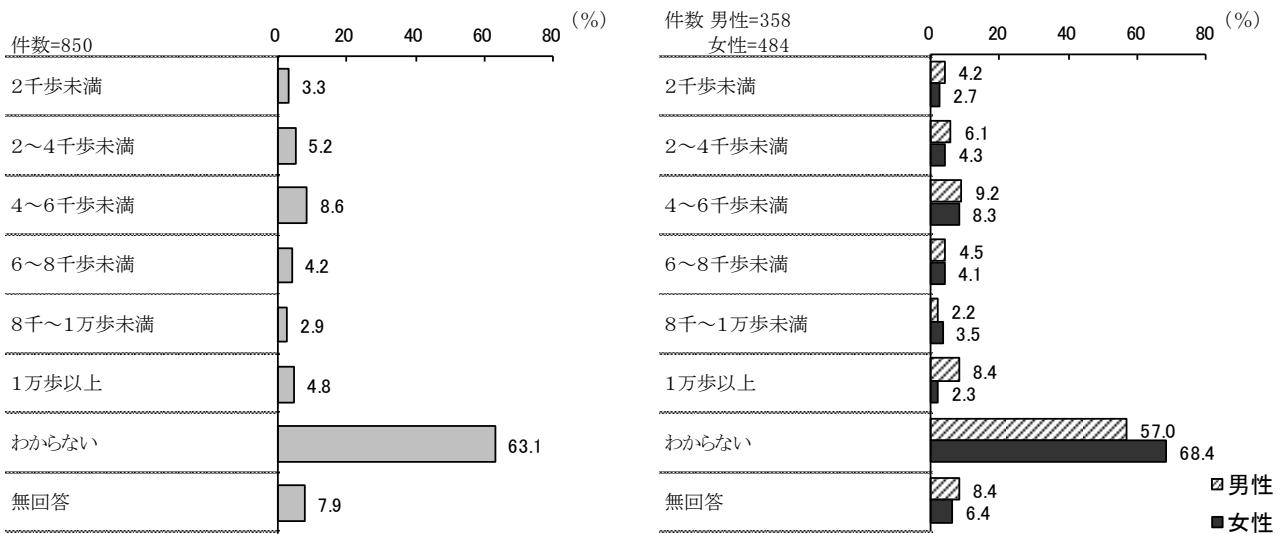
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

	件数 (件)	心が けている	心が けていな	わから ない	無回 答
今回調査 (H26)	850	56.6	31.3	7.5	4.6
前回調査 (H22)	862	55.5	32.8	10.0	1.7

4-4 1日の平均歩数

問30 1日に平均何歩くらい歩きますか。(1つだけ)

- 1日の平均歩数を把握している人※は29.0%で、「わからない」が63.1%となっている。把握している人の中では「4～6千歩未満」が最も高くなっている。平均歩数は5,601歩となっている。
- 性別でみると、平均歩数は男性が5,906歩、女性が5,313歩であり、男性の方が多くなっている。
- 性・年齢別でみると、平均歩数は、男性では50歳代の6,814歩、女性では40歳代の6,800歩が多くなっている。逆に男性では20歳代の4,683歩、女性では70歳以上の4,077歩が少なくなっている。
※全体から「わからない」「無回答」を除いた割合

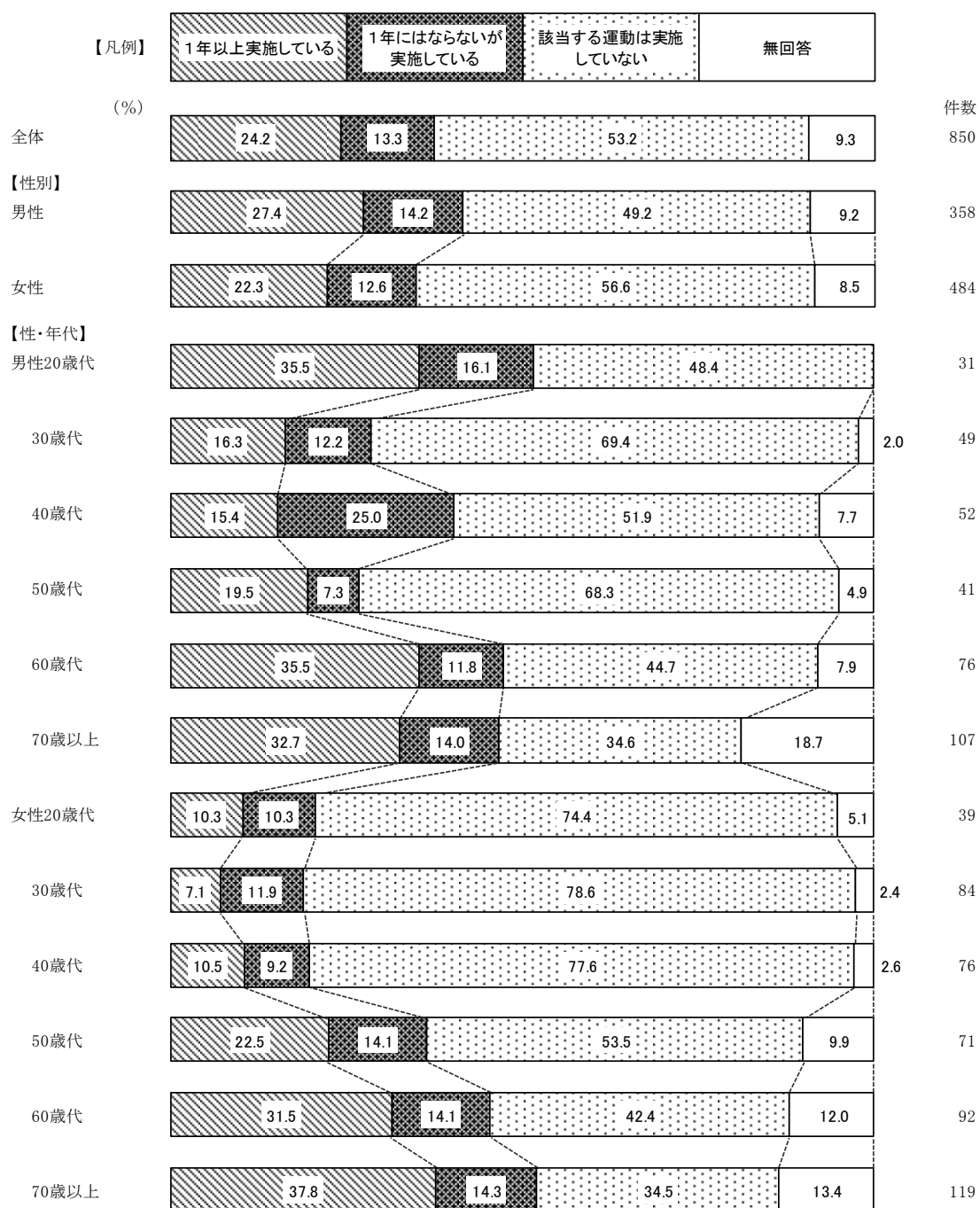


	件数 (件)	2千歩 未満	2～4千歩 未満	4～6千歩 未満	6～8千歩 未満	8千～1万歩 未満	1万歩 以上	わから ない	無回 答	平 均 (歩)
全 体	850	3.3	5.2	8.6	4.2	2.9	4.8	63.1	7.9	5,601
男性20歳代	31	6.5	3.2	-	3.2	3.2	3.2	77.4	3.2	4,683
30歳代	49	2.0	6.1	10.2	2.0	-	8.2	69.4	2.0	6,464
40歳代	52	1.9	7.7	9.6	7.7	-	9.6	57.7	5.8	6,026
50歳代	41	4.9	-	9.8	2.4	7.3	9.8	63.4	2.4	6,814
60歳代	76	3.9	5.3	9.2	6.6	2.6	14.5	50.0	7.9	6,548
70歳以上	107	5.6	9.3	10.3	3.7	1.9	4.7	47.7	16.8	5,008
女性20歳代	39	2.6	-	7.7	2.6	2.6	2.6	79.5	2.6	6,071
30歳代	84	-	4.8	8.3	-	1.2	2.4	82.1	1.2	5,000
40歳代	76	-	1.3	3.9	5.3	6.6	2.6	78.9	1.3	6,800
50歳代	71	-	4.2	2.8	11.3	1.4	1.4	74.6	4.2	6,000
60歳代	92	3.3	4.3	17.4	3.3	5.4	2.2	50.0	14.1	5,661
70歳以上	119	7.6	7.6	7.6	2.5	3.4	2.5	58.8	10.1	4,077

4-5 運動習慣

問31 1回30分以上の運動を週2回以上実施していますか。(1つだけ)

- 継続的な運動については、「1年以上実施している」(24.2%)、「1年にはならないが実施している」(13.3%)を合わせた『運動を実施している』人は37.5%となっている。一方、「該当する運動は実施していない」は53.2%となっている。
- 性別でみると、「1年以上実施している」は男性(27.4%)で高く、「該当する運動は実施していない」は女性(56.6%)で高くなっている。
- 性・年齢別でみると、「1年以上実施している」は男性の20歳代(35.5%)、60歳代(35.5%)、女性の70歳以上(37.8%)で高くなっている。「該当する運動は実施していない」は女性の20歳代(74.4%)、30歳代(78.6%)、40歳代(77.6%)で高くなっている。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、「1年以上実施している」は、清須市が24.2%、愛知県が30.0%で、清須市の割合が低くなっている。

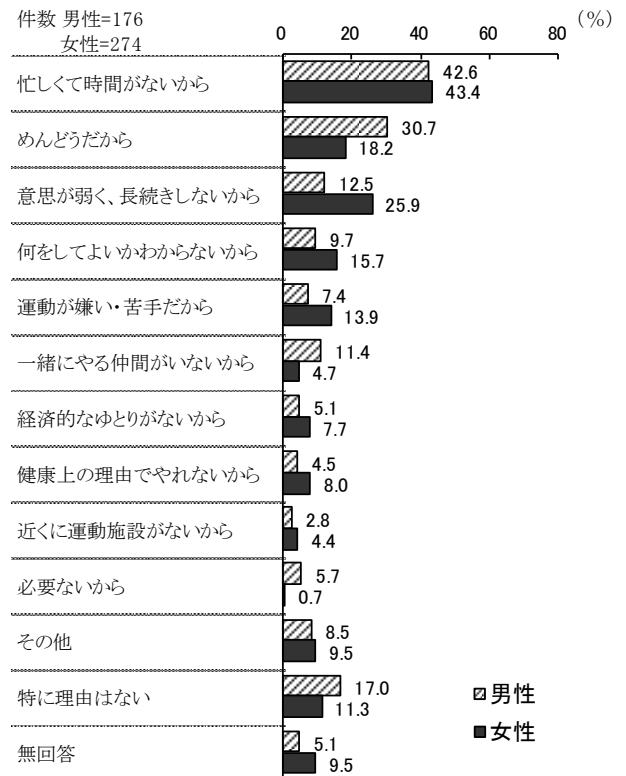
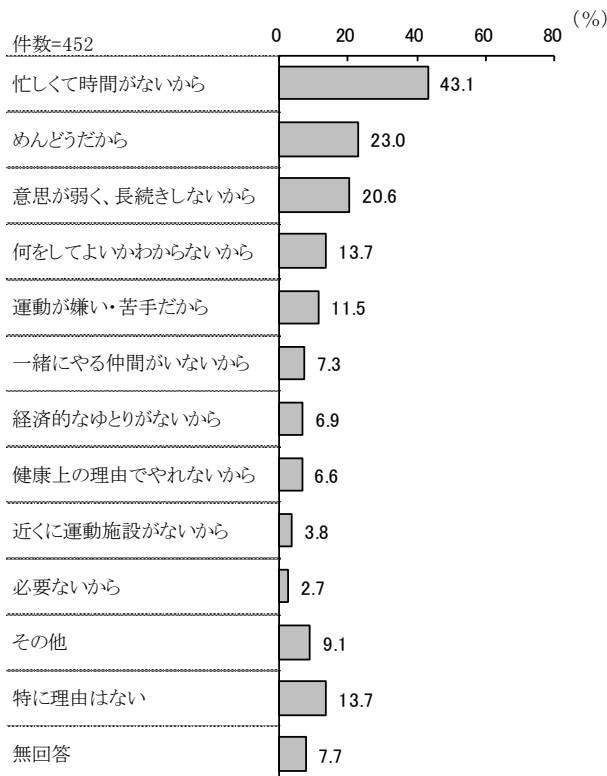
(%)	件数(件)	1年以上実施している	1年以上実施していない	該当する運動はない	無回答
今回調査 (H26)	850	24.2	13.3	53.2	3.0
前回調査 (H22)	862	24.5	11.1	57.2	7.2
愛知県 (H24)	1,884	30.0	8.1	60.7	1.3

4-6 運動をしていない理由

【問31で「該当する運動は実施していない」と回答した方】

問31-1 該当する運動をしていない理由は何ですか。(3つまで)

- 運動をしていない理由は、「忙しくて時間がないから」が43.1%で最も高く、次いで「めんどうだから」(23.0%)、「意思が弱く、長続きしないから」(20.6%)となっている。
- 性別でみると、「めんどうだから」は男性(30.7%)で高く、「意思が弱く、長続きしないから」は女性(25.9%)で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「忙しくて時間がないから」は、男性20歳代（80.0%）、40歳代（70.4%）、女性20歳代（72.4%）で高くなっている。「意思が弱く、長続きしないから」は女性の60歳代（41.0%）で高くなっている。

	件数（件）	忙しくて時間がないから	めんどうだから	意思が弱く、長続きしないから	何をしてもよいかかわからないから	運動が嫌い・苦手だから	一緒にやる仲間がないから	経済的なゆとりがないから	健康上の理由でやれないから	近くに運動施設がないから	必要ないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	452	43.1	23.0	20.6	13.7	11.5	7.3	6.9	6.6	3.8	2.7	9.1	13.7	7.7
男性20歳代	15	80.0	33.3	20.0	13.3	-	-	6.7	-	-	6.7	6.7	-	-
30歳代	34	55.9	38.2	5.9	5.9	2.9	5.9	2.9	-	5.9	2.9	5.9	14.7	2.9
40歳代	27	70.4	22.2	18.5	7.4	11.1	7.4	3.7	-	3.7	-	7.4	14.8	3.7
50歳代	28	50.0	28.6	17.9	3.6	3.6	14.3	10.7	-	-	10.7	7.1	17.9	3.6
60歳代	34	17.6	29.4	5.9	5.9	14.7	8.8	5.9	11.8	-	8.8	11.8	23.5	8.8
70歳以上	37	13.5	32.4	13.5	21.6	8.1	24.3	2.7	8.1	5.4	5.4	10.8	21.6	8.1
女性20歳代	29	72.4	24.1	27.6	24.1	20.7	13.8	6.9	-	13.8	-	13.8	-	-
30歳代	66	45.5	16.7	22.7	16.7	19.7	4.5	9.1	3.0	3.0	1.5	13.6	9.1	10.6
40歳代	59	55.9	18.6	28.8	8.5	8.5	3.4	10.2	1.7	3.4	-	3.4	13.6	10.2
50歳代	38	47.4	26.3	23.7	18.4	13.2	-	7.9	15.8	2.6	-	18.4	-	5.3
60歳代	39	30.8	20.5	41.0	12.8	17.9	5.1	7.7	5.1	2.6	-	7.7	23.1	5.1
70歳以上	41	9.8	7.3	14.6	17.1	4.9	4.9	2.4	24.4	2.4	2.4	2.4	19.5	22.0

- 前回調査と比較すると、「めんどうだから」「近くに運動施設がないから」が5ポイント以上減少している。また、「何をしてもよいかかわからないから」が3.8ポイント、「特に理由はない」が6ポイント、それぞれ増加している。

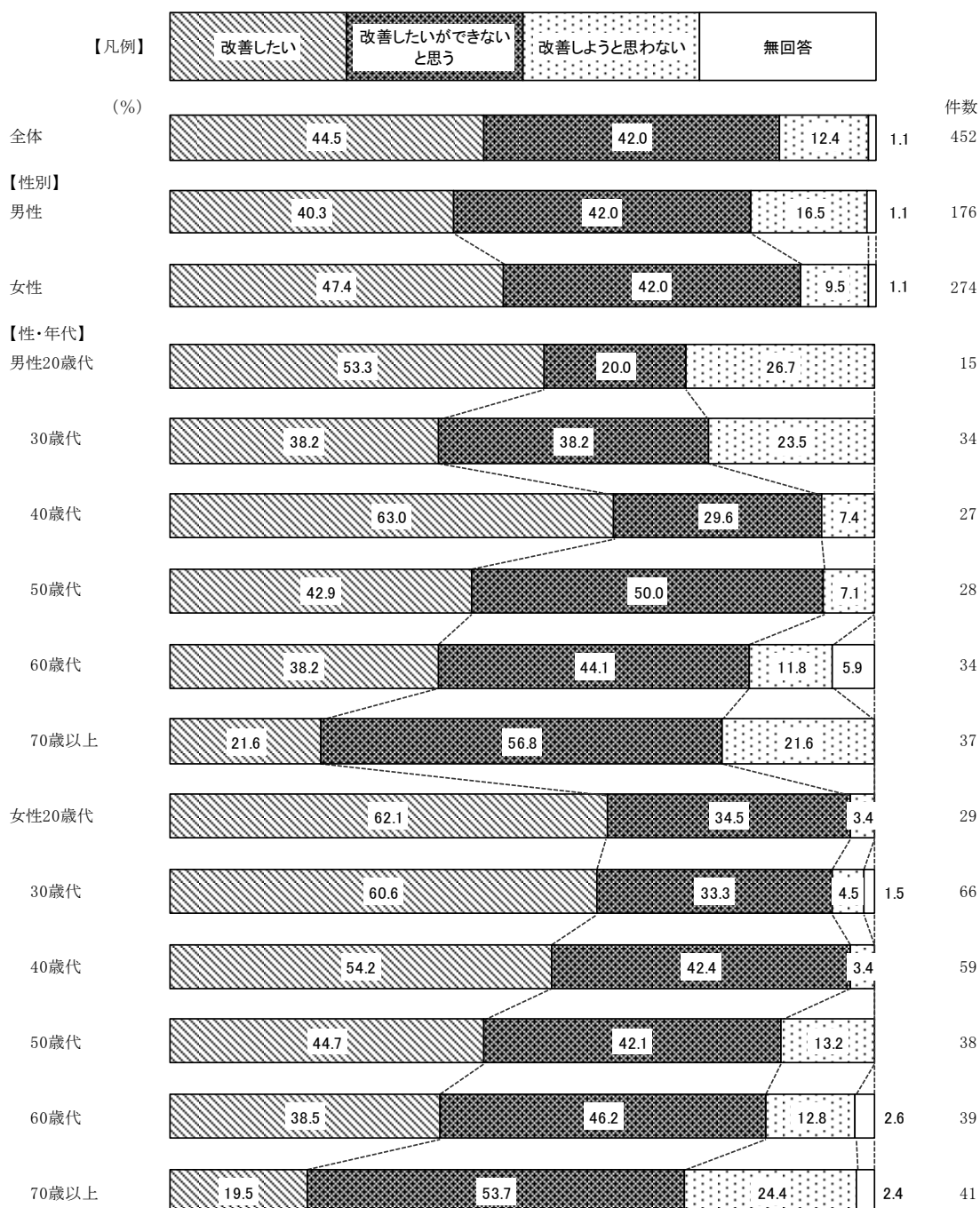
	件数（件）	忙しくて時間がないから	めんどうだから	意思が弱く、長続きしないから	何をしてもよいかかわからないから	運動が嫌い・苦手だから	一緒にやる仲間がないから	経済的なゆとりがないから	健康上の理由でやれないから	近くに運動施設がないから	必要ないから	その他	特に理由はない	無回答
今回調査（H26）	452	43.1	23.0	20.6	13.7	11.5	7.3	6.9	6.6	3.8	2.7	9.1	13.7	7.7
前回調査（H22）	493	47.9	29.6	24.5	9.9	11.6	9.3	7.7	9.7	9.1	2.0	8.3	7.7	0.4

4-7 運動習慣の改善意向

【問31で「該当する運動は実施していない」と回答した方】

問31-2 今後、自分の運動習慣をどのようにしたいですか。（1つだけ）

- 運動習慣の改善意向は、「改善したい」が44.5%となっている。これに「改善したいができないと思う」（42.0%）を合わせた『改善意向がある』人は86.5%となる。
- 性別で見ると、「改善したい」は女性（47.4%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「改善したい」は男性の40歳代（63.0%）と女性の20歳代（62.1%）、30歳代（60.6%）で6割以上と高くなっている。



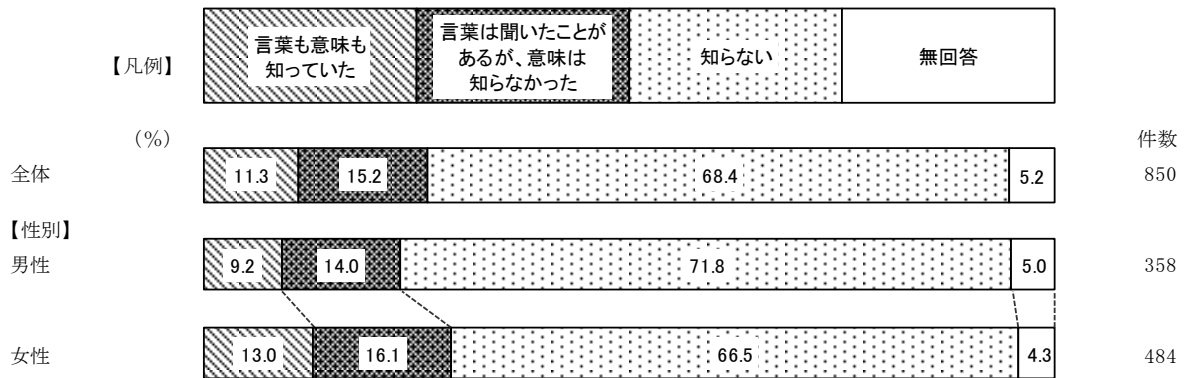
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(%)	件数(件)	改善したい	うで改善したいと思	思改善しよう	無回答
今回調査 (H26)	452	44.5	42.0	12.4	1.1
前回調査 (H22)	493	40.8	43.4	12.8	3.0

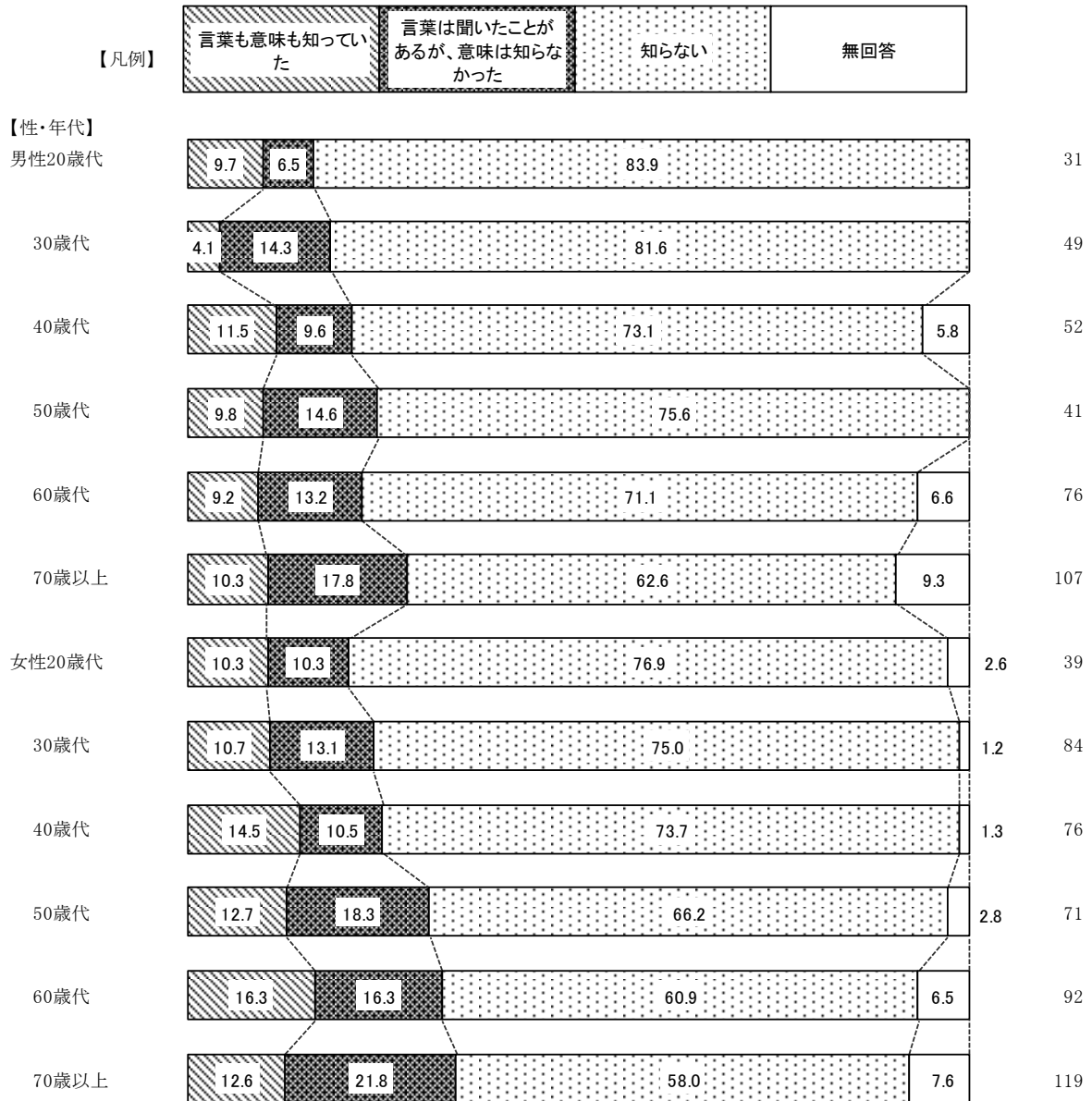
4-8 「ロコモティブシンドローム」の認知度

問32 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」とは、運動器（骨、関節、筋肉など）の衰えにより、日常生活での自立度が低下し、要介護になる可能性の高い状態をいいます。歩行速度が遅い高齢者ほど、要介護状態になりやすいことが知られています。このロコモティブシンドロームを知っていましたか。（1つだけ）

- 「ロコモティブシンドローム」の認知度は26.5%であり、そのうち「言葉も意味も知っていた」は11.3%となっている。一方、「知らない」は68.4%となっている。
- 性別で見ると、認知度は男性が23.2%、女性が29.1%で、女性の割合が高くなっている。



- 性・年齢別でみると、認知度は、男女ともに年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にあり、女性の50歳代以上で3割以上となっている。「知らない」は男性の20歳代（83.9%）、30歳代（81.6%）で8割以上となっている。



- 愛知県の調査と比較すると、認知度は清須市が26.5%、愛知県が18.3%で、清須市の割合が高くなっている。

	件数 (件)	言葉も意味も知っていた (%)	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった (%)	知らない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	11.3	15.2	68.4	5.2
愛知県 (H24)	1,884	7.5	10.8	80.3	1.4

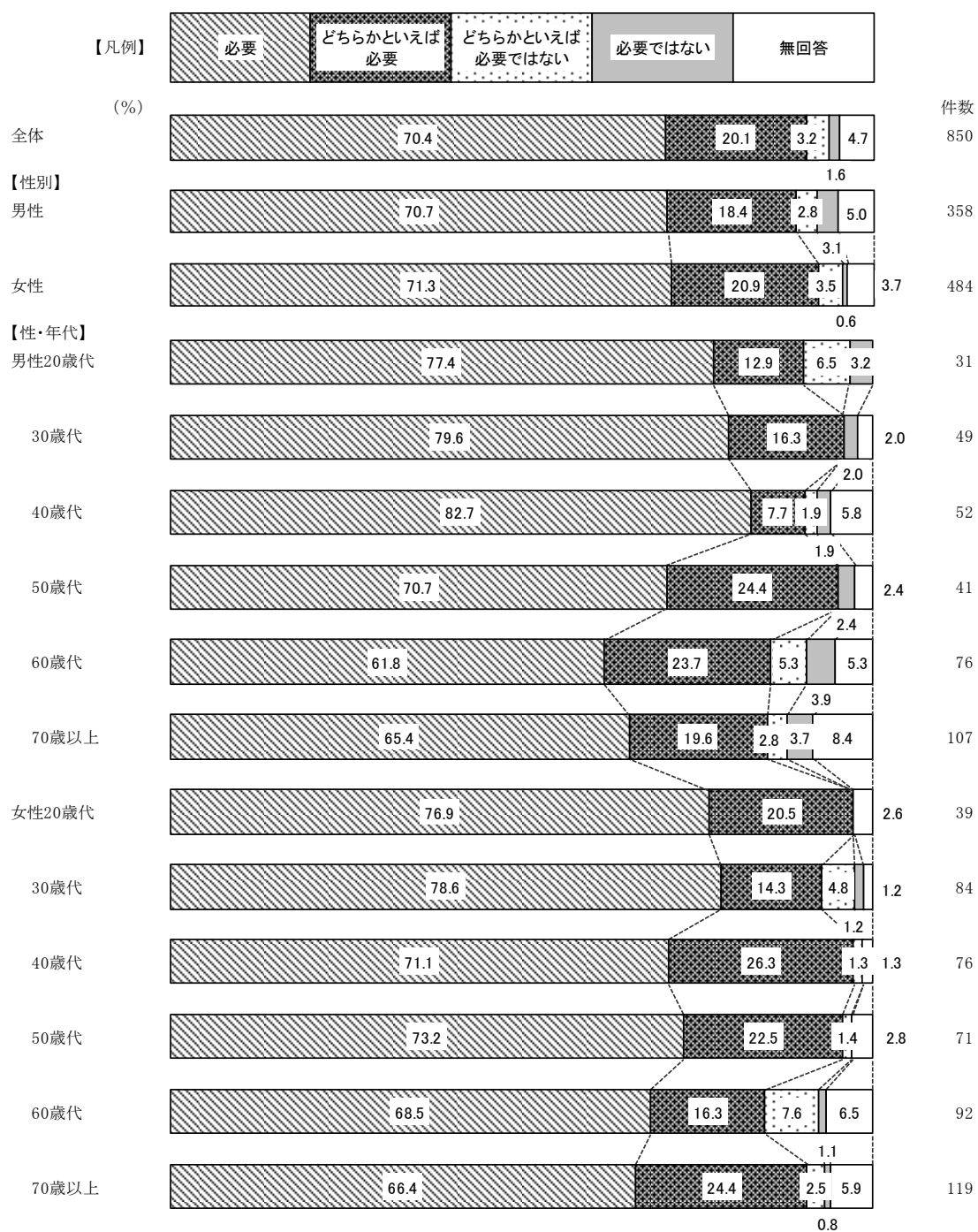
5 休養・こころの健康について

5-1 健康のために睡眠や休養をとる必要性

問33 ふだんの生活において、健康のために睡眠や休養をとる必要があると思いますか。

(1つだけ)

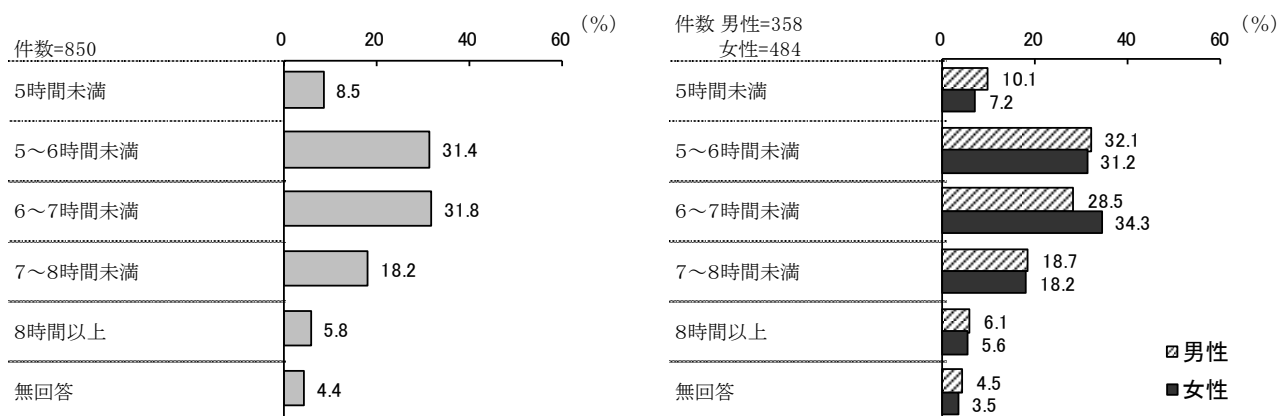
- 健康のために睡眠や休養をとる必要性は、「必要」が70.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば必要」が20.1%となっている。これらを合わせた『必要性がある』人は、90.5%となる。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年齢別で見ると、「必要」は男女ともに60歳代以上では7割未満となっている。



5-2 平均睡眠時間/日

問34 1日の睡眠時間は平均して何時間くらいですか。(1つだけ)

- 平均睡眠時間は、「6～7時間未満」(31.8%)、「5～6時間未満」(31.4%)の割合がそれぞれ3割台となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年齢別でみると、「5時間未満」は男性の50歳代(19.5%)で高く、「5～6時間未満」は男性の20歳代から50歳代で4割台となっている。「8時間以上」は男性の70歳以上(12.1%)で高くなっている。



	件数 (件)	5時間未満 (%)	5～6時間未満 (%)	6～7時間未満 (%)	7～8時間未満 (%)	8時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	850	8.5	31.4	31.8	18.2	5.8	4.4
男性20歳代	31	9.7	45.2	22.6	19.4	3.2	-
30歳代	49	14.3	42.9	32.7	10.2	-	-
40歳代	52	9.6	48.1	25.0	7.7	3.8	5.8
50歳代	41	19.5	43.9	26.8	7.3	2.4	-
60歳代	76	7.9	21.1	30.3	30.3	6.6	3.9
70歳以上	107	6.5	19.6	29.0	23.4	12.1	9.3
女性20歳代	39	2.6	33.3	41.0	20.5	-	2.6
30歳代	84	8.3	26.2	31.0	22.6	10.7	1.2
40歳代	76	10.5	39.5	28.9	15.8	3.9	1.3
50歳代	71	12.7	39.4	28.2	15.5	2.8	1.4
60歳代	92	5.4	26.1	40.2	16.3	3.3	8.7
70歳以上	119	4.2	27.7	37.8	18.5	8.4	3.4

- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、6時間未満は清須市の割合が高く、7時間以上は愛知県の割合が高くなっている。

	件数 (件)	5時間未満 (%)	5～6時間未満 (%)	6～7時間未満 (%)	7～8時間未満 (%)	8時間以上 (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	8.5	31.4	31.8	18.2	5.8	4.4
前回調査 (H22)	862	9.7	30.6	32.5	20.3	5.8	1.0
愛知県 (H24)	1,884	3.5	12.5	34.9	29.1	18.6	1.4

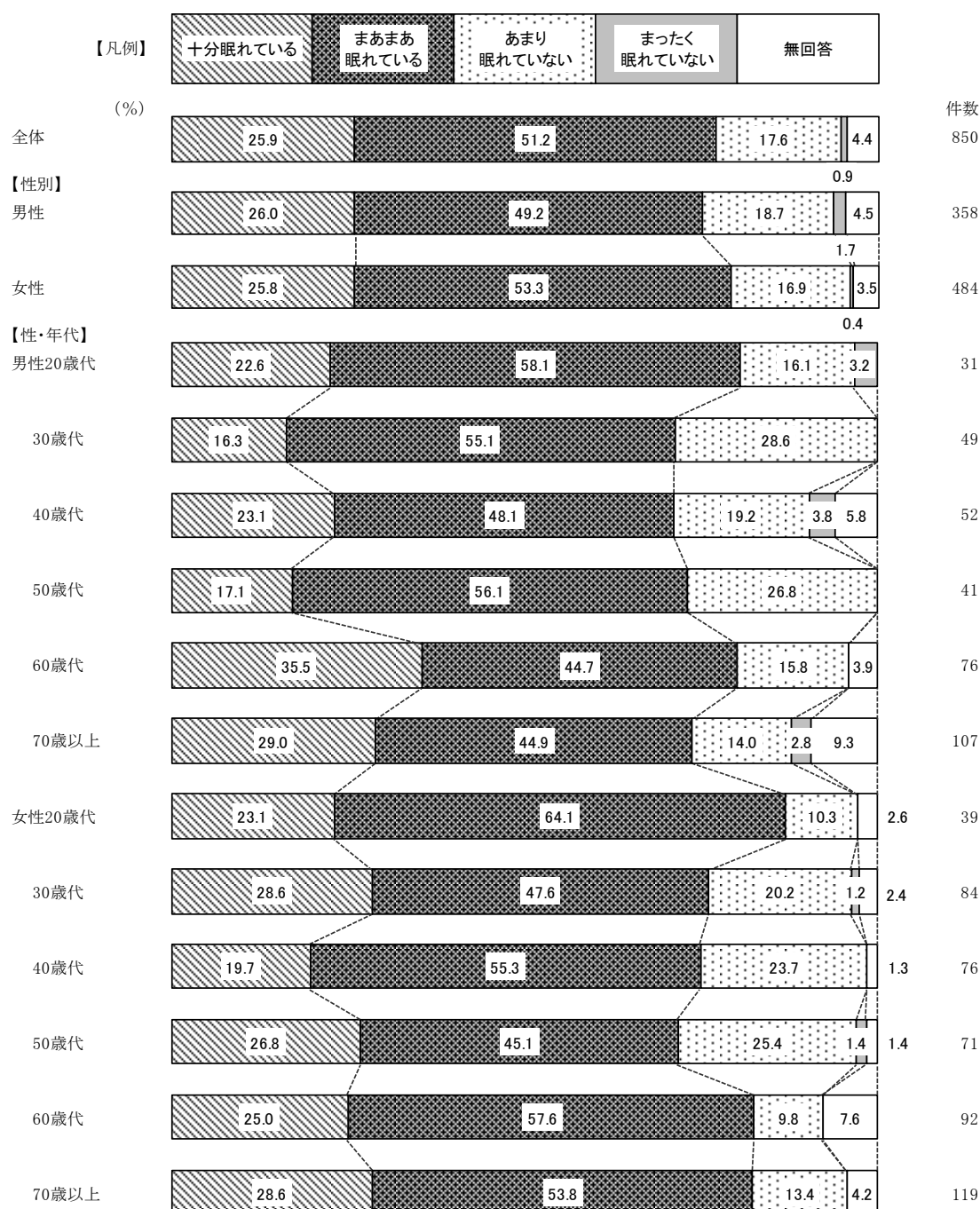
5-3 睡眠の充足度

問35 ふだん、十分眠れていますか。(1つだけ)

- 睡眠の充足度は、「まあまあ眠れている」が51.2%で最も高く、次いで「十分眠れている」が25.9%となっている。これらを合わせた『眠れている※1』は77.1%となる。一方、『眠れていない※2』は18.5%となっている。
- 性別でみても大きな差はみられない。
- 性・年齢別でみると、『眠れている』は女性の20歳代(87.2%)で最も高くなっている。一方、『眠れていない』は男性の30歳代(28.6%)、40歳代(23.0%)、50歳代(26.8%)と女性の40歳代(23.7%)、50歳代(26.8%)では2割以上となっている。

※1 「十分眠れている」「まあまあ眠れている」の計

※2 「あまり眠れていない」「まったく眠れていない」の計



- 前回調査と比較すると、「十分眠れている」が4.8ポイント減少している。また、愛知県との調査と比較しても、大きな差はみられない。

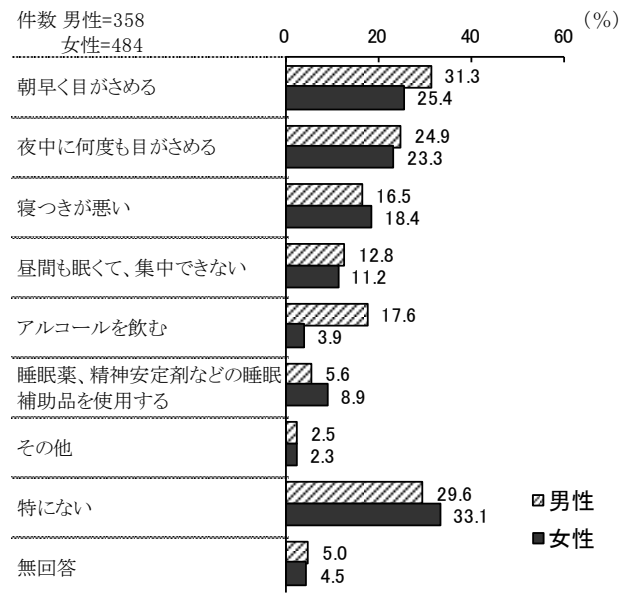
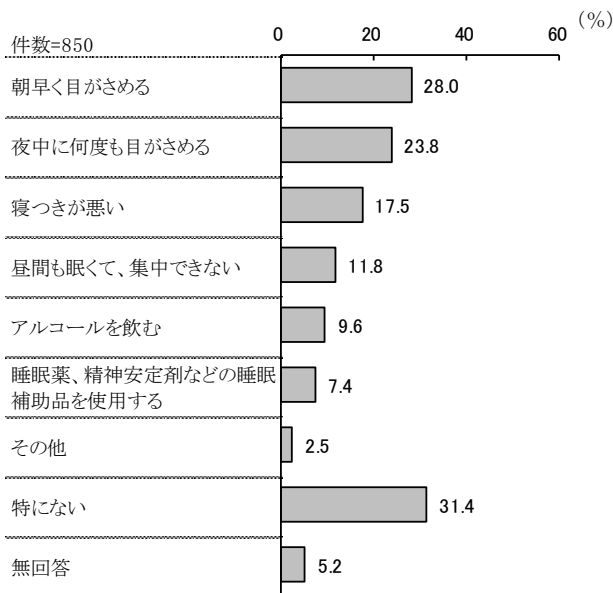
	件数 (件)	十分 眠れ てい	まあ まあ 眠れ	あまり ない 眠れ	まったく なく 眠れ	無 回 答
今回調査 (H26)	850	25.9	51.2	17.6	0.9	4.4
前回調査 (H22)	862	30.7	49.9	17.7	0.5	1.2
愛知県 (H24)	1,884	30.1	47.6	19.1	1.4	1.8

※愛知県の調査は設問文が「ここ1か月、睡眠で休養が十分に取れていますか」で、
 選択肢は「十分に取れている」「まあまあ取れている」「あまり取れていない」「まったく取れていない」。

5-4 睡眠の状況

問36 睡眠について次のようなことがありますか。(いくつでも)

- 睡眠の状況は、「特にない」が31.4%で最も高くなっている。しかし、何かしらの症状がある人※は63.4%となっており、具体的には、「朝早く目がさめる」(28.0%)、「夜中に何度も目がさめる」(23.8%)が高くなっている。
- 性別で見ると、「アルコールを飲む」は男性(17.6%)で高くなっている。
 ※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合



- 性・年齢別でみると、「朝早くから目がさめる」は男性の60歳代（42.1%）で高く、「睡眠薬、精神安定剤などの睡眠補助品を使用する」は女性の70歳以上（21.0%）で高くなっている。また、「アルコールを飲む」は男性の40歳代、（21.2%）、50歳代（24.4%）で高くなっている。

	件数（件）	朝早く目がさめる	夜中に何度も目がさめる	寝つきが悪い	い	昼間も眠くて、集中できない	アルコールを飲む	睡眠薬、精神安定剤などの睡眠補助品を使用する	その他	特にな	無回答
(%)											
全体	850	28.0	23.8	17.5	11.8	9.6	7.4	2.5	31.4	5.2	
男性20歳代	31	12.9	22.6	19.4	22.6	9.7	3.2	3.2	41.9	-	
30歳代	49	18.4	20.4	24.5	14.3	14.3	4.1	-	40.8	-	
40歳代	52	21.2	11.5	11.5	7.7	21.2	1.9	3.8	42.3	9.6	
50歳代	41	39.0	34.1	14.6	19.5	24.4	2.4	-	22.0	-	
60歳代	76	42.1	21.1	10.5	13.2	17.1	5.3	-	30.3	5.3	
70歳以上	107	36.4	33.6	19.6	9.3	17.8	10.3	5.6	16.8	8.4	
女性20歳代	39	2.6	15.4	20.5	23.1	2.6	2.6	7.7	30.8	2.6	
30歳代	84	21.4	16.7	17.9	11.9	7.1	3.6	3.6	44.0	2.4	
40歳代	76	19.7	22.4	13.2	21.1	6.6	6.6	2.6	43.4	3.9	
50歳代	71	29.6	25.4	22.5	11.3	4.2	2.8	-	32.4	2.8	
60歳代	92	25.0	26.1	17.4	6.5	2.2	7.6	-	30.4	7.6	
70歳以上	119	37.0	26.9	18.5	4.2	1.7	21.0	2.5	22.7	5.0	

- 前回調査と比較すると、「夜中に何度も目がさめる」が4.3ポイント減少している。

	件数（件）	朝早く目がさめる	夜中に何度も目がさめる	寝つきが悪い	中	昼間も眠くて、集中できない	アルコールを飲む	睡眠薬、精神安定剤などの睡眠補助品を使用する	その他	特にな	無回答
(%)											
今回調査（H26）	850	28.0	23.8	17.5	11.8	9.6	7.4	2.5	31.4	5.2	
前回調査（H22）	862	28.9	28.1	17.9	11.9	8.6	7.7	2.4	31.6	3.9	

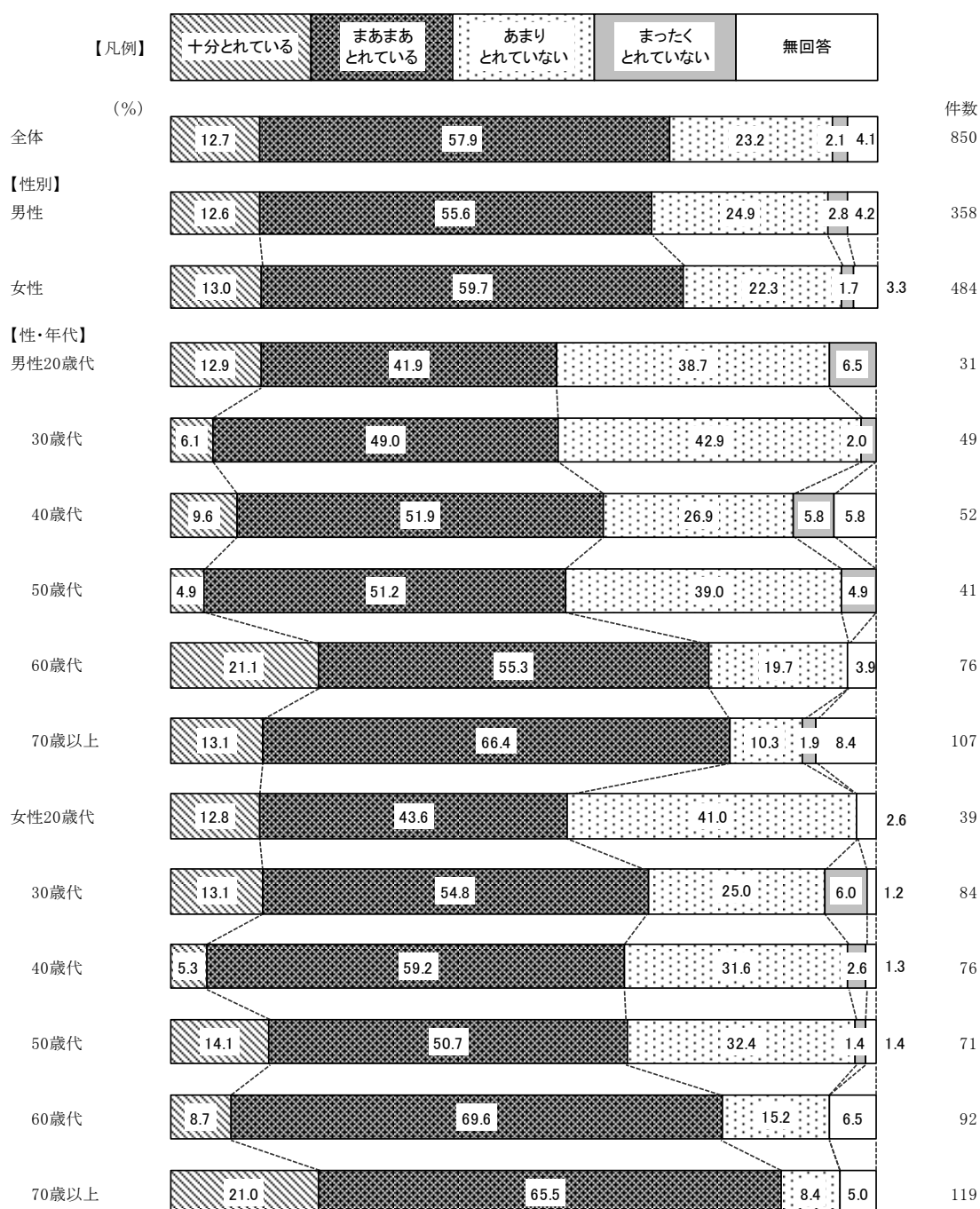
5-5 睡眠による疲れの解消度

問37 ふだんっている睡眠で疲れがとれていますか。(1つだけ)

- 睡眠による疲れの解消度は、「まあまあとれている」が57.9%で最も高く、これに「十分とれている」(12.7%)を合わせると『とれている※1』人は70.6%となる。一方、『とれていない※2』は25.3%となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年齢別で見ると、『とれている』は男女ともに60歳代以上で7割以上となっている。一方、『とれていない』は男性の20歳代(45.2%)、30歳代(44.9%)、50歳代(43.9%)、女性の20歳代(41.0%)で4割以上となっている。

※1 「十分とれている」「まあまあとれている」の計

※2 「あまりとれていない」「まったくとれていない」の計



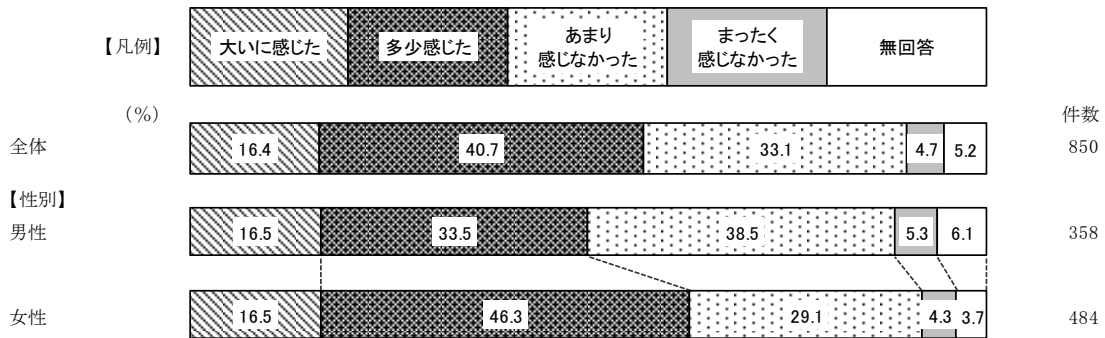
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

	件数 (件)	十分と れてい	てま あ あ あ と れ	い あ ま り と れ て	ま つ た く と れ	無 回 答
(%)						
今回調査 (H26)	850	12.7	57.9	23.2	2.1	4.1
前回調査 (H22)	862	13.7	58.0	24.6	2.3	1.4

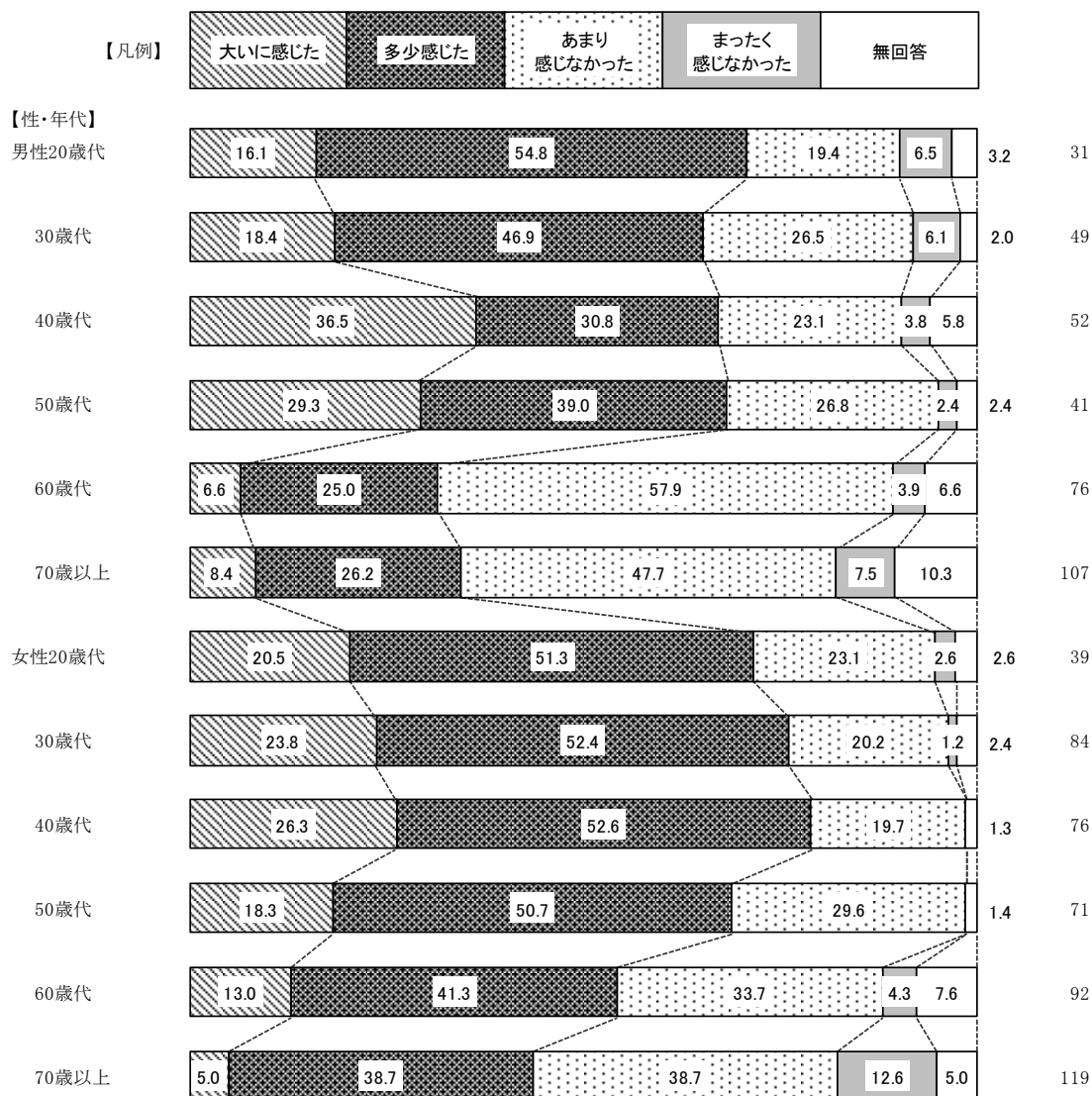
5-6 1か月間にストレスを感じたこと

問38 この1か月間に、ストレスを感じましたか。(1つだけ)

- この1か月間のストレスについては、「多少感じた」が40.7%で最も高く、これに「大いに感じた」(16.4%)をあわせた『感じた※1』は57.1%となる。一方、『感じなかった※2』は37.8%となっている。
- 性別で見ると、『感じた』は女性(62.8%)で高くなっている。
 ※1 「大いに感じた」「多少感じた」の計
 ※2 「あまり感じなかった」「まったく感じなかった」の計



- 性・年齢別でみると、『感じた』は、男性の20歳代（70.9%）、女性の20歳代（71.8%）、30歳代（76.2%）、40歳代（78.9%）で高くなっている。また、「大いに感じた」は男性の40歳代（36.5%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「大いに感じた」が4.8ポイント減少し、「多少感じた」が4.7%増加している。また、愛知県の調査と比較すると、『感じた』は清須市が57.1%、愛知県が68.1%で、清須市の割合が低くなっている。

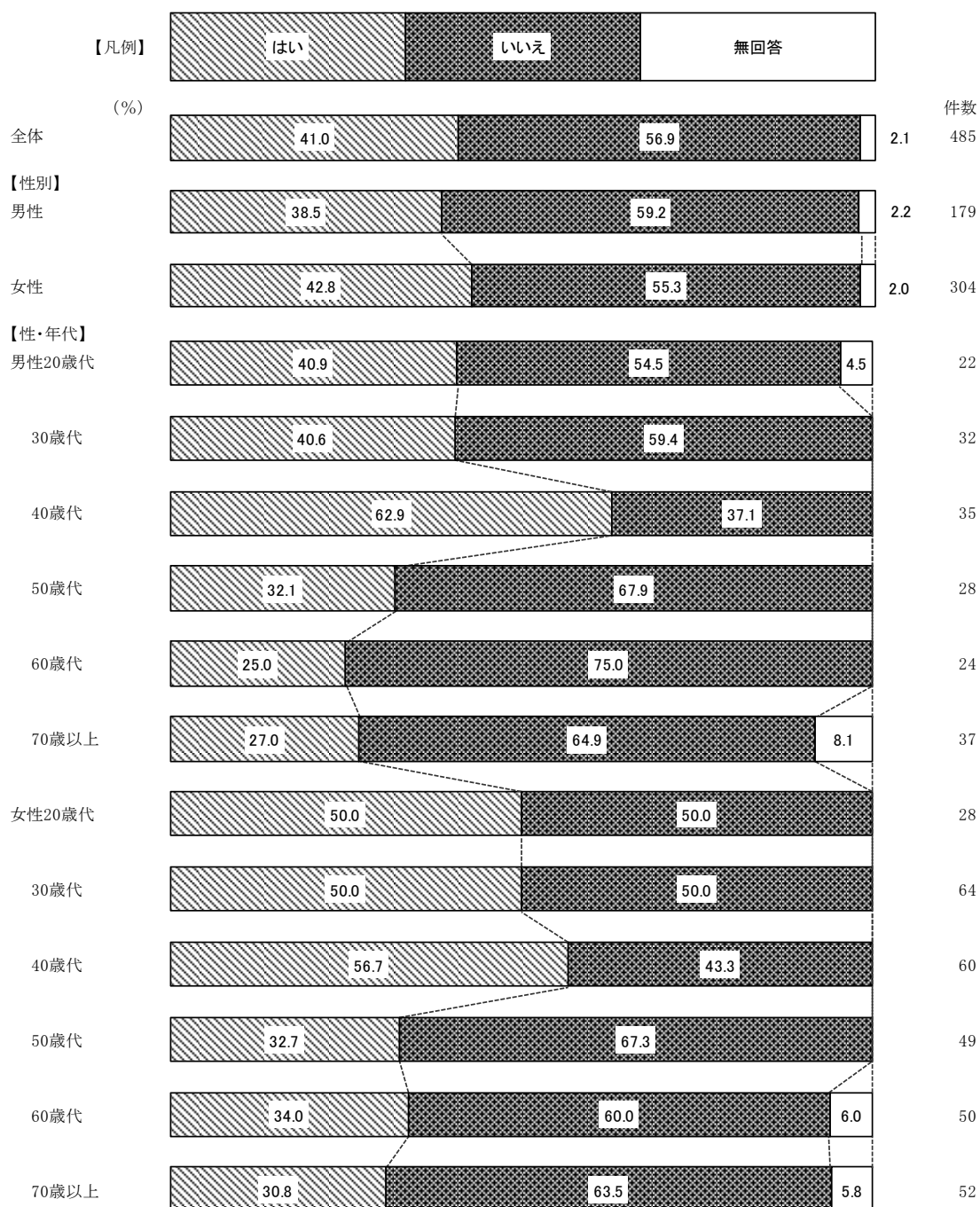
	件数 (件)	大いに 感じた	多少 感じた	か あ ま り 感 じ な か つ た	な ま つ た く 感 じ	無 回 答
(%)						
今回調査 (H26)	850	16.4	40.7	33.1	4.7	5.2
前回調査 (H22)	862	21.2	36.0	33.5	6.7	2.6
愛知県 (H24)	1,884	20.2	47.9	23.8	6.6	1.4

5-7 ストレスが大きくて逃げ出したいと思うこと

【問38で「大いに感じた」「多少感じた」と回答した方】

問38-1 ストレスが大きくて、逃げ出したいと思うことがありますか。（1つだけ）

- ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことは、「はい（ある）」が41.0%、「いいえ（ない）」が56.9%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年齢別でみると、「はい」は男性の40歳代（62.9%）、女性の40歳代（56.7%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「はい」が9.5ポイント減少している。

	(件数)	はい	いいえ	無回答
(%)				
今回調査 (H26)	485	41.0	56.9	2.1
前回調査 (H22)	493	50.5	48.3	1.2

- 問40の何でも話せる人が「いない」では、ストレスが大きくて逃げ出したいと思うで「はい」と答えた人の割合が高くなっている。

問40 何でも話せる人の有無
問38-1 ストレスが大きくて、逃げだしたいと思うこと

	件数	いる	いない	わからない	無回答
(%)					
全体	485	72.4	15.7	10.9	1.0
はい	199	67.8	19.6	11.6	1.0
いいえ	276	75.4	13.4	10.5	0.7

- 問41の趣味が「いいえ (ない)」では、ストレスが大きくて逃げ出したいと思うで「はい」と答えた人の割合が高くなっている。

問41 趣味の有無
問38-1 ストレスが大きくて、逃げだしたいと思うこと

	件数	はい	いいえ	無回答
(%)				
全体	485	69.9	27.8	2.3
はい	199	68.3	30.2	1.5
いいえ	276	71.4	26.4	2.2

- 問35の睡眠の充足度で「眠れていない」では、ストレスが大きくて逃げ出したいと思うで「はい」と答えた人の割合が高くなっている。

問35 睡眠の充足度
問38-1 ストレスが大きくて、逃げだしたいと思うこと

	件数	眠れている	眠れていない	無回答
(%)				
全体	485	74.4	24.7	0.8
はい	199	66.3	33.7	-
いいえ	276	80.4	18.5	1.1

- 問29の身体を動かす「心がけをしていない」では、ストレスが大きくて逃げ出したいと思うで「はい」と答えた人の割合が高くなっている。

問29 身体を動かす心がけ
問38-1 ストレスが大きくて、逃げだしたいと思うこと

	件数	心がけている	心がけていない	わからない	無回答
(%)					
全体	485	52.4	37.9	8.7	1.0
はい	199	45.2	43.2	10.1	1.5
いいえ	276	56.2	35.1	8.0	0.7

- 問31の運動習慣別でも、大きな差はみられない。

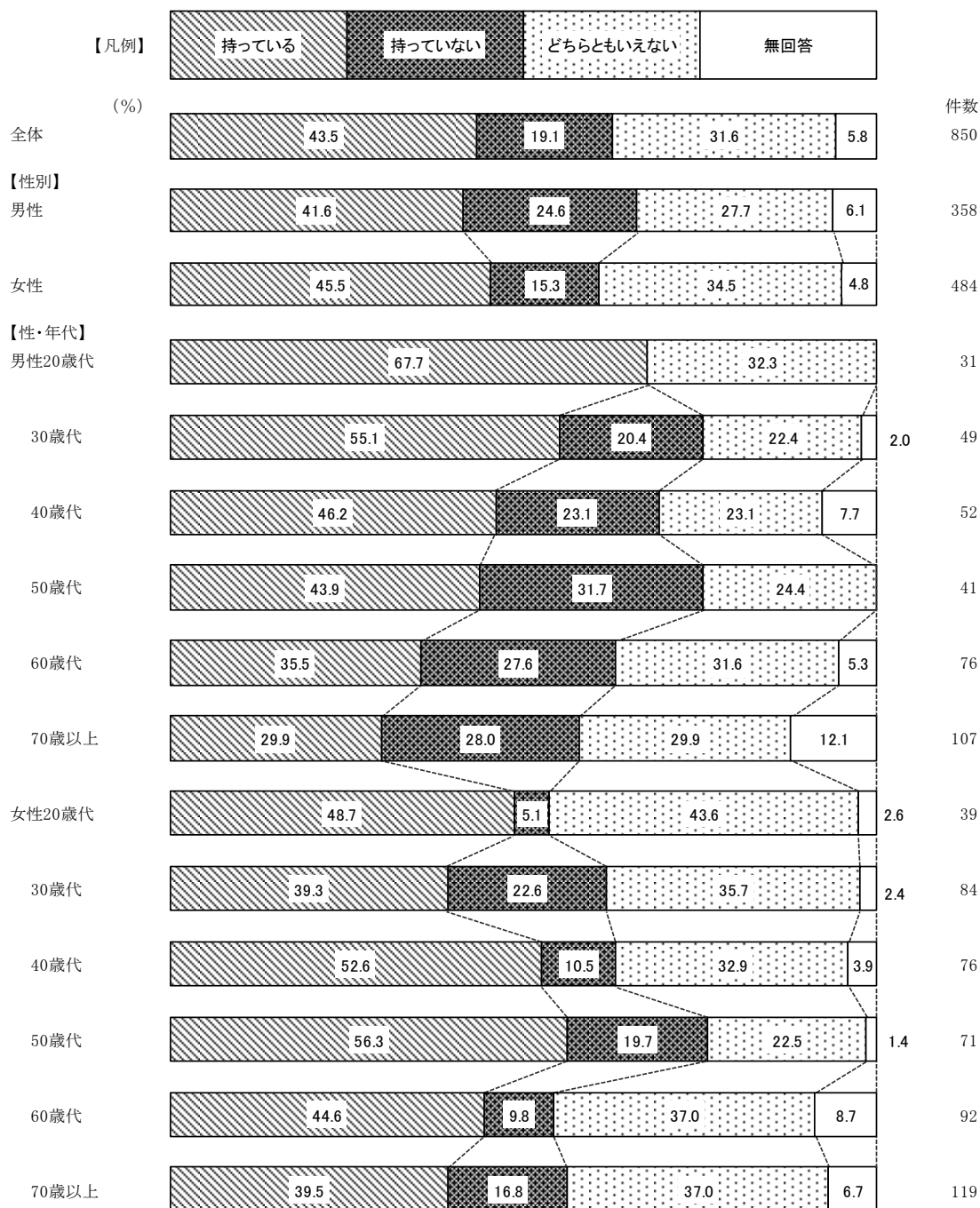
問31 運動習慣
問38-1 ストレスが大きくて、逃げだしたいと思うこと

	件数	1年以上実施している	1年以上実施していない	該当している運動は実	無回答
全体	485	18.8	13.4	63.7	4.1
はい	199	17.1	12.1	65.3	5.5
いいえ	276	19.6	13.8	63.8	2.9

5-8 ストレス解消方法の有無

問39 自分なりのストレス解消方法を持っていますか。(1つだけ)

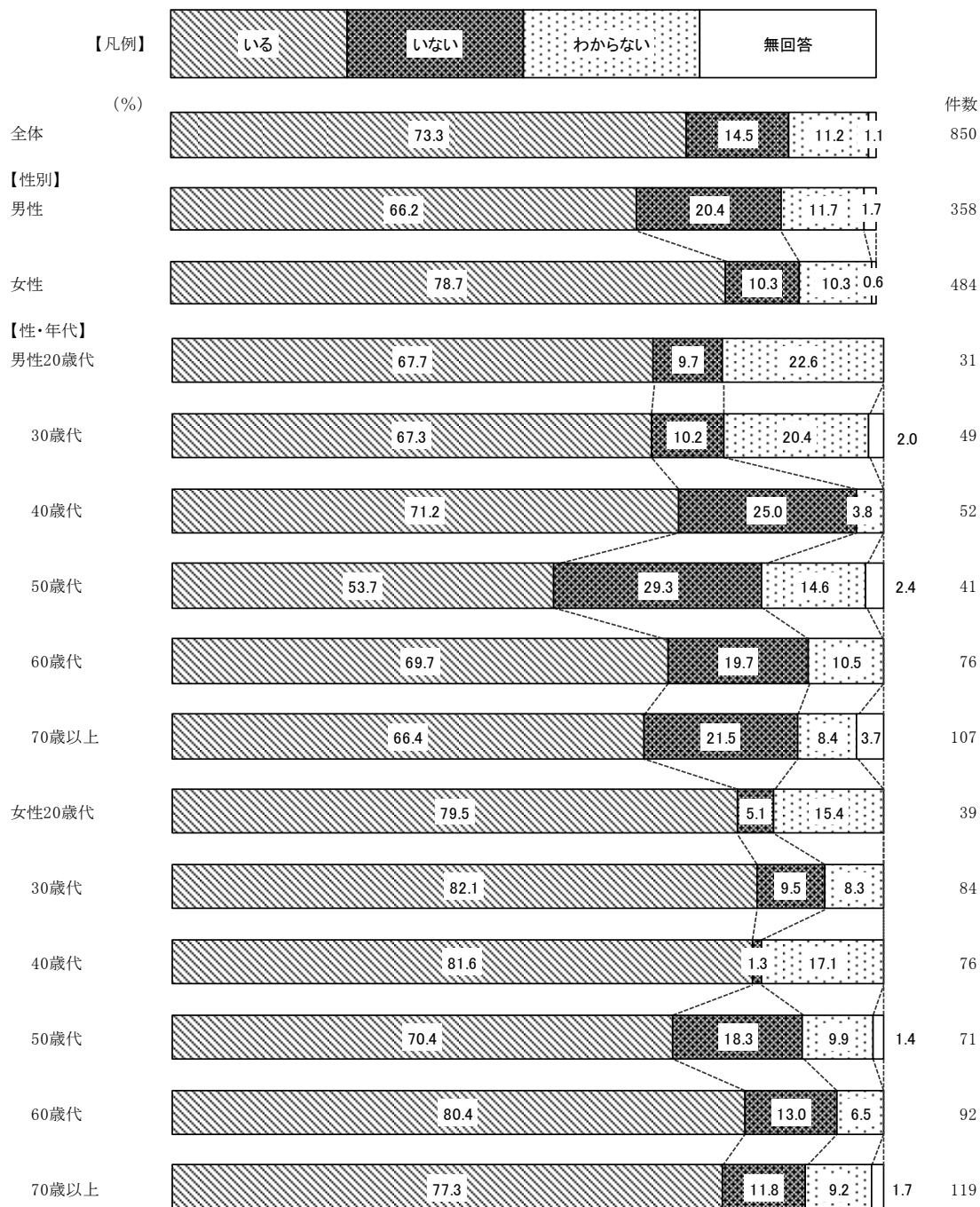
- ストレス解消法の有無は、「持っている」が43.5%、「持っていない」が19.1%、「どちらともいえない」が31.6%となっている。
- 性別で見ると、「持っていない」は男性(24.6%)で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「持っている」は、男性は高年齢になるほど割合が低く、男性の20歳代が67.7%であるのに対し、70歳以上では29.9%となっている。



5-9 何でも話せる人の有無

問40 あなたは、つらいことなど何でも話せる人が1人以上いますか。(1つだけ)

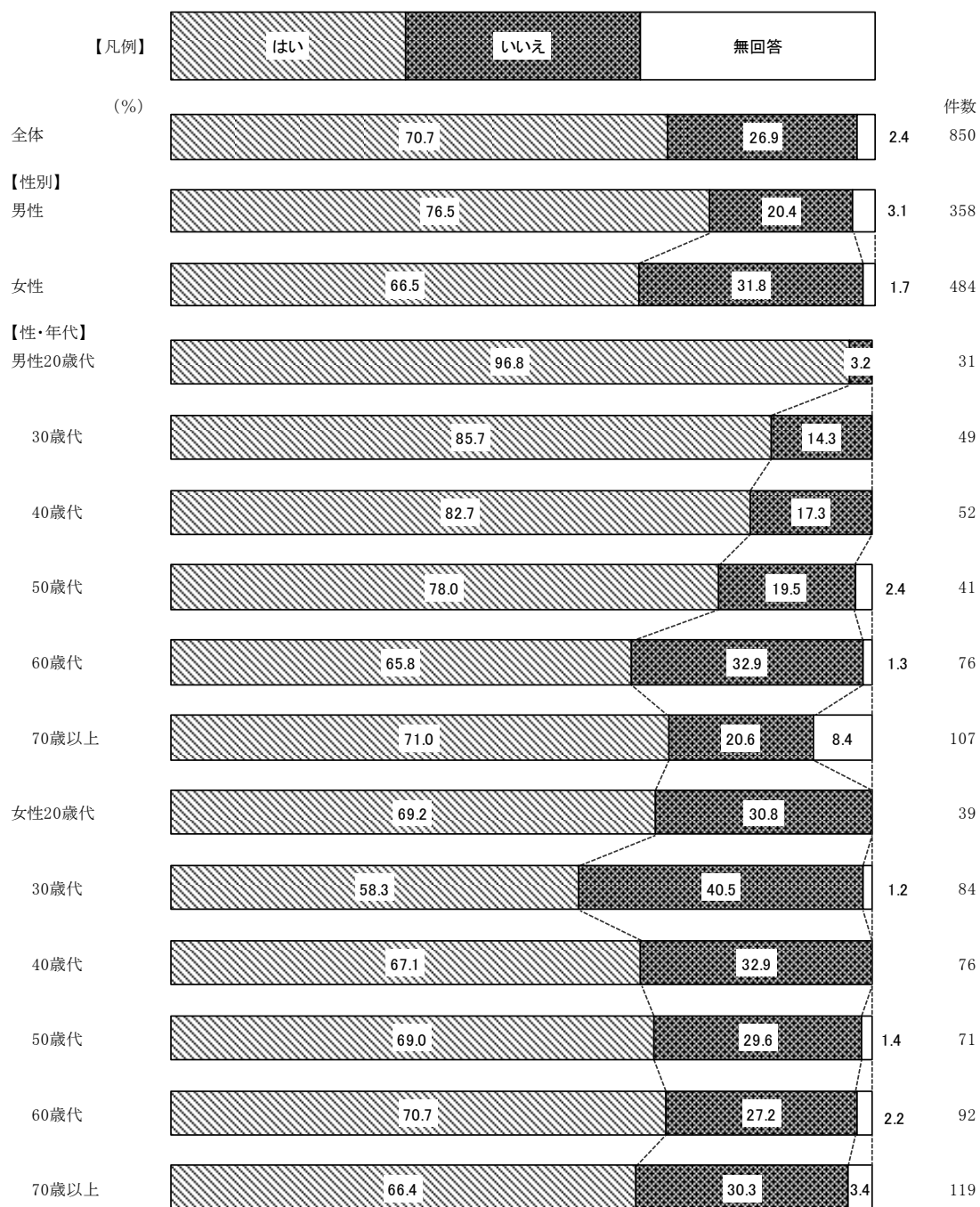
- 何でも話せる人の有無は、「いる」が73.3%、「いない」が14.5%となっている。また、「わからない」は11.2%となっている。
- 性別で見ると、「いる」は女性(78.7%)で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「いない」は男性の40歳代(25.0%)、50歳代(29.3%)での割合が高くなっている。また、「わからない」は男性の20歳代(22.6%)、30歳代(20.4%)で高くなっている。



5-10 趣味の有無

問41 趣味がありますか。(1つだけ)

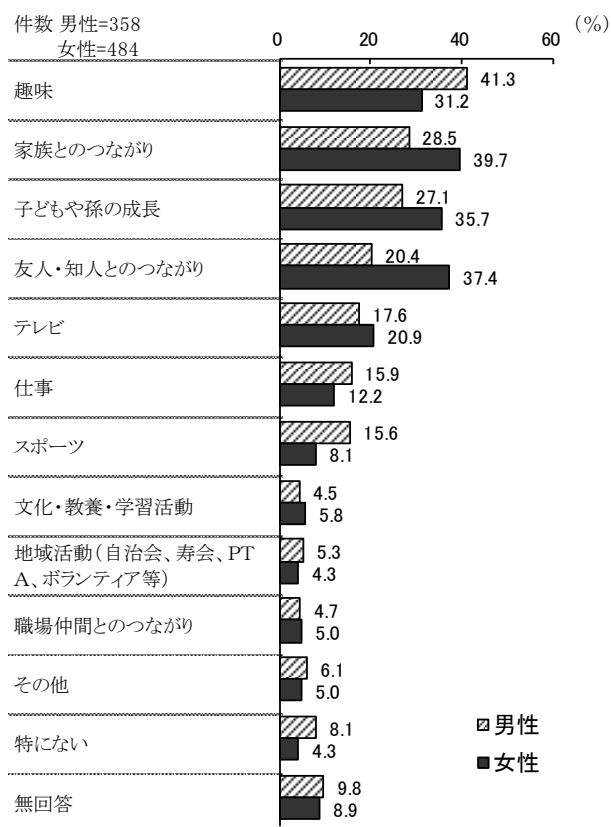
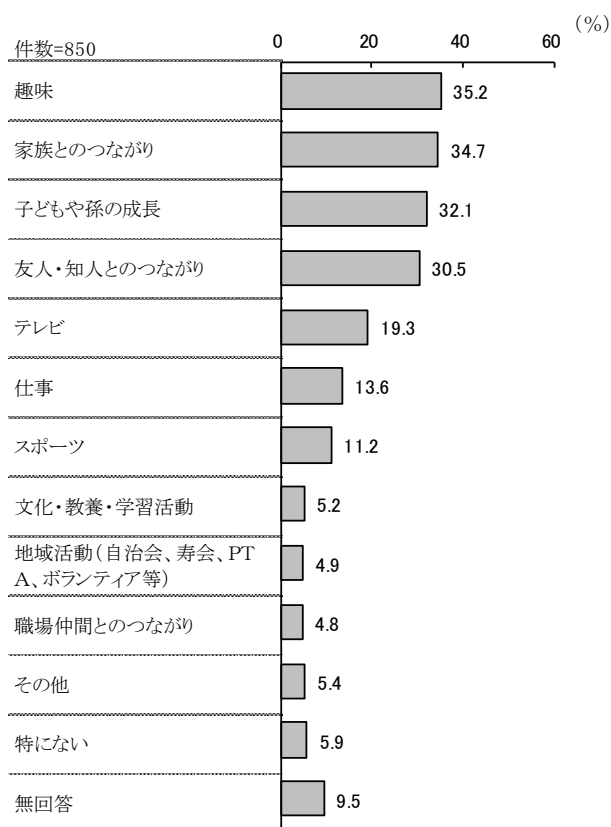
- 趣味の有無は、「はい(ある)」が70.7%、「いいえ(ない)」が26.9%となっている。
- 性別で見ると、「はい(ある)」は、男性(76.5%)で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「はい(ある)」は男性の20歳代(96.8%)で高くなっている。一方、「いいえ(ない)」は女性の30歳代(40.5%)で高くなっている。



5-11 生きがいや楽しみ

問42 現在の生きがい、楽しみとなっているものは何ですか。(3つまで)

- 生きがいや楽しみは、「趣味」(35.2%)、「家族とのつながり」(34.7%)、「子どもや孫の成長」(32.1%)、「友人・知人とのつながり」(30.5%)が3割台となっている。
- 性別で見ると、「趣味」は男性(41.3%)の割合が高く、「家族とのつながり」「子どもや孫の成長」「友人・知人とのつながり」は女性の割合が高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「趣味」は男性の20歳代（61.3%）で高くなっている。「家族とのつながり」と「友人・知人とのつながり」は女性の20歳代で、「子どもや孫の成長」は女性の40歳代（46.1%）、60歳代（48.6%）で高くなっている。

	件数(件)	趣味	家族とのつながり	子どもや孫の成長	友人・知人とのつながり	テレビ	仕事	スポーツ	文化・教養・学習活動	A、ボランティア等	会、PTA、ボラ	地域活動(自治会、PTA、ボラ)	職場仲間とのつながり	その他	特にない	無回答
全体	850	35.2	34.7	32.1	30.5	19.3	13.6	11.2	5.2		4.9	4.8	5.4	5.9	9.5	
男性20歳代	31	61.3	12.9	6.5	41.9	6.5	9.7	19.4	3.2	-		9.7	3.2	6.5	16.1	
30歳代	49	46.9	28.6	30.6	14.3	8.2	20.4	18.4	4.1		2.0	6.1	2.0	4.1	10.2	
40歳代	52	36.5	36.5	36.5	13.5	7.7	17.3	30.8	1.9	-		3.8	7.7	3.8	7.7	
50歳代	41	48.8	34.1	14.6	14.6	12.2	14.6	14.6	4.9	-		7.3	2.4	17.1	9.8	
60歳代	76	30.3	31.6	30.3	18.4	22.4	17.1	11.8	6.6		11.8	1.3	3.9	10.5	10.5	
70歳以上	107	40.2	25.2	29.9	24.3	28.0	14.0	9.3	4.7		8.4	4.7	11.2	6.5	8.4	
女性20歳代	39	30.8	53.8	7.7	66.7	15.4	7.7	2.6	10.3	-		7.7	2.6	2.6	7.7	
30歳代	84	22.6	41.7	44.0	38.1	13.1	11.9	4.8	6.0	-		6.0	7.1	7.1	10.7	
40歳代	76	31.6	39.5	46.1	30.3	15.8	13.2	9.2	7.9		1.3	5.3	3.9	3.9	10.5	
50歳代	71	36.6	32.4	28.2	38.0	9.9	12.7	8.5	5.6		4.2	2.8	7.0	7.0	8.5	
60歳代	92	32.6	41.3	48.9	37.0	21.7	22.8	12.0	6.5		5.4	7.6	1.1	2.2	8.7	
70歳以上	119	33.6	37.0	26.9	31.9	37.0	4.2	8.4	2.5		9.2	2.5	6.7	3.4	6.7	

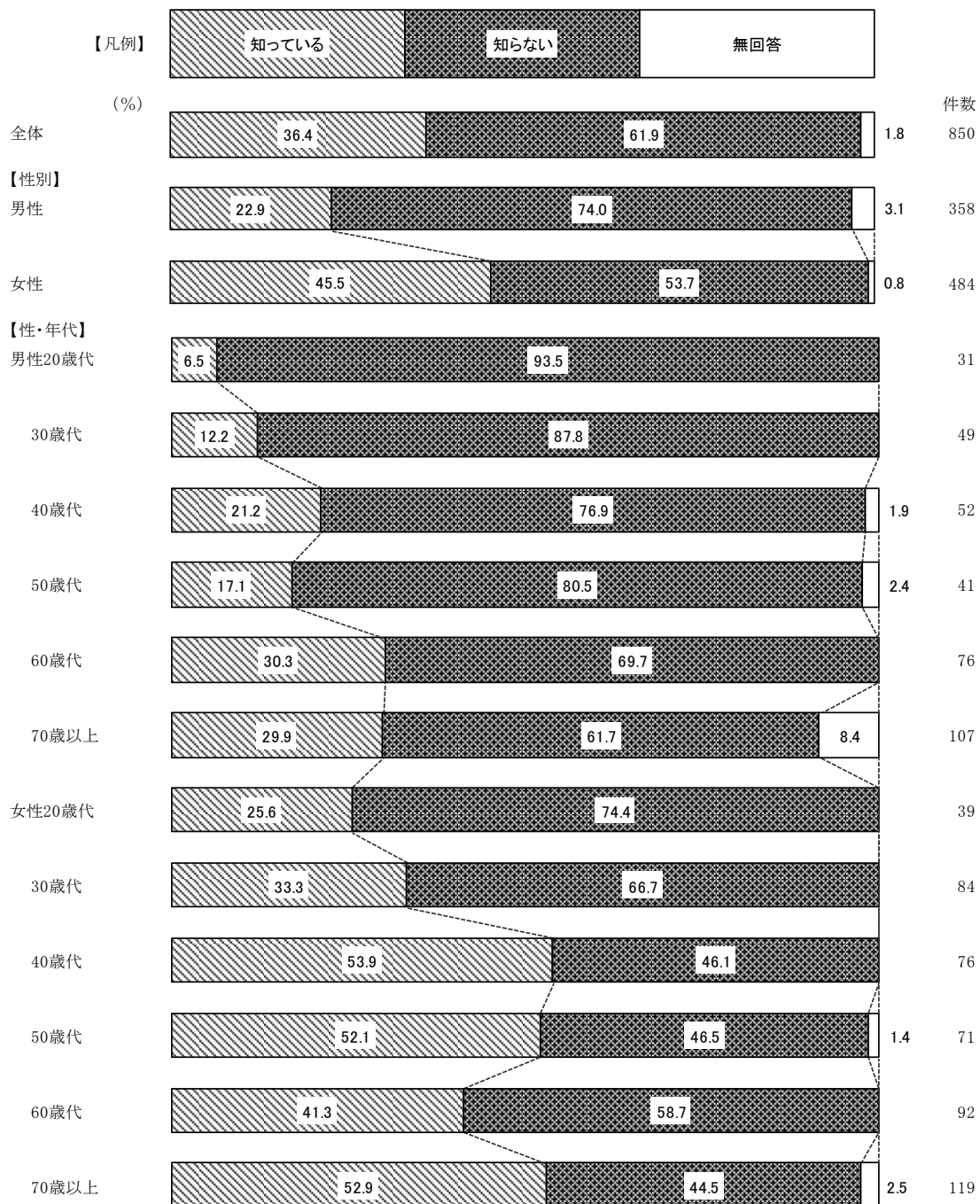
- 前回調査と比較すると、「趣味」が5.4ポイント増加している。

	件数(件)	趣味	家族とのつながり	子どもや孫の成長	友人・知人とのつながり	テレビ	仕事	スポーツ	文化・教養・学習活動	会、PTA、ボラ	地域活動(自治会、PTA、ボラ)	職場仲間とのつながり	その他	特にない	無回答
今回調査(H26)	850	35.2	34.7	32.1	30.5	19.3	13.6	11.2	5.2	4.9	4.8	5.4	5.9	9.5	
前回調査(H22)	862	29.8	39.2	35.5	33.3	21.1	16.4	12.2	7.2	4.9	3.7	4.3	7.9	1.4	

5-12 市が行う心の健康相談窓口の認知度

問43 市が行う心の健康相談窓口があることを知っていますか。（1つだけ）

- 心の健康相談窓口の認知度は、「知っている」が36.4%、「知らない」が61.9%となっている。
- 性別で見ると、「知っている」は女性（45.5%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「知っている」は女性の40歳代（53.9%）、50歳代（52.1%）、70歳以上（52.9%）で高く、「知らない」は男性の20歳代（93.5%）、30歳代（87.8%）で高くなっている。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

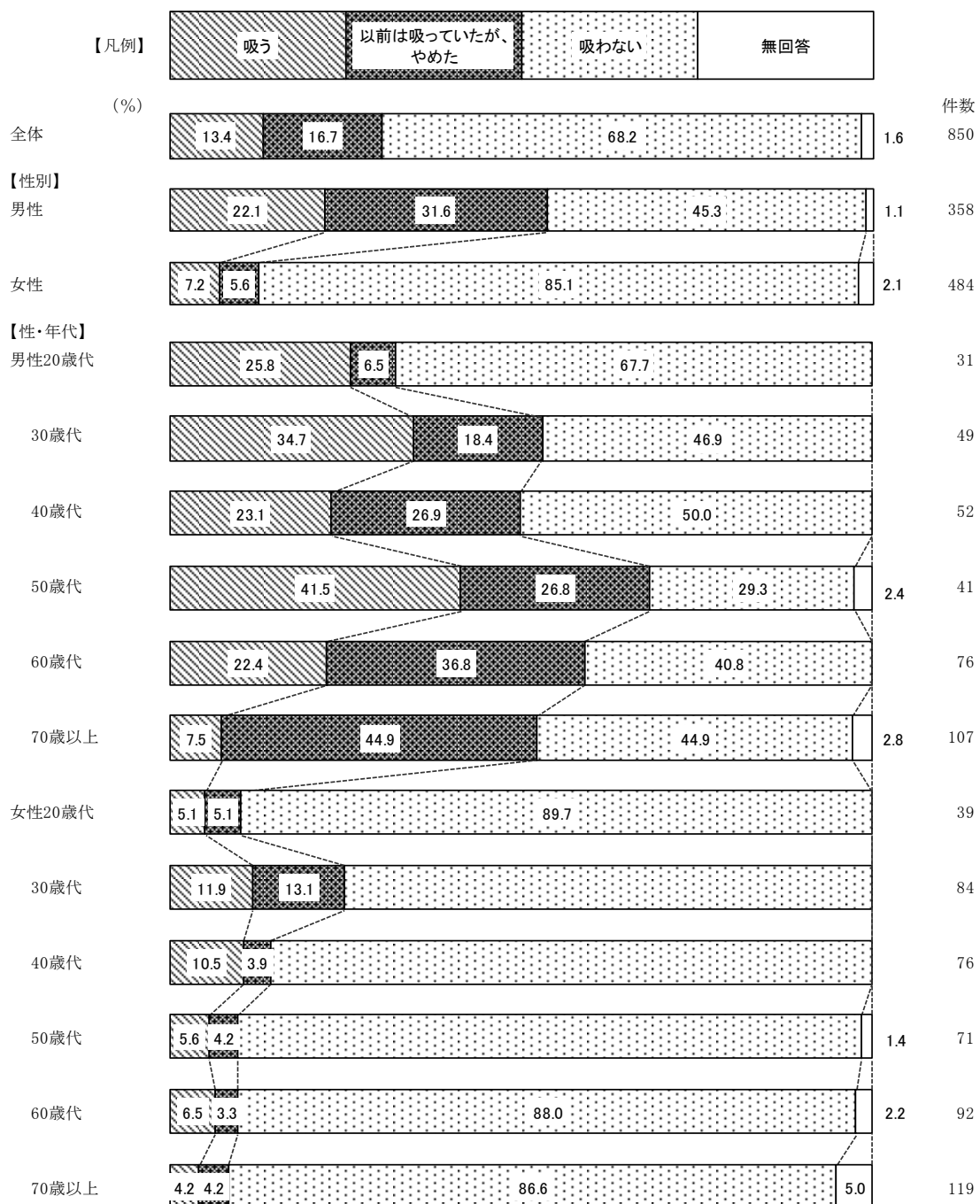
	(件数)	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	36.4	61.9	1.8
前回調査 (H22)	862	38.9	59.3	1.9

6 たばこについて

6-1 喫煙状況

問44 たばこを吸いますか。(1つだけ)

- 喫煙状況は、「吸う」が13.4%、「以前は吸っていたが、やめた」が16.7%で、喫煙経験者は30.1%となっている。また、「吸わない」は68.2%となっている。
- 性別で見ると、喫煙率（「吸う」）は男性が22.1%、女性が7.2%となっている。
- 性・年齢別で見ると、喫煙率は、男性は30歳代（34.7%）、50歳代（41.5%）が高く、女性は30歳代（11.9%）が高くなっている。「以前は吸っていたが、やめた」は男性の60歳代（36.8%）、70歳以上（44.9%）で高くなっている。

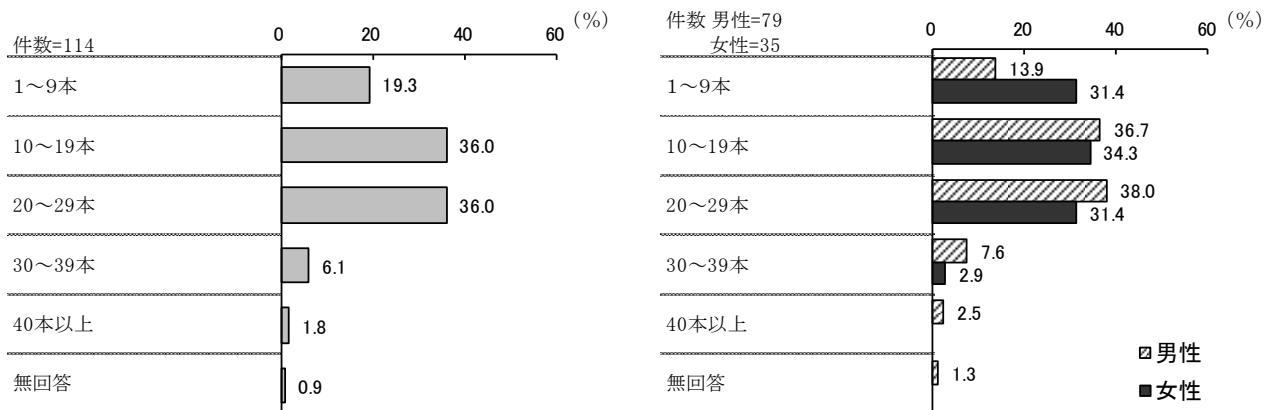


- 前回調査と比較すると、喫煙率は5.4ポイント減少している。また、愛知県の調査と比較すると、喫煙率は、清須市が13.4%、愛知県が17.0%で、清須市の割合が低くなっている。

(%)	件数(件)	吸う	いた以前は吸って	吸わない	無回答
今回調査 (H26)	850	13.4	16.7	68.2	1.6
前回調査 (H22)	862	18.8	15.3	65.2	0.7
愛知県 (H24)	1,884	17.0	18.3	63.4	1.4

【1日平均喫煙本数（問44で「吸う」と回答した方）】

- 現在たばこを吸っている人の1日の平均喫煙本数は、「10～19本」「20～29本」がそれぞれ36.0%となっている。また、平均喫煙本数は15.2本であり、愛知県（17.2本）より2本少なくなっている。
- 性別で見ると、男性は「20～29本」（38.0%）が最も高く、女性は「10～19本」（34.3%）が最も高くなっている。

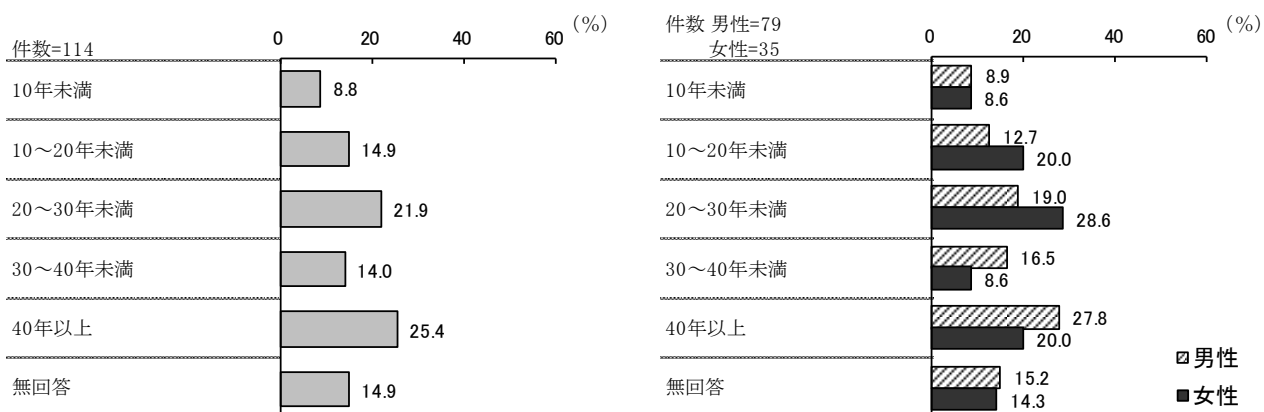


- 前回調査と比較すると、平均喫煙本数は2.3本減少している。また、愛知県の調査と比較すると、平均喫煙本数は、清須市が15.2本、愛知県が17.2本で、清須市の方が2本少なくなっている。

	件数(件)	平均(本)	件数(件)	1～9本	10～19本	20～29本	30～39本	40本以上	無回答
今回調査 (H26)	113	15.2	114	19.3	36.0	36.0	6.1	1.8	0.9
前回調査 (H22)	160	17.5	162	8.6	40.1	37.7	6.8	5.6	1.2
愛知県 (H24)	320	17.2	320	10.6	37.5	39.7	7.5	3.8	0.9

【喫煙年数（問 44 で「吸う」と回答した方）】

- 現在たばこを吸っている人の喫煙年数は、「40年以上」が25.4%で最も高く、ついで、「20～30年未満」が21.9%となっている。
- 性別で見ると、男性は「40年以上」（27.8%）が最も高く、女性は「20～30年未満」（28.6%）が最も高くなっている。

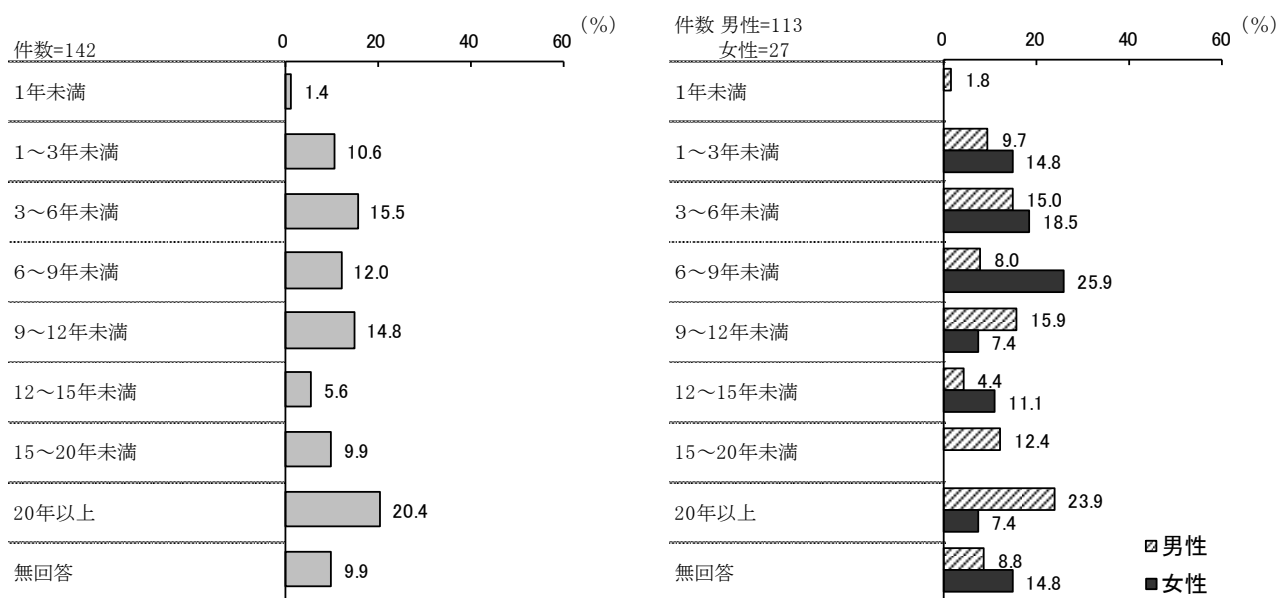


- 愛知県の調査と比較すると、喫煙年数は、清須市が28.6年、愛知県が29.0年となっている。

	件数 (件)	平均 (年)
今回調査 (H26)	97	28.6
愛知県 (H24)	320	29.0

【たばこをやめてから現在までの禁煙期間（問 44 で「以前は吸っていたが、やめた」と回答した方）】

- 以前たばこを吸っていた人がたばこをやめてから現在までの禁煙期間は、「20年以上」が20.4%で最も高く、次いで「3～6年未満」が15.5%、「9～12年未満」が14.8%となっている。
- 性別で見ると、男性は「20年以上」（23.9%）が最も高く、女性は「6～9年未満」（25.9%）が最も高くなっている。



- 愛知県の調査と比較すると、たばこをやめてから現在までの禁煙期間は、清須市が12.3年、愛知県が13.6年で、清須市の方が1.3年短くなっている。

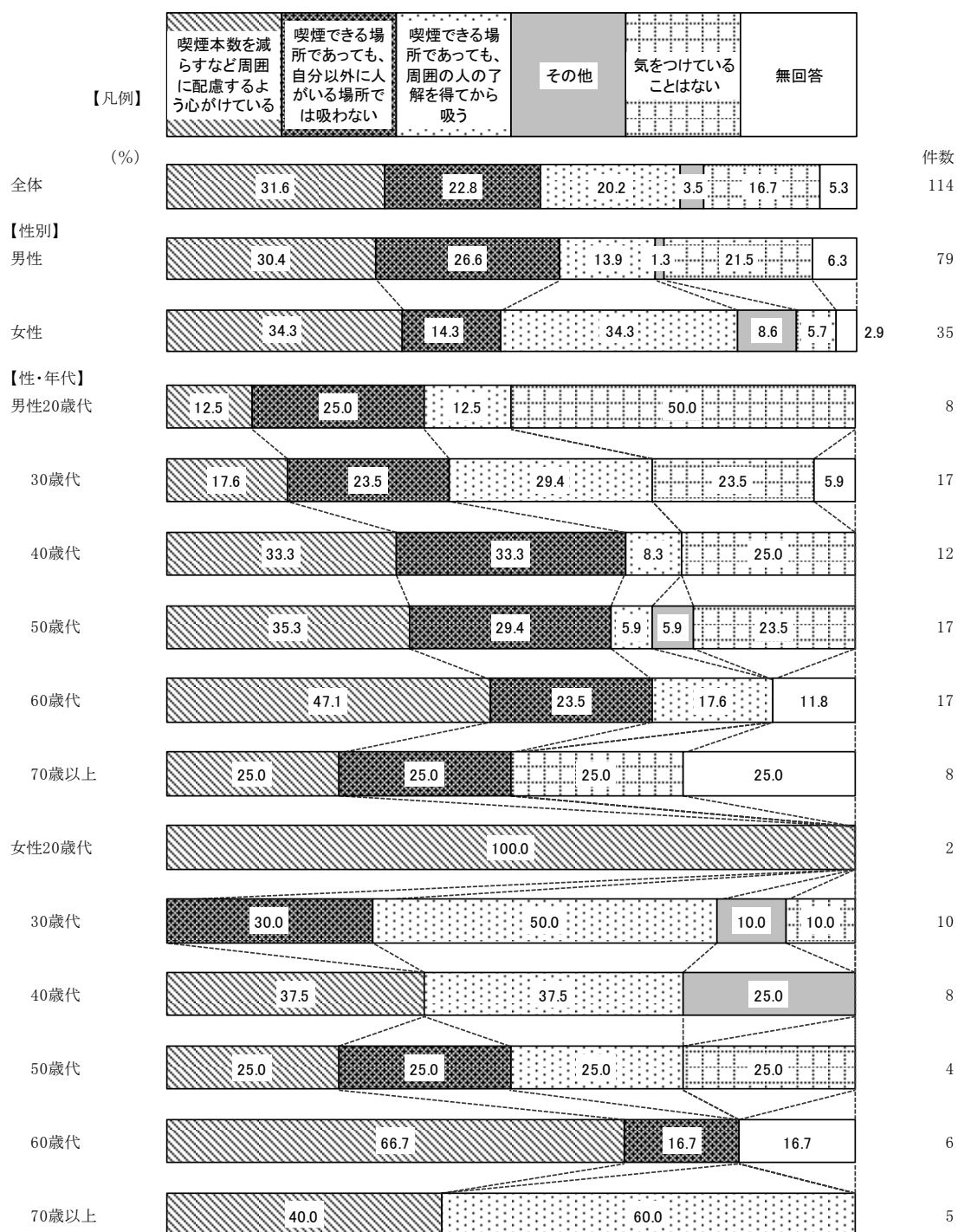
	件数 (件)	平均 (年)
今回調査 (H26)	128	12.3
愛知県 (H24)	344	13.6

6-2 受動喫煙への配慮

【問44で「吸う」と回答した方】

問44-1 他人がいる場所でたばこを吸う時に、周囲の迷惑にならないよう気をつけていることはありますか。（1つだけ）

- 受動喫煙への配慮は、「喫煙本数を減らすなど周囲に配慮するよう心がけている」が31.6%で最も高く、次いで「喫煙できる場所であっても、自分以外に人がいる場所では吸わない」が22.8%、「喫煙できる場所であっても、周囲の人の了解を得てから吸う」が20.2%となっている。一方、「気をつけていることはない」は16.7%みられる。
- 性別で見ると、「気をつけていることはない」は男性（21.5%）の割合が高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「喫煙できる場所であっても、自分以外に人がいる場所では吸わない」が9.2ポイント増加し、「喫煙できる場所であっても、周囲の人の了解を得てから吸う」が8.2ポイント減少している。

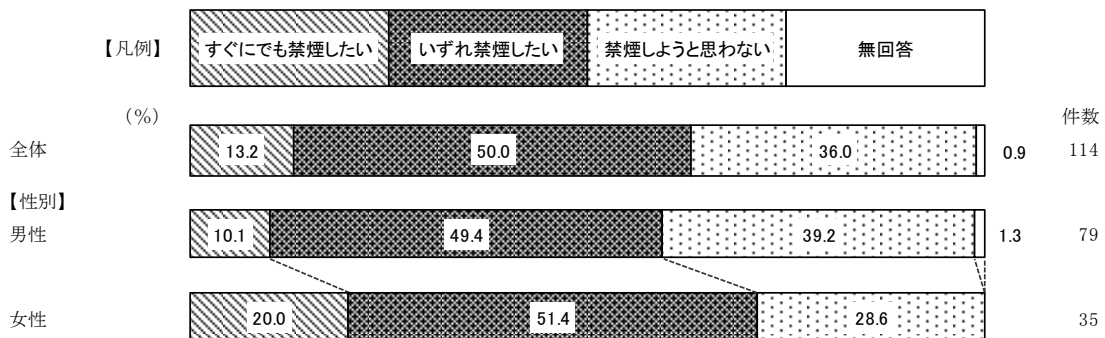
(%)	件数(件)	が周囲に配慮するようなど	喫煙本数を減らすなど	いる場所では吸わない	喫煙できる場所以外に人が	を、周囲の人の了解を得てから吸う	喫煙できる場所であつても、周囲の人の了解を得てから吸う	その他	ないをつけていることは	無回答
今回調査 (H26)	114	31.6	22.8	20.2	3.5	16.7	5.3			
前回調査 (H22)	162	34.6	13.6	28.4	4.3	18.5	0.6			

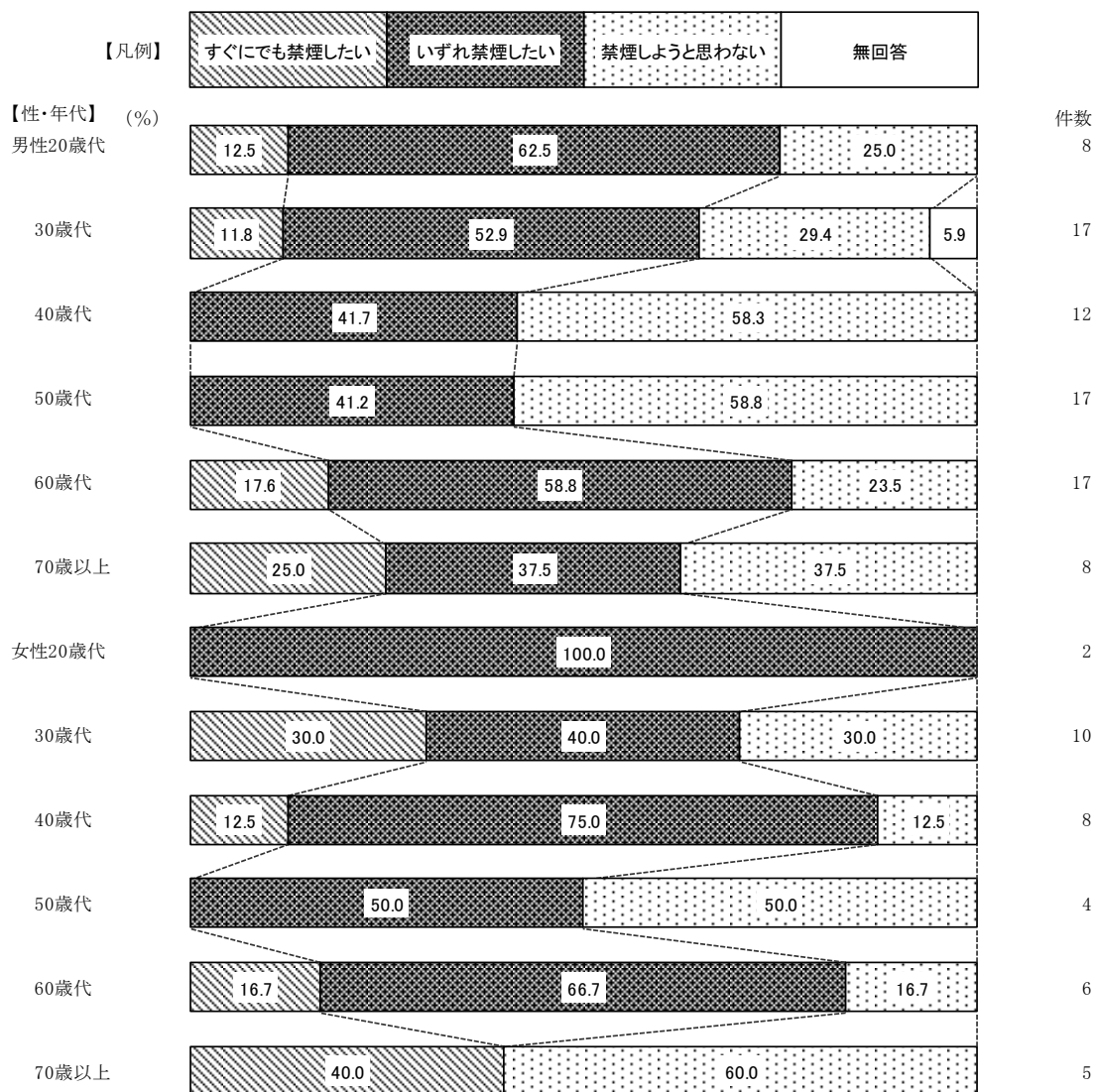
6-3 禁煙意向

【問44で「吸う」と回答した方】

問44-2 禁煙したいと思いますか。(1つだけ)

- 禁煙意向は、「すぐにでも禁煙したい」(13.2%)、「いずれ禁煙したい」(50.0%)を合わせた『禁煙意向がある人』は63.2%となっている。一方、「禁煙しようと思わない」は36.0%となっている。
- 性別で見ると、「すぐにでも禁煙したい」は女性(20.0%)の割合が高く、「禁煙しようと思わない」は男性(39.2%)の割合が高くなっている。





- 前回調査と比較すると、『禁煙意向がある人』は3.9ポイント増加している（前回59.3%→今回63.2%）。

(%)	件数 (件)	煙す ぐ し ぐ た に い で も 禁	た い ず れ 禁 煙 し	思 わ な い よ う と	無 回 答
今回調査 (H26)	114	13.2	50.0	36.0	0.9
前回調査 (H22)	162	10.5	48.8	38.9	1.9

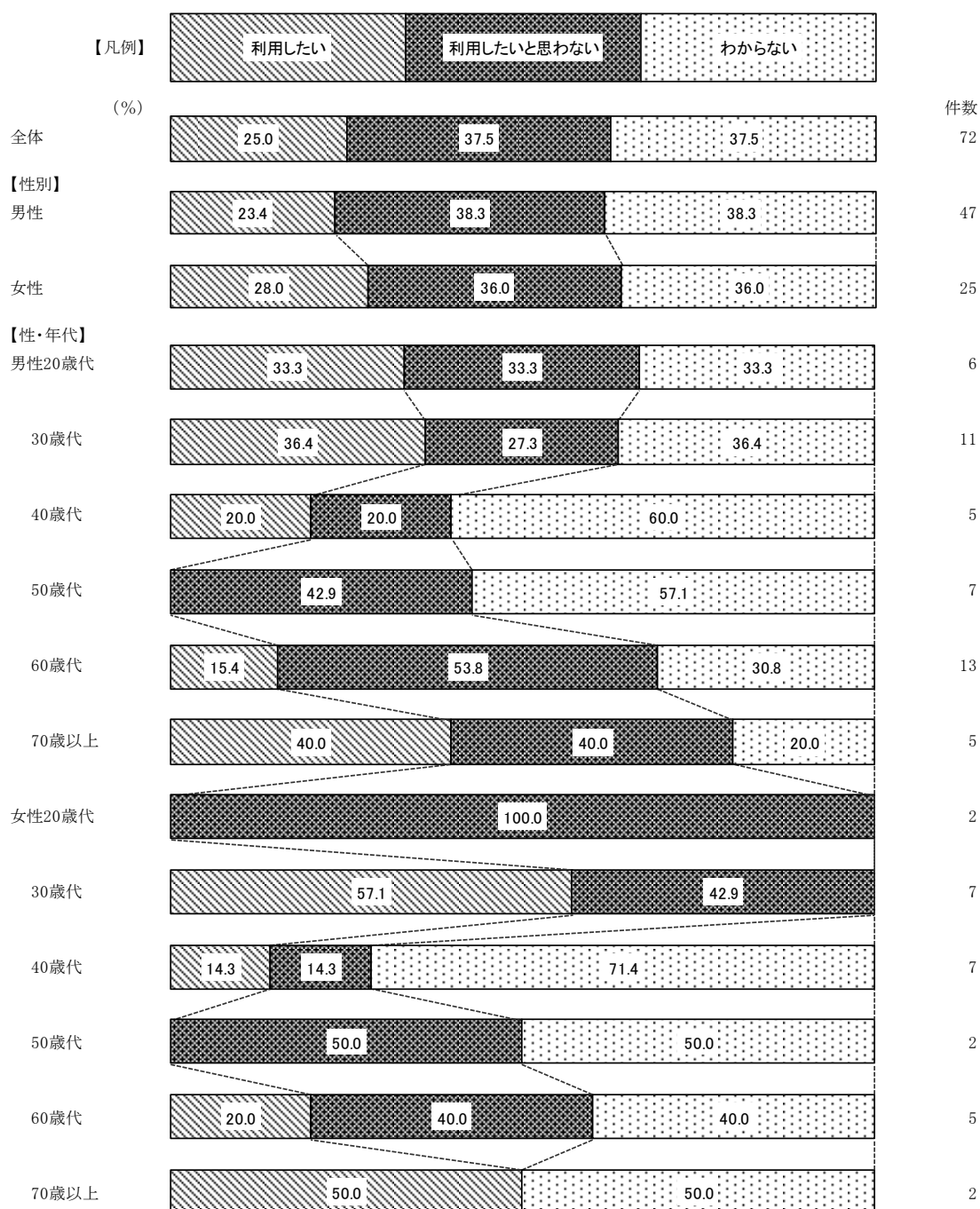
※前回調査の選択肢は、「すぐにでも禁煙したいと考えている」「禁煙したい」「禁煙しようと思わない」。

6-4 保険適用である禁煙外来の利用意向

【問44-2で「すぐにでも禁煙したい」「いずれ禁煙したい」と回答した方】

問44-3 保険適用である禁煙外来（医師の支援を受けながら禁煙をめざすもの）を利用したいと
 思いますか。（1つだけ）

- 保険適用である禁煙外来の利用意向は、「利用したい」人は25.0%であり、喫煙者の4人に1人の割合となっている。また、「利用したいと思わない」「わからない」は、それぞれ37.5%となっている。
- 性別で見ると、「利用したい」は女性（28.0%）の割合が高くなっている。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(%)	件数 (件)	利用 したい	思 用 わ ない たい と	わ か ら ない	無 回 答
今回調査 (H26)	72	25.0	37.5	37.5	-
前回調査 (H22)	162	23.5	35.8	38.3	2.5

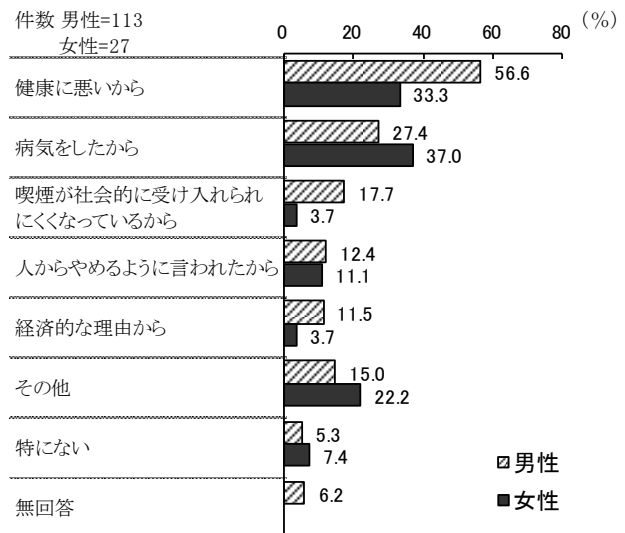
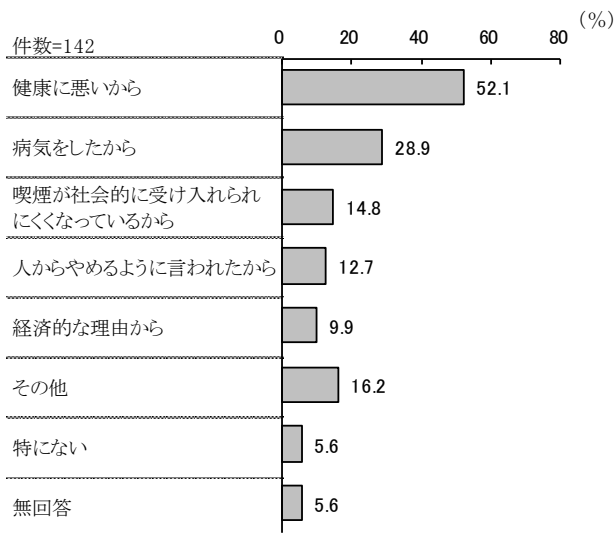
※前回調査は喫煙者全体を件数（基数）、今回調査は喫煙者のうち禁煙意向のある人を件数（基数）としている。

6-5 禁煙をした動機

【問44で「以前は吸っていたが、やめた」と回答した方】

問44-4 禁煙をした動機は何ですか。（いくつでも）

- 禁煙をした動機は、「健康に悪いから」が52.1%で最も高く、次いで、「病気をしたから」が28.9%となっている。
- 性別で見ると、「健康に悪いから」は男性（56.6%）の割合が高くなっている。



	件 数 (件)	健康 に 悪 い か ら	病 気 を し た か ら	喫 煙 が 社 会 的 に 受 け い ら れ な く な っ て い る か ら	人 か ら や め る よ う に 言 わ れ た か ら	経 済 的 な 理 由 か ら	そ の 他	特 に な い	無 回 答
(%)									
全 体	142	52.1	28.9	14.8	12.7	9.9	16.2	5.6	5.6
男性20歳代	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-
30歳代	9	44.4	-	22.2	11.1	44.4	33.3	11.1	-
40歳代	14	57.1	-	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	7.1
50歳代	11	54.5	27.3	18.2	-	18.2	-	9.1	-
60歳代	28	60.7	50.0	7.1	10.7	7.1	14.3	7.1	3.6
70歳以上	48	58.3	29.2	20.8	14.6	2.1	14.6	2.1	8.3
女性20歳代	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-
30歳代	11	18.2	36.4	9.1	9.1	-	45.5	-	-
40歳代	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-
50歳代	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-
60歳代	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-	-
70歳以上	5	40.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-

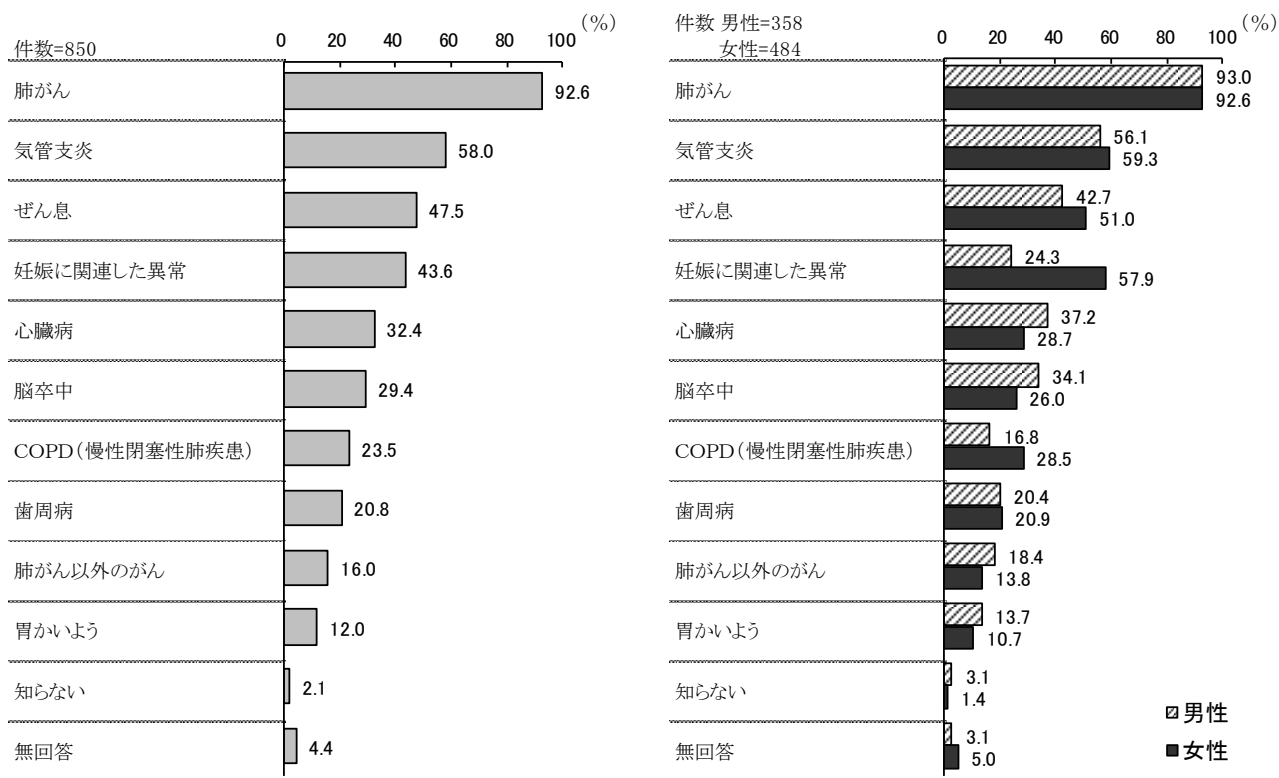
- 前回調査と比較すると、「健康に悪いから」が5.5ポイント減少している。

	件 数 (件)	健康 に 悪 い か ら	病 気 を し た か ら	喫 煙 が 社 会 的 に 受 け い ら れ な く な っ て い る か ら	人 か ら や め る よ う に 言 わ れ た か ら	経 済 的 な 理 由 か ら	そ の 他	特 に な い	無 回 答
(%)									
今回調査 (H26)	142	52.1	28.9	14.8	12.7	9.9	16.2	5.6	5.6
前回調査 (H22)	132	57.6	30.3	14.4	10.6	13.6	11.4	3.0	3.0

6-6 喫煙による健康への影響

問45 たばこが影響する病気として知っているのはどれですか。(いくつでも)

- 喫煙による健康への影響で知っているものは、「肺がん」が92.6%で最も高く、次いで「気管支炎」が58.0%、「ぜん息」が47.5%となっている。
- 「妊娠に関連した異常」は43.6%となっており、「肺がん」「気管支炎」と比較して低くなっている。
- 性・年齢別でみると、「肺がん」は男女ともに70歳以上の割合が低くなっている。また、「歯周病」は女性の70歳以上(8.4%)、「COPD」は男性の70歳以上(9.3%)の割合が低くなっている。



	件数(件)	肺がん	気管支炎	ぜん息	妊娠に関連した異常	心臓病	脳卒中	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	歯周病	肺がん以外のがん	胃かいよう	知らない	無回答
全体	850	92.6	58.0	47.5	43.6	32.4	29.4	23.5	20.8	16.0	12.0	2.1	4.4
男性20歳代	31	90.3	51.6	35.5	48.4	22.6	32.3	25.8	19.4	22.6	12.9	6.5	3.2
30歳代	49	95.9	42.9	36.7	34.7	24.5	38.8	16.3	26.5	22.4	10.2	2.0	2.0
40歳代	52	98.1	51.9	42.3	44.2	42.3	42.3	23.1	25.0	19.2	15.4	1.9	-
50歳代	41	97.6	51.2	41.5	24.4	39.0	36.6	12.2	29.3	17.1	14.6	-	2.4
60歳代	76	97.4	76.3	53.9	17.1	44.7	36.8	22.4	19.7	23.7	22.4	1.3	-
70歳以上	107	85.0	53.3	40.2	8.4	38.3	25.2	9.3	12.1	12.1	8.4	5.6	7.5
女性20歳代	39	100.0	59.0	59.0	76.9	41.0	33.3	17.9	30.8	15.4	12.8	-	-
30歳代	84	96.4	59.5	50.0	78.6	20.2	29.8	31.0	26.2	17.9	11.9	-	1.2
40歳代	76	94.7	55.3	50.0	68.4	30.3	38.2	38.2	22.4	19.7	9.2	3.9	-
50歳代	71	97.2	67.6	56.3	62.0	38.0	35.2	33.8	28.2	15.5	14.1	1.4	1.4
60歳代	92	95.7	64.1	63.0	55.4	31.5	19.6	29.3	21.7	15.2	12.0	-	3.3
70歳以上	119	81.5	52.9	37.8	30.3	22.7	13.4	20.2	8.4	5.0	7.6	2.5	15.1

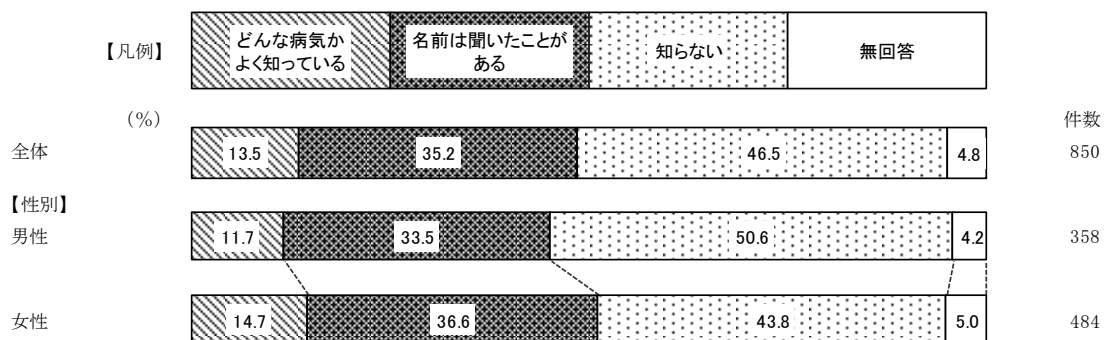
- 前回調査と比較すると、「気管支炎」が7.7ポイント増加し、「妊娠に関連した異常」が5.0ポイント減少している。

(%)	件数 (件)	肺がん	気管支炎	ぜん息	た妊娠に 異常に 関連し	心臓病	脳卒中	患性 閉塞性 肺疾 慢	COPD (慢性 閉塞性 肺疾 慢)	菌周病	が肺がん 以外の	胃かいよう	知らない	無回答
今回調査 (H26)	850	92.6	58.0	47.5	43.6	32.4	29.4	23.5	20.8	16.0	12.0	2.1	4.4	
前回調査 (H22)	862	94.2	50.3	43.6	48.6	35.0	34.0	21.8	20.1	13.9	1.0	3.8		

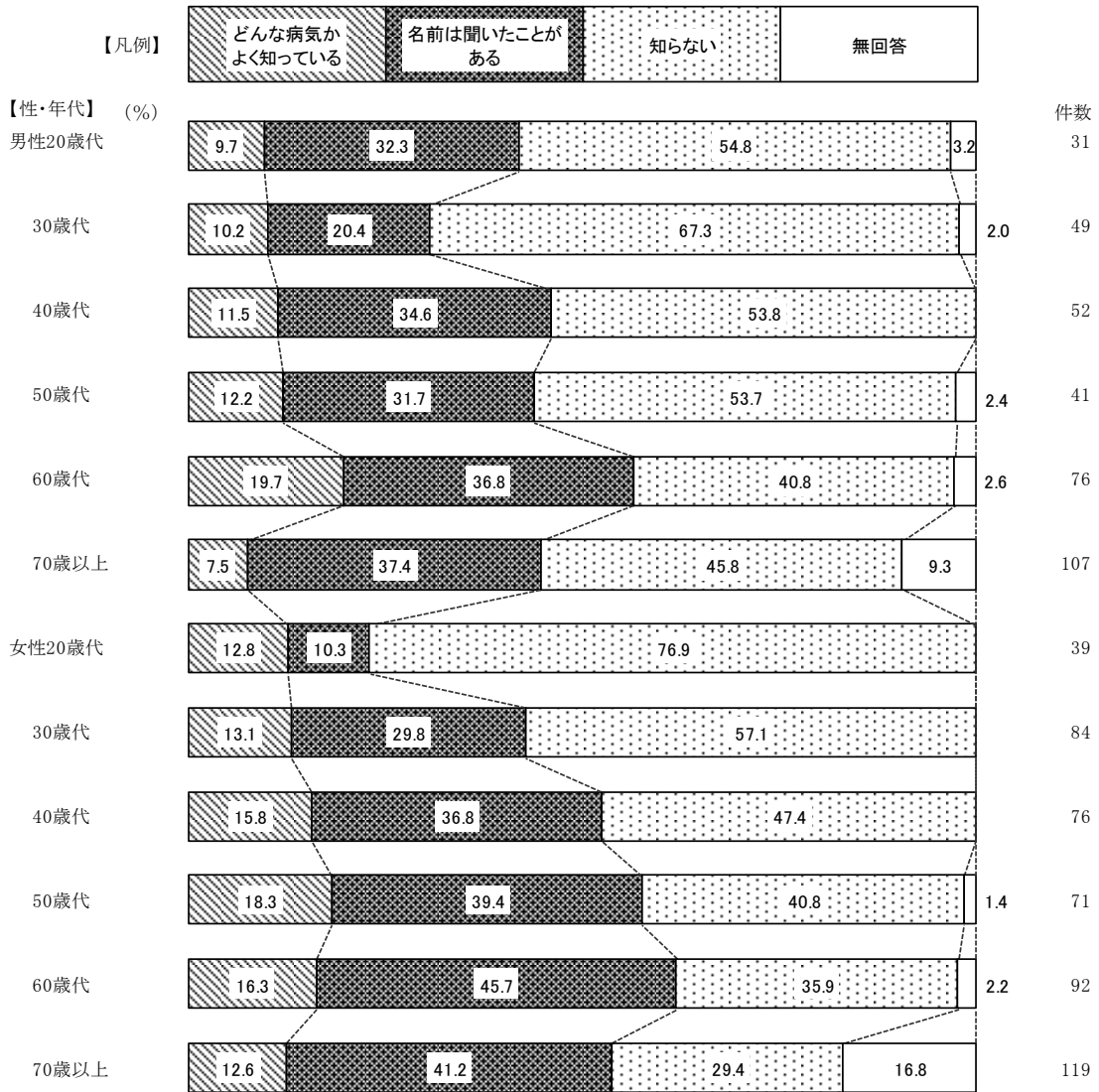
6-7 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

問46 COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、主に咳・痰・息切れなどの症状があり、ゆるやかに呼吸障害が進行する、かつて「肺気腫」「慢性気管支炎」と称された疾患です。この病気を知っていますか。
(1つだけ)

- COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度※は48.7%で、そのうち「どんな病気かよく知っている」は13.5%となっている。一方、「知らない」は46.5%となっている
- 性別で見ると、認知度は男性が45.2%、女性が51.3%で、女性の割合が高くなっている。
※「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」の計



- 性・年齢別でみると、認知度は女性の60歳代が62.0%で最も高くなっている。「知らない」は男性の30歳代（67.3%）、女性の20歳代（76.9%）で高くなっている。



- 愛知県の調査と比較すると、認知度は清須市が48.7%、愛知県が34.3%で、清須市の割合が高くなっている。

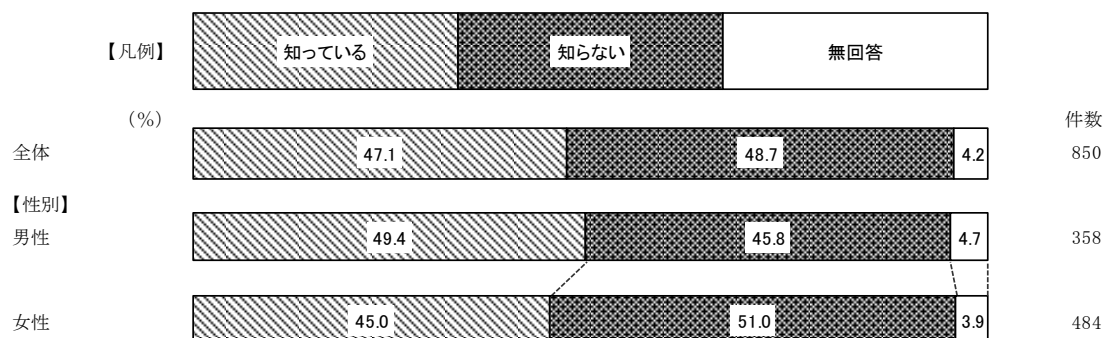
	件数 (件)	よく知らな病つて気いか	名前がはあ聞いた	知らない	無回答
(%)					
今回調査 (H26)	850	13.5	35.2	46.5	4.8
愛知県 (H24)	1,884	10.6	23.7	53.3	12.4

7 アルコールについて






7-1 節度ある適度な飲酒の認知度

問47 「節度ある適度な飲酒」として、1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g）とされていますが、このことを知っていますか。（1つだけ）

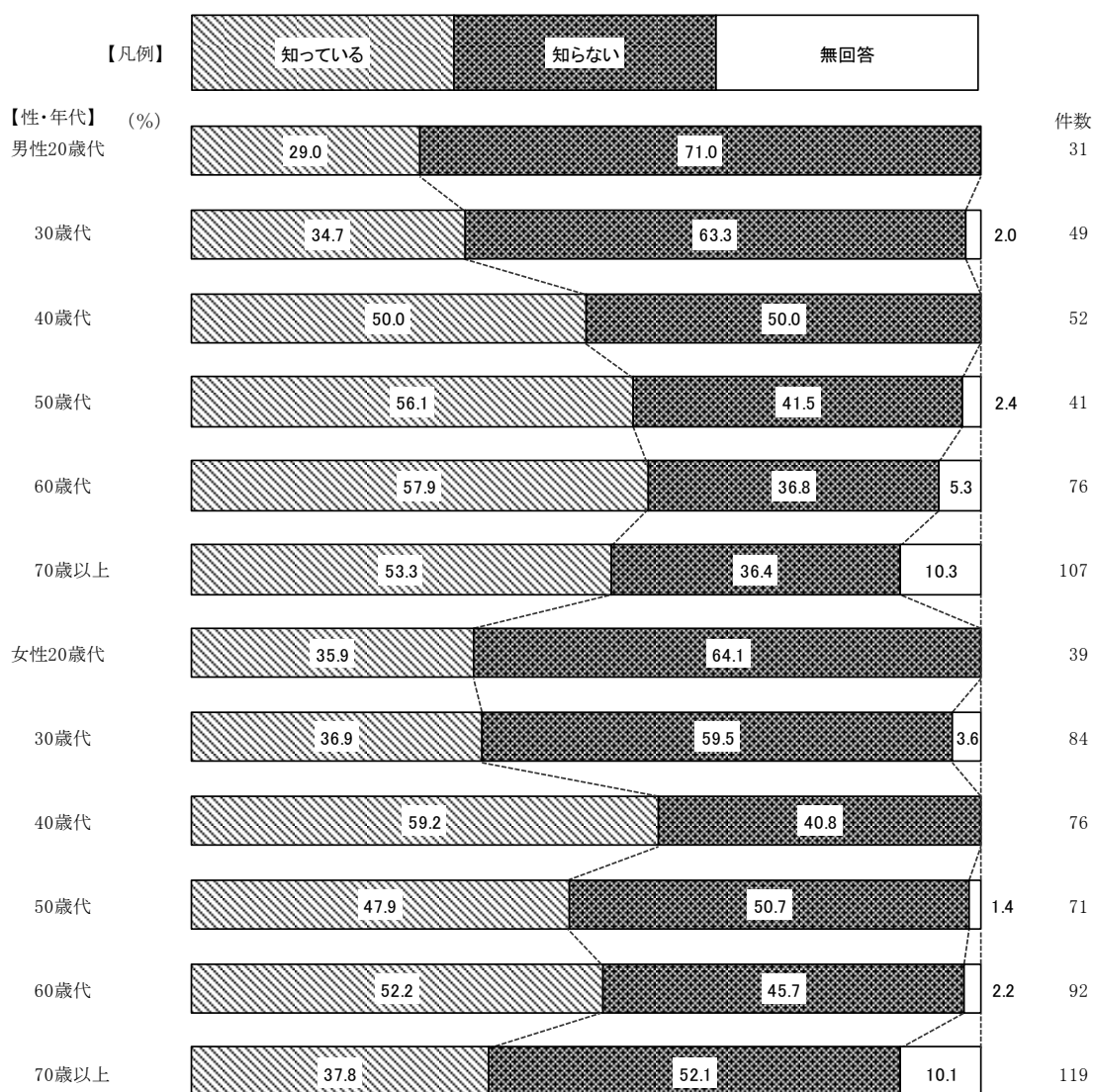
- 節度ある適度な飲酒の認知度は、「知っている」が47.1%、「知らない」が48.7%となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。



参考：節度ある適度な飲酒・・・1日平均純アルコールで約20gのお酒への換算の目安】

お酒の種類	ビール 	清酒 	ウィスキー・ブランデー 	焼酎（25度） 	ワイン 
量	中瓶1本（500ml）程度	1合 180ml	ダブル 60ml	0.5合 90ml	2杯 240ml

- 性・年齢別でみると、「知らない」は男性の20歳代（71.0%）、30歳代（63.3%）、女性の20歳代（64.1%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、認知度は8.9ポイント増加している。また、愛知県の調査と比較すると、認知度は清須市が47.1%、愛知県が54.6%で、清須市の割合が低くなっている。

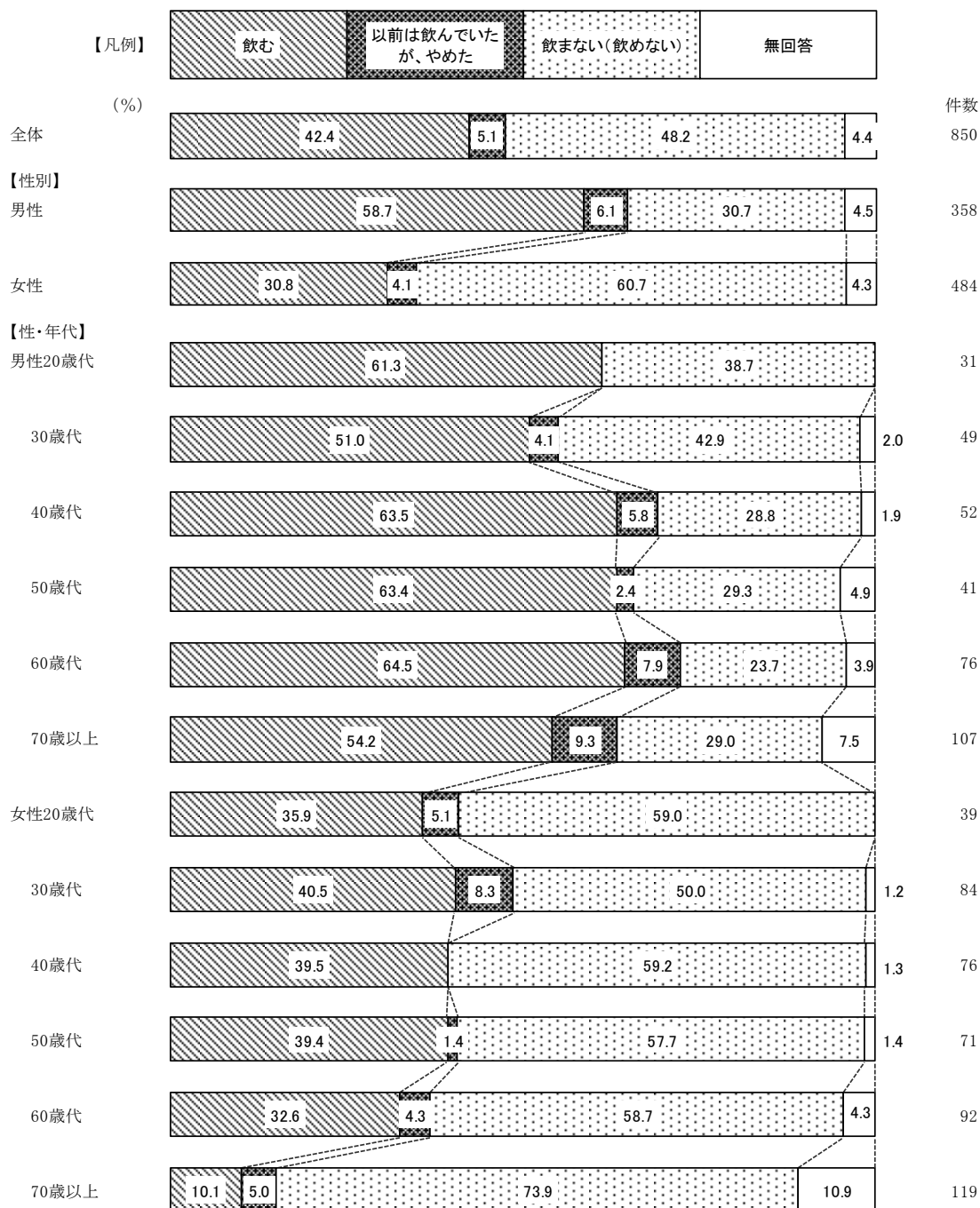
	件数(件)	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	47.1	48.7	4.2
前回調査 (H22)	862	38.2	56.3	5.6
愛知県 (H24)	892	54.6	44.1	1.3

※愛知県の調査は月1回以上の飲酒者を件数（基数）、市の調査は全体を件数としている。

7-2 飲酒状況

問48 お酒（ビール・日本酒・洋酒・焼酎・ワイン等）を飲みますか。（1つだけ）

- 飲酒状況は、「飲む」が42.4%、「以前は飲んでいましたが、やめた」が5.1%となっている。
- 性別で見ると、「飲む」は男性が58.7%、女性が30.8%となっている。
- 性・年齢別で見ると、「飲む」は男性の20歳代と40歳代から60歳代で6割以上となっている。「飲まない（飲めない）」は女性の70歳以上（73.9%）で高くなっている。



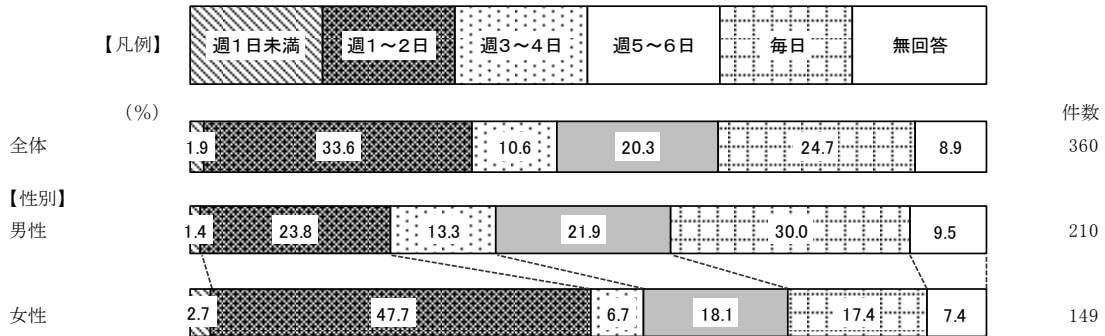
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、「飲む」は清須市が42.4%、愛知県が47.4%で、清須市の割合が低くなっている。

(%)	件数 (件)	飲む	たい以前が、飲やんめで	め飲まない(飲めない)	無回答
今回調査 (H26)	850	42.4	5.1	48.2	4.4
前回調査 (H22)	862	43.3	6.4	47.6	2.8
愛知県 (H24)	1,884	47.4	3.4	47.0	2.2

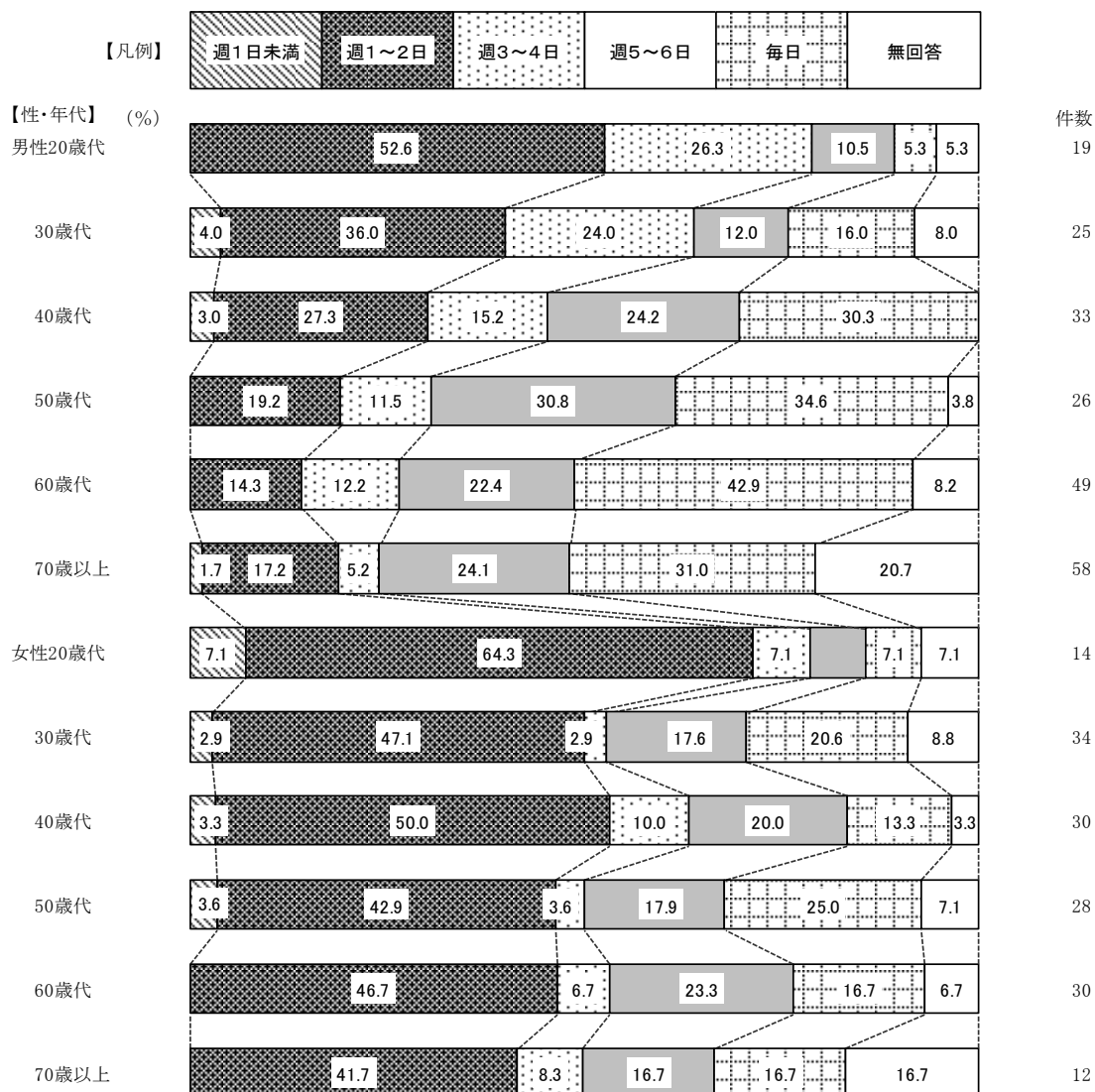
※愛知県調査：「飲む」は選択肢が「毎日」「週5～6回」「週3～4回」「週1～2回」「月1～2回」の計、「飲まない(飲めない)」は「ほとんど飲まない」「全く飲まない」の計

【飲酒頻度 (問 48 で「飲む」と回答した方)】

- 飲む人の飲酒頻度は「週1～2日」が33.6%で最も高く、次いで「毎日」が24.7%となっている。
- 性別で見ると、「週1～2日」は女性 (47.7%) の割合が高く、「毎日」は男性 (30.0%) で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「毎日」は男性の60歳代（42.9%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「毎日」が10.4ポイント減少している。

	(件数)	週1日未満	週1~2日	週3~4日	週5~6日	毎日	無回答
(%)							
今回調査 (H26)	360	1.9	33.6	10.6	20.3	24.7	8.9
前回調査 (H22)	373	1.9	29.8	13.9	15.5	35.1	3.8

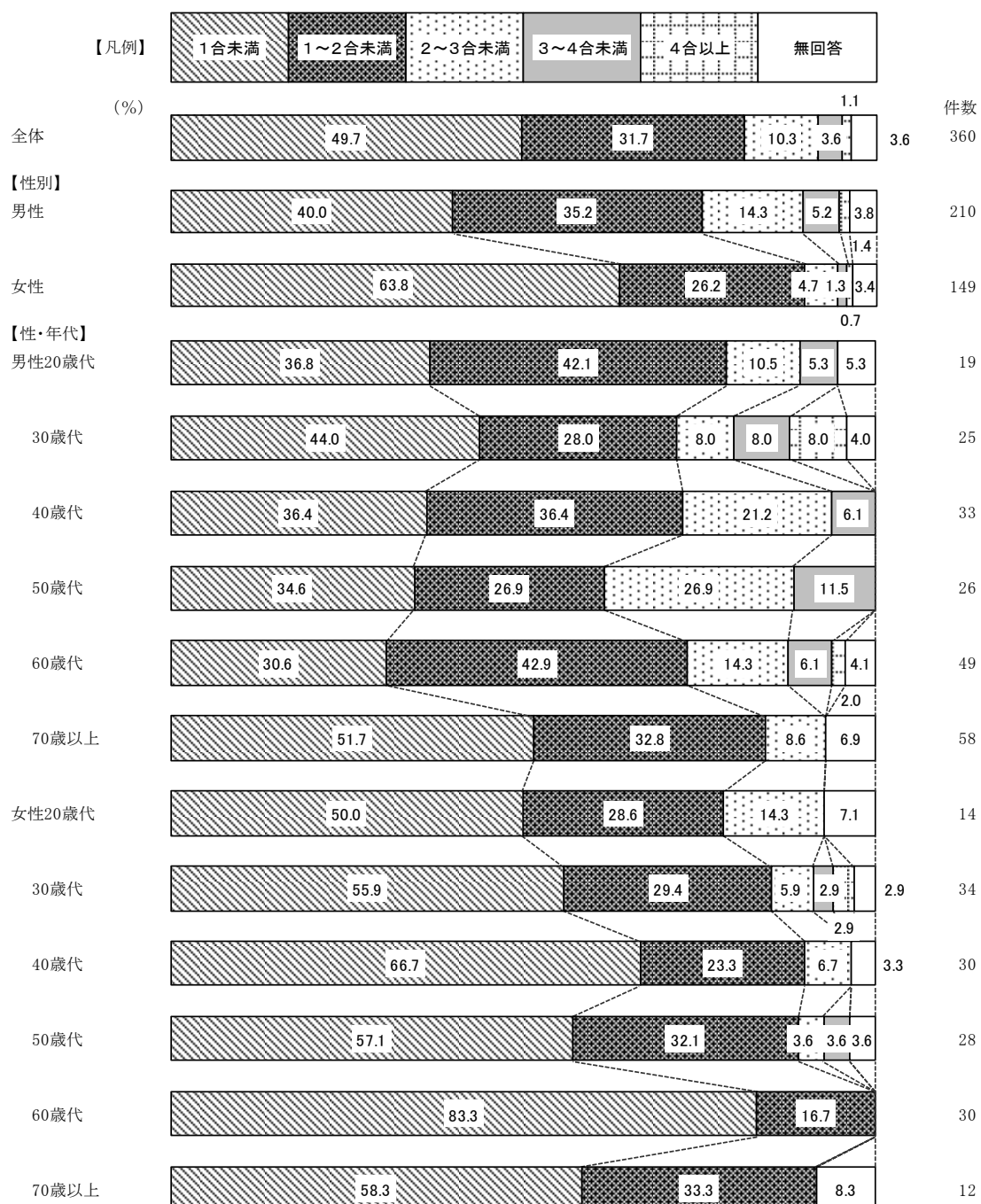
7-3 飲酒量/日

【問48で「飲む」と回答した方】

問48-1 1日に飲むお酒の量は平均してどのくらいですか。（1つだけ）

- 1日の飲酒量は、「1合未満」が49.7%で最も高く、次いで「1～2合未満」が31.7%となっている。
- 性別で見ると、『3合以上』は男性が6.6%、女性が2.0%となっている。また、男性は『2合以上』※が20.9%、女性は『1合以上』が32.9%となっている。
- 性・年齢別で見ると、『3合以上』は男性の30歳代（16.0%）で高くなっている。また、男性の『2合以上』は50歳代（38.4%）で高く、女性の『1合以上』は20歳代（42.9%）で高くなっている。

※男性は1日平均日本酒2合以上、女性は1合以上の飲酒量が、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」とされている（問49参照）。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、『3合以上』は清須市が4.7%、愛知県が10.9%で、清須市の割合が低くなっている。

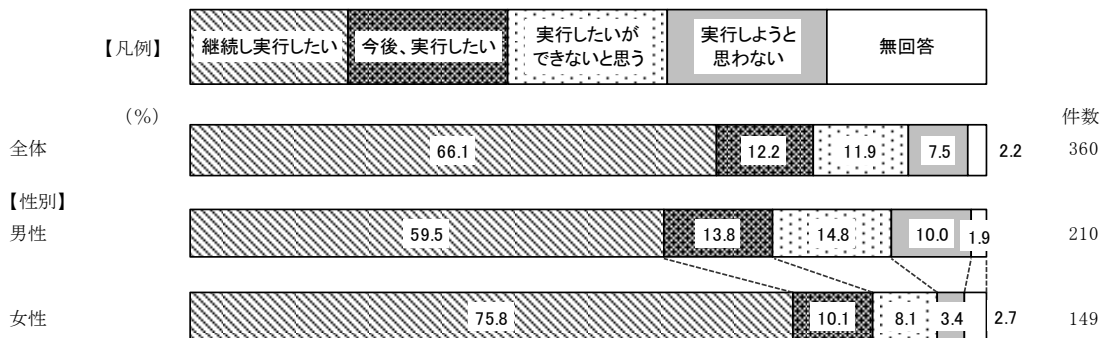
(%)	件数 (件)	1合未満	1〜2合未満	2〜3合未満	3〜4合未満	4合以上	無回答
今回調査 (H26)	360	49.7	31.7	10.3	3.6	1.1	3.6
前回調査 (H22)	373	49.6	28.2	15.8	4.8		1.6
愛知県 (H24)	892	42.3	30.8	15.1	6.6	4.3	0.9

7-4 節度ある適度な飲酒の実施意向

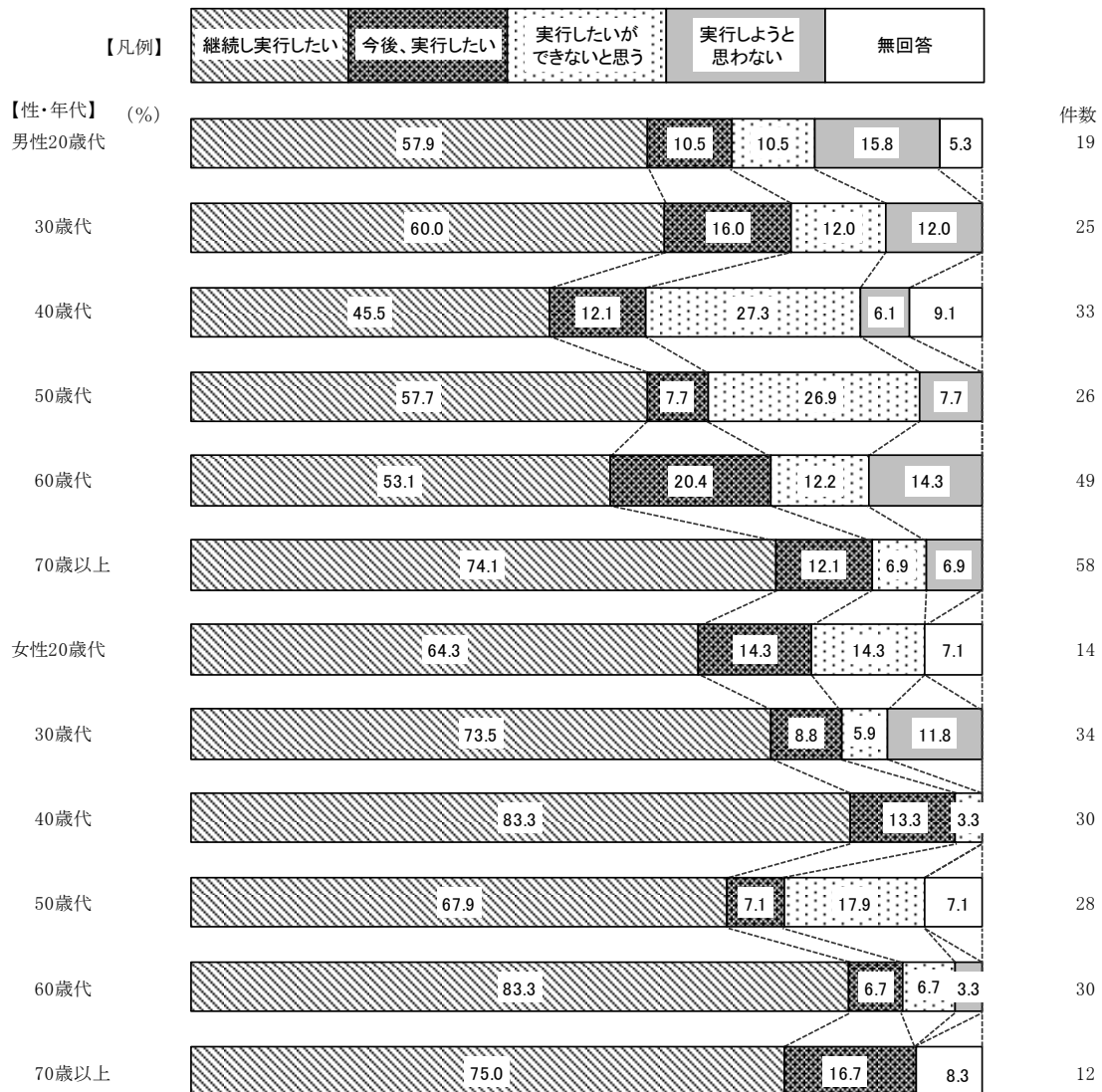
【問48で「飲む」と回答した方】

問48-2 「節度ある適度な飲酒」を実行したいとしますか。(1つだけ)

- 節度ある適度な飲酒の実施意向は、「継続し実行したい」が66.1%で最も高くなっている。これに「今後、実行したい」(12.2%)、「実行したいができないと思う」(11.9%)を合わせた『実施意向がある』人は90.2%となる。
- 性別で見ると、「継続し実行したい」は女性(75.8%)で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「今後、実行したい」は男性の60歳代（20.4%）で高く、「実行したいができないと思う」は男性の40歳代（27.3%）、50歳代（26.9%）で高くなっている。



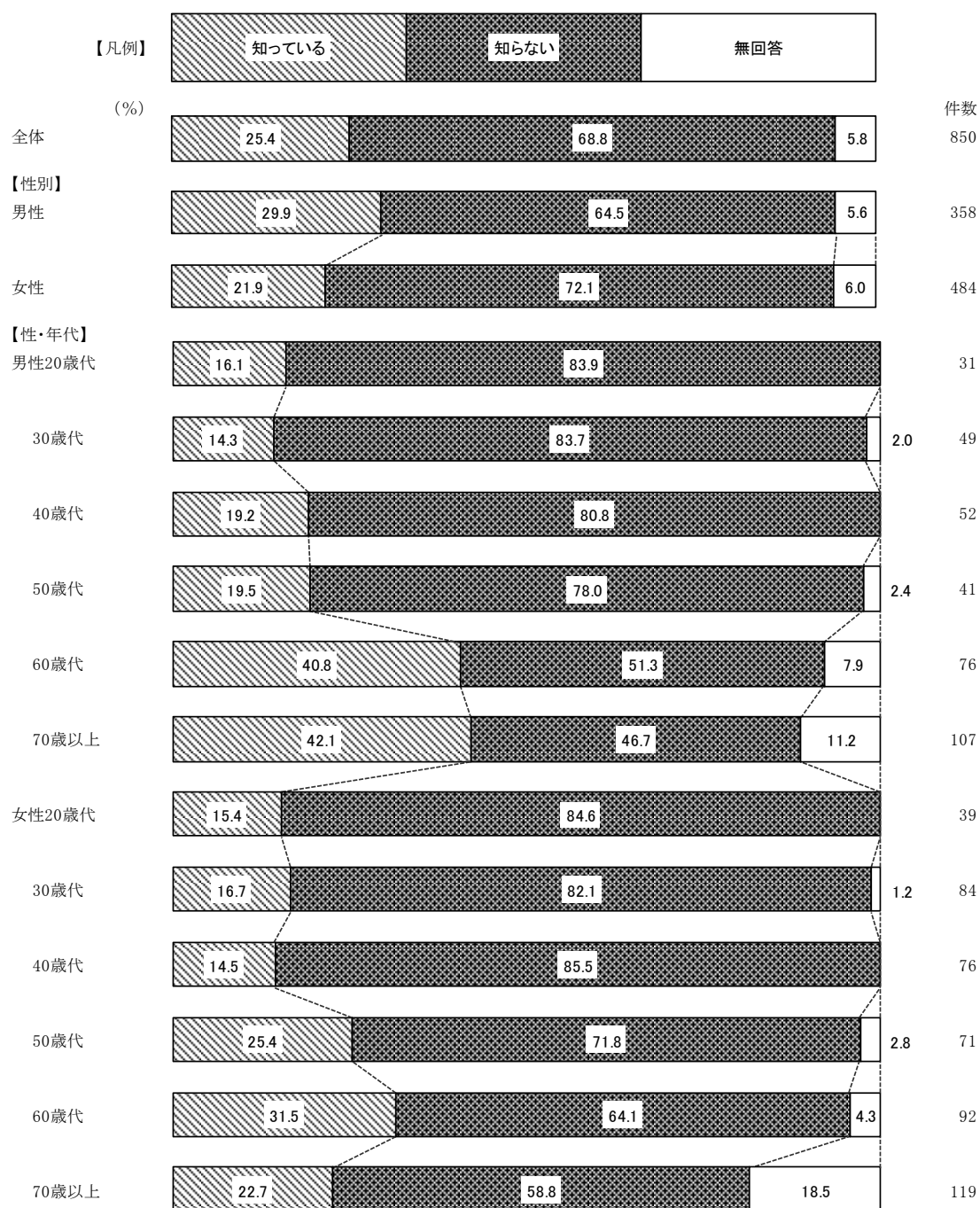
- 前回調査と比較すると、『実施意向がある』人は13.2ポイント増加している（前回77.0%→今回90.2%）。

(%)	件数 (件)	た継続し実行した	た今後、実行した	うで実行したいと思	思実行しようと思	無回答
今回調査 (H26)	360	66.1	12.2	11.9	7.5	2.2
前回調査 (H22)	373	60.9		16.1	19.6	3.5

7-5 生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度

問49 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」として、男性は1日平均日本酒2合以上（ビール中瓶2本）、女性は1合以上（ビール中瓶1本）とされていますが、このことを知っていますか。（1つだけ）

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度は、「知っている」が25.4%、「知らない」が68.8%となっている。
- 性別で見ると、「知っている」は男性（29.9%）で高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「知っている」は男性の60歳代（40.8%）、70歳以上（42.1%）で4割以上と高く、「知らない」は男女ともに20歳代～40歳代で8割以上と高くなっている。

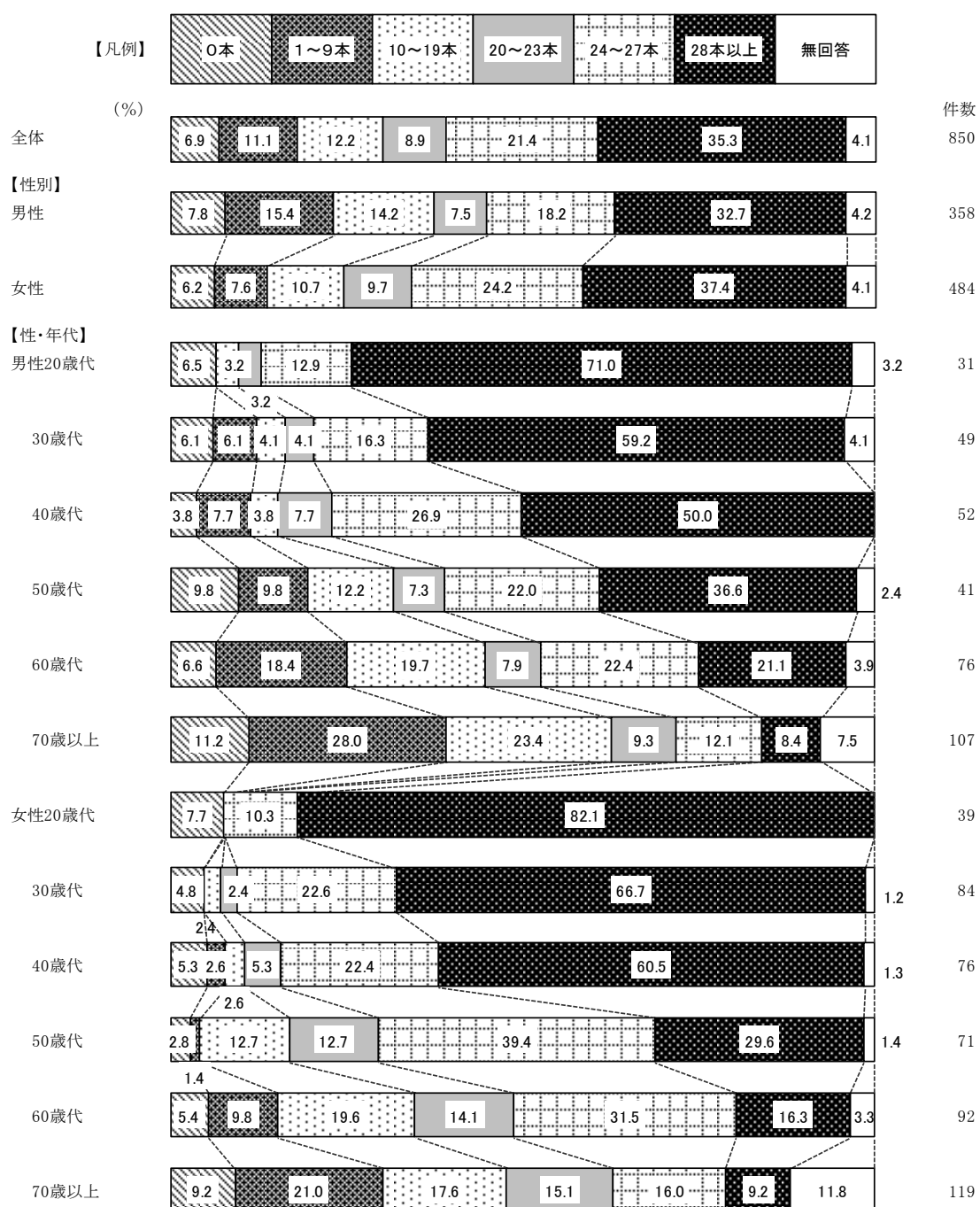


8 歯と口腔の健康について

8-1 歯の本数

問50 現在、自分の歯（入れ歯・インプラントの歯は含みません）は何本ありますか。（1つだけ）

- 歯の本数は、「28本以上」が35.3%で最も高く、次いで「24～27本」が21.4%となっている。また、「0本」は6.9%となっている。
- 性別で見ると、「24～27本」「28本以上」は女性の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「28本以上」は男女ともに年齢が高いほど割合が低くなり、男性の70歳以上では8.4%、女性の70歳以上では9.2%となっている。



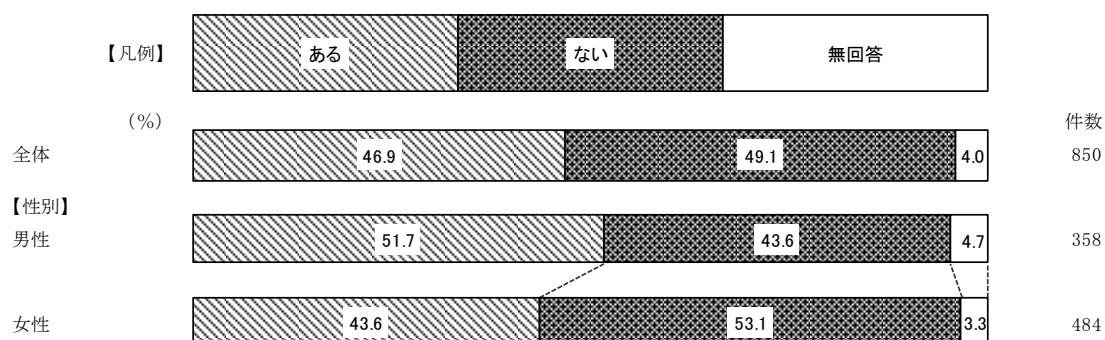
- 前回調査と比較すると、「20本以上」は8.5ポイント減少している（前回74.1%→今回65.6%）。また、愛知県の調査と比較すると、「20本以上」は清須市が65.6%、愛知県が74.8%で、清須市の割合が低くなっている。

(%)	件数 (件)	0本	1 5 9本	1 0 5 1 9本	2 0 5 2 3本	2 4 5 2 7本	2 8 本 以上	無 回 答
今回調査 (H26)	850	6.9	11.1	12.2	8.9	21.4	35.3	4.1
前回調査 (H22)	862	4.4	8.0	10.4	15.4	22.0	36.7	3.0
愛知県 (H24)	1,884	3.4	5.7	9.7	74.8			6.4

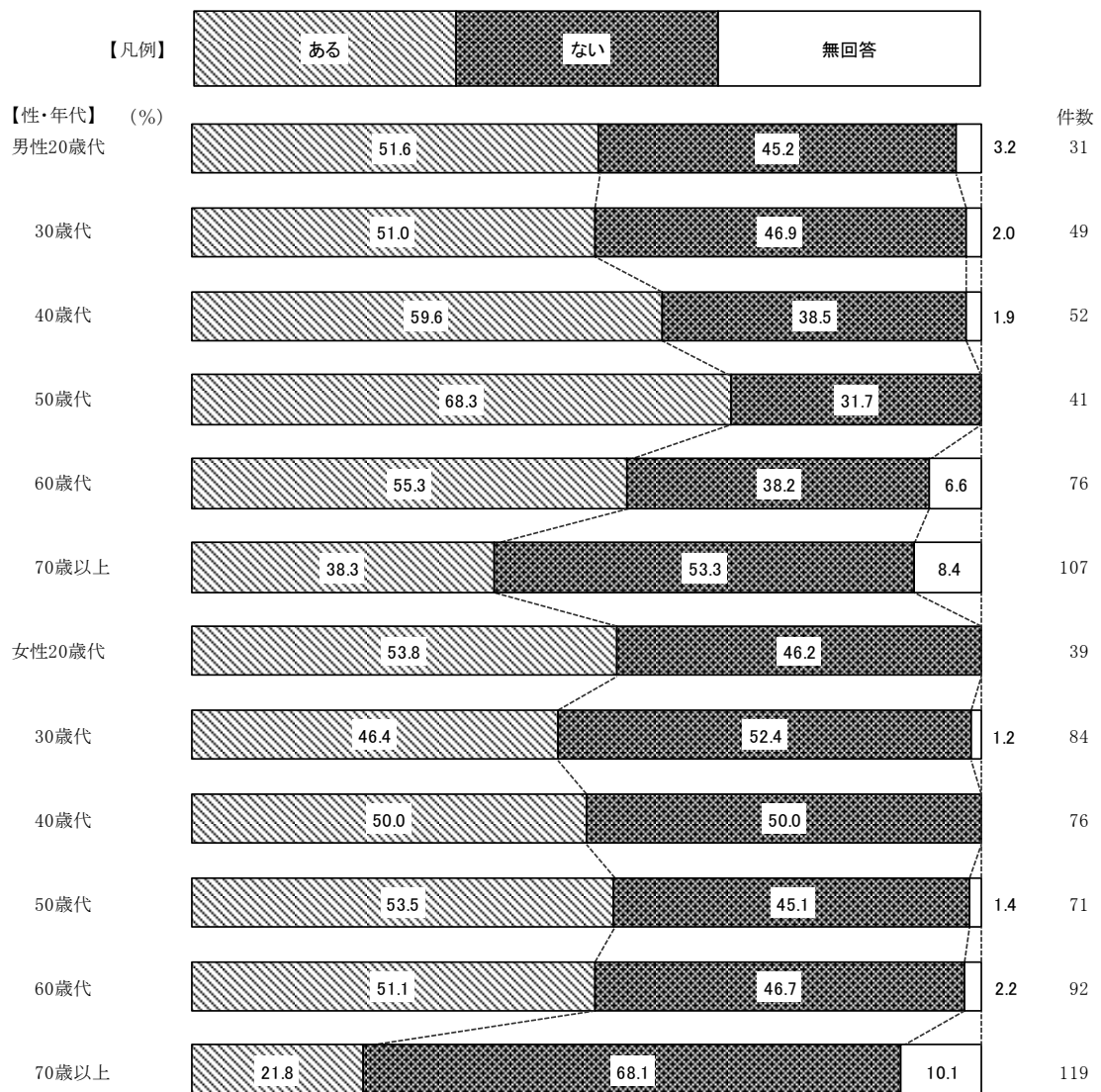
8-2 歯ぐきの異常の有無

問51 歯ぐきが腫れたり、歯みがき時に出血したりすることがありますか。（1つだけ）

- 歯ぐきの異常の有無は、「ある」が46.9%、「ない」が49.1%となっている。
- 性別で見ると、「ある」は男性（51.7%）で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「ある」は男性の40歳代（59.6%）、50歳代（68.3%）で高くなっている。



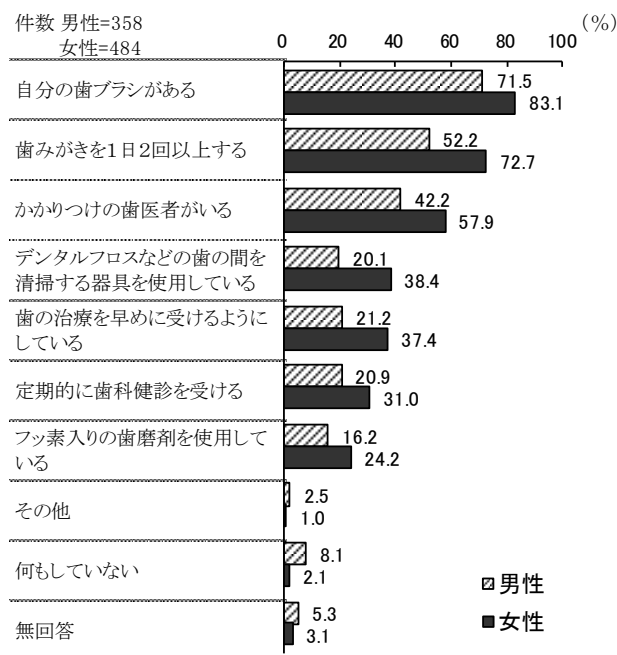
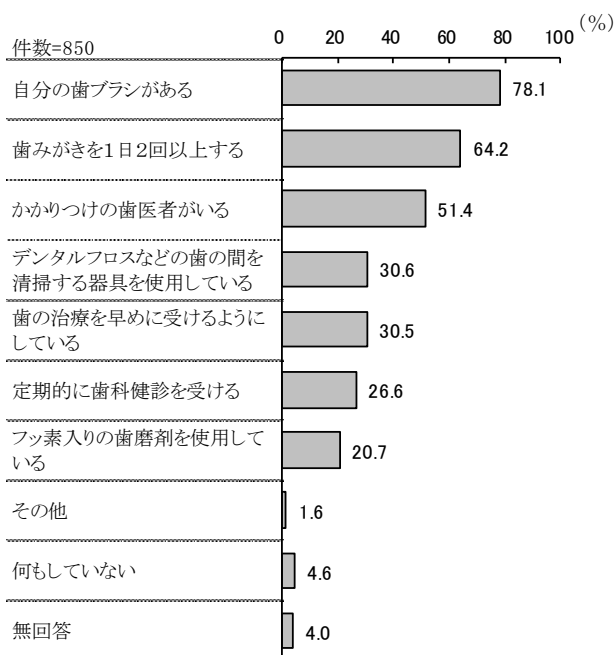
- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

	(件数)	ある	ない	無回答
(%)				
今回調査 (H26)	850	46.9	49.1	4.0
前回調査 (H22)	862	45.5	52.6	2.0

8-3 歯の健康管理

問52 歯の健康管理として、どのようなことをしていますか。(いくつでも)

- 歯の健康管理は、「自分の歯ブラシがある」が78.1%で最も高く、次いで「歯みがきを1日2回以上する」が64.2%、「かかりつけの歯医者がある」が51.4%となっている。
- 性別でみると、具体的な項目ではすべて女性の割合が高く、特に「歯みがきを1日2回以上する」は20ポイント以上の差がみられる。
- 性・年齢別でみると、「自分の歯ブラシがある」は女性の20歳代～40歳代で約9割と高く、「歯みがきを1日2回以上する」は女性の60歳代(82.6%)で8割以上と高くなっている。



	件数 (件)	自分の歯ブラシがある (%)	歯みがきを1日2回以上する (%)	かかりつけの歯医者がある (%)	デンタルフロスなどの歯の間を清掃する器具を使用している (%)	歯の治療を早めに受けるようにしている (%)	定期的に歯科健診を受ける (%)	フッ素入りの歯磨剤を使用している (%)	その他 (%)	何もしていない (%)	無回答 (%)
全体	850	78.1	64.2	51.4	30.6	30.5	26.6	20.7	1.6	4.6	4.0
男性20歳代	31	77.4	45.2	19.4	9.7	12.9	9.7	25.8	-	6.5	6.5
30歳代	49	79.6	59.2	32.7	16.3	24.5	22.4	24.5	2.0	4.1	2.0
40歳代	52	69.2	59.6	32.7	21.2	17.3	15.4	30.8	3.8	9.6	1.9
50歳代	41	65.9	51.2	29.3	19.5	17.1	17.1	17.1	-	14.6	-
60歳代	76	76.3	46.1	51.3	23.7	23.7	28.9	7.9	1.3	7.9	6.6
70歳以上	107	66.4	52.3	55.1	21.5	23.4	21.5	8.4	4.7	7.5	9.3
女性20歳代	39	89.7	64.1	35.9	17.9	33.3	17.9	28.2	-	-	2.6
30歳代	84	88.1	72.6	52.4	42.9	34.5	39.3	35.7	1.2	1.2	1.2
40歳代	76	90.8	77.6	56.6	52.6	31.6	28.9	36.8	-	1.3	1.3
50歳代	71	83.1	76.1	66.2	43.7	43.7	39.4	22.5	-	1.4	1.4
60歳代	92	84.8	82.6	60.9	42.4	37.0	28.3	19.6	1.1	2.2	2.2
70歳以上	119	71.4	63.0	63.0	27.7	41.2	28.6	11.8	2.5	4.2	6.7

- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、いずれの項目についても清須市の割合が低くなっている。

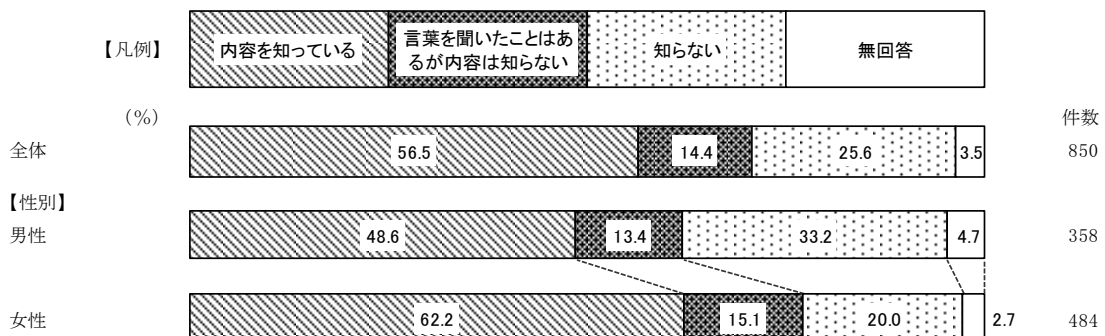
(%)	件数(件)	自分の歯ブラシがある	歯みがきを1日2回以上	かかりつけの歯医者がある	デンタルフロス、歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用している	歯の治療を早めに行っている	定期的に歯科健診を受ける	フッ素入りの歯磨剤を使用している	その他	何もしていない	無回答
今回調査 (H26)	850	78.1	64.2	51.4	30.6	30.5	26.6	20.7	1.6	4.6	4.0
前回調査 (H22)	862	79.4	63.0	46.8	26.0	27.0	23.4	17.4	1.4	3.4	2.7
愛知県 (H24)	1,884	95.3	68.7	73.7	41.1	60.4	43.1				

※愛知県の調査は、各項目に対する選択肢「はい」「いいえ」のうち、「はい」の回答率

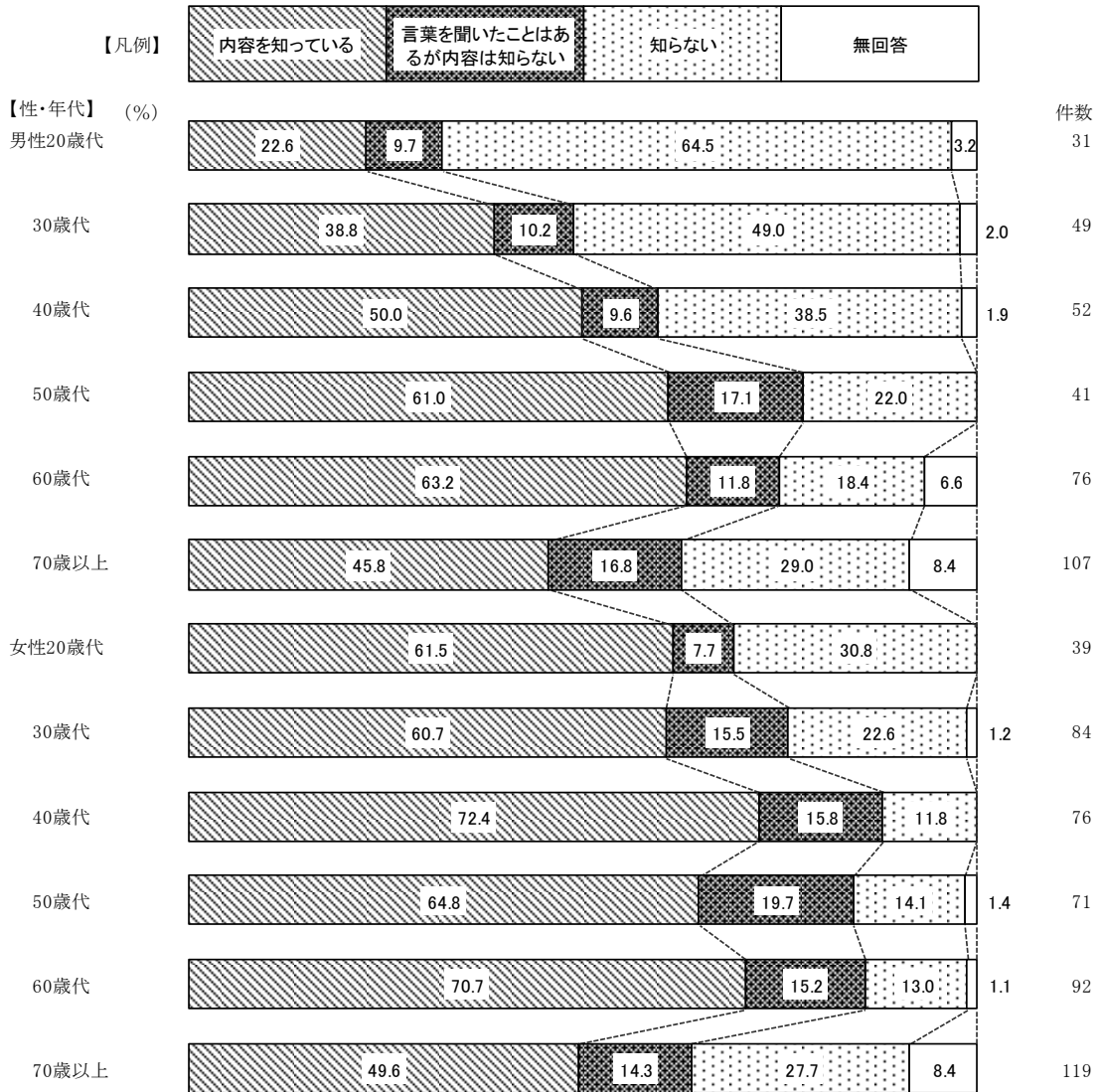
8-4 8020 運動の認知度

問53 「8020 (ハチマルニイマル) 運動」(80歳になっても20本以上自分の歯を残そうという運動) について知っていますか。(1つだけ)

- 8020運動の認知度※は70.9%であり、そのうち「内容を知っている」は56.5%となっている。一方、「知らない」は25.6%となっている。
- 性別で見ると、認知度は、女性(77.3%)の割合が高くなっている。
※「内容を知っている」「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」の計



- 性・年齢別でみると、認知度は女性の40歳代（88.2%）、50歳代（84.5%）、60歳代（85.9%）で高く、「知らない」は男性の20歳代（64.5%）で高くなっている。



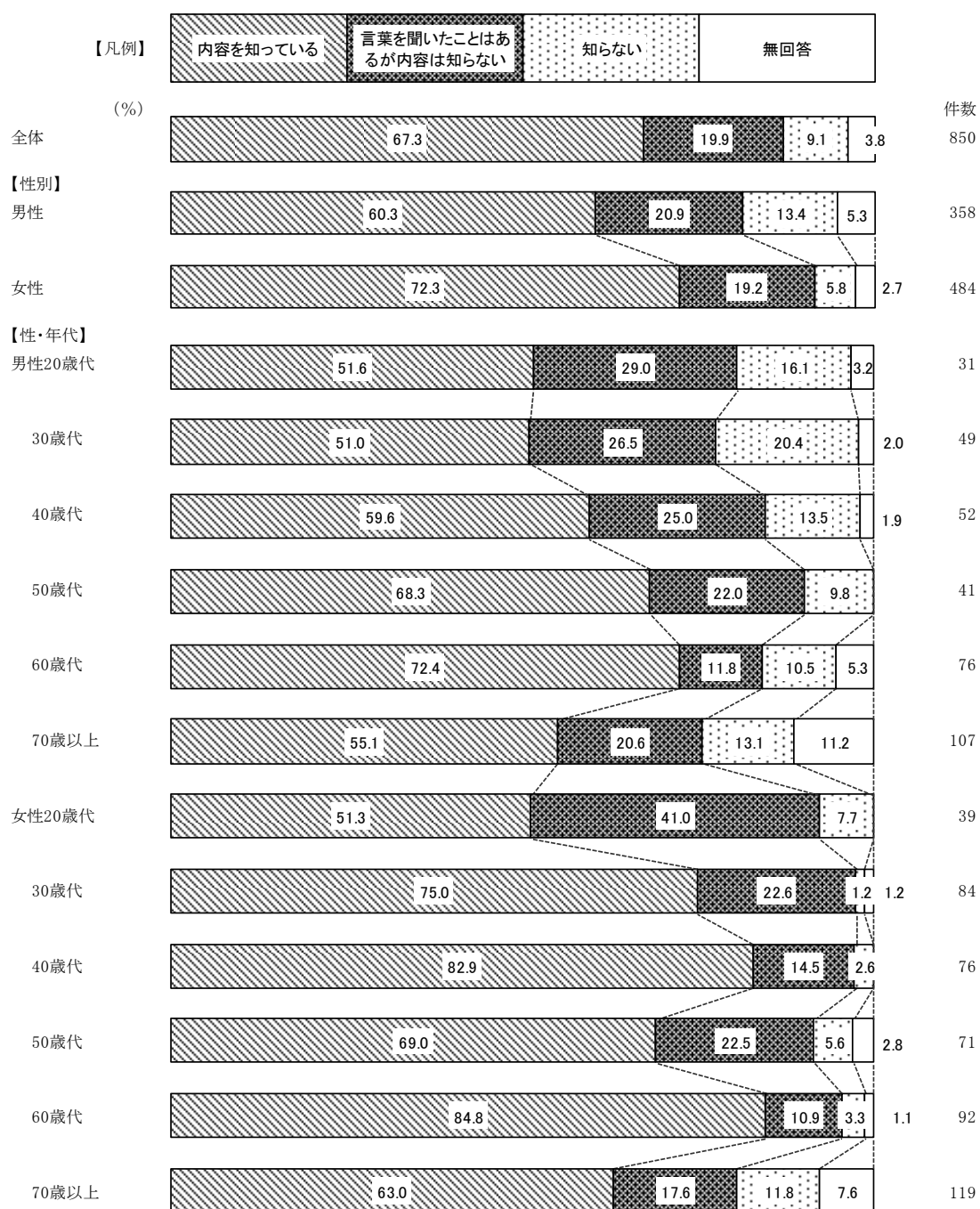
- 前回調査と比較すると、「内容を知っている」が5.7ポイント増加し、「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」が5.7ポイント減少している。

(%)	件数 (件)	内容を知っている (%)	はとが言葉を知りませんが聞いた内容を知らない (%)	知らない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	56.5	14.4	25.6	3.5
前回調査 (H22)	862	50.8	20.1	26.3	2.8

8-5 歯周病の認知度

問54 「歯周病」（歯肉の炎症が進行することで歯を支えている組織が破壊される病気）について知っていますか。（1つだけ）

- 歯周病の認知度は、87.2%であり、そのうち「内容を知っている」は67.3%となっている。一方、「知らない」は9.1%となっている。
- 性別で見ると、認知度は、女性（91.5%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、認知度は女性の30歳代（97.6%）、40歳代（97.4%）、60歳代（95.7%）で高く、「知らない」は男性の30歳代（20.4%）で高くなっている。



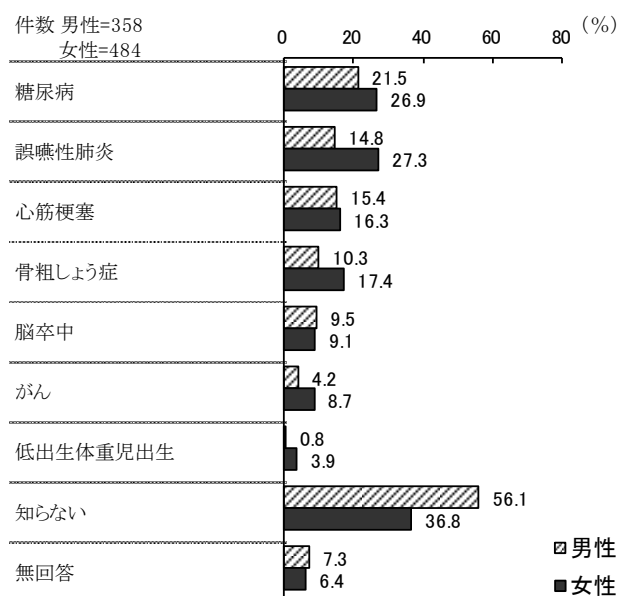
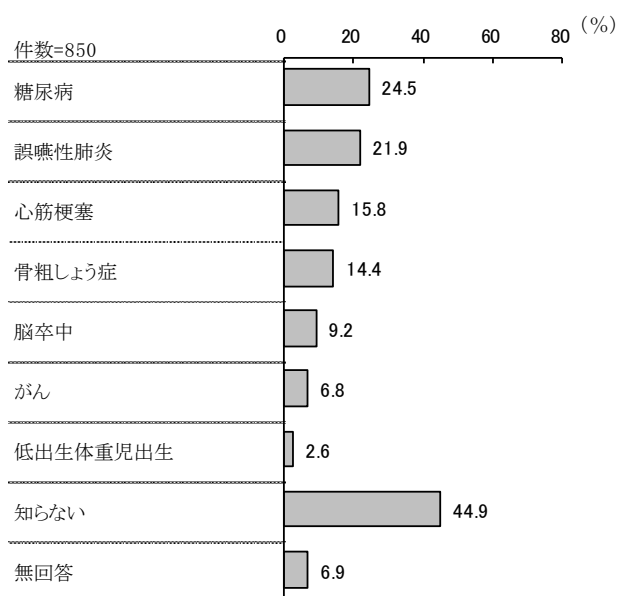
- 前回調査と比較すると、「内容を知っている」が4.4ポイント増加し、「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」が4.9ポイント減少している。

(%)	件数(件)	内容を知っている	ほとんどの言葉を知っているが内容は知らない	知らない	無回答
今回調査 (H26)	850	67.3	19.9	9.1	3.8
前回調査 (H22)	862	62.9	24.8	8.9	3.4

8-6 歯・口腔の健康と関連がある疾病の認知度

問55 次のうち、歯・口腔の健康と関連があることを知っているのはどれですか。(いくつでも)

- 歯・口腔の健康と関連がある疾病の認知度は、「糖尿病」(24.5%)、「誤嚥性肺炎」(21.9%)が2割以上、「心筋梗塞」(15.8%)、「骨粗しょう症」(14.4%)が1割以上となっている。一方、「知らない」は44.9%となっている。
- 性別で見ると、「誤嚥性肺炎」は女性(27.3%)が高く、「知らない」は男性(56.1%)で高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「糖尿病」は女性の50歳代(39.4%)で、「誤嚥性肺炎」は女性の50歳代(36.6%)、60歳代(38.0%)で、「心筋梗塞」は男性の60歳代(26.3%)、女性の50歳代(28.2%)で、それぞれ高くなっている。

(%)	件数(件)	糖尿病	誤嚥性肺炎	心筋梗塞	骨粗しょう症	脳卒中	がん	低出生体重児出生	知らない	無回答
全体	850	24.5	21.9	15.8	14.4	9.2	6.8	2.6	44.9	6.9
男性20歳代	31	9.7	6.5	6.5	16.1	3.2	3.2	-	67.7	3.2
30歳代	49	12.2	10.2	12.2	6.1	6.1	4.1	2.0	69.4	4.1
40歳代	52	21.2	5.8	13.5	13.5	9.6	5.8	-	57.7	7.7
50歳代	41	14.6	12.2	19.5	7.3	12.2	4.9	-	65.9	-
60歳代	76	32.9	23.7	26.3	9.2	15.8	6.6	1.3	44.7	6.6
70歳以上	107	24.3	18.7	10.3	11.2	6.5	1.9	0.9	51.4	12.1
女性20歳代	39	20.5	30.8	10.3	23.1	5.1	7.7	2.6	43.6	-
30歳代	84	16.7	15.5	10.7	15.5	4.8	8.3	8.3	50.0	2.4
40歳代	76	28.9	22.4	25.0	14.5	6.6	7.9	5.3	40.8	1.3
50歳代	71	39.4	36.6	28.2	21.1	16.9	11.3	2.8	31.0	1.4
60歳代	92	31.5	38.0	13.0	21.7	12.0	4.3	2.2	28.3	4.3
70歳以上	119	24.4	22.7	12.6	12.6	8.4	11.8	2.5	33.6	18.5

- 愛知県の調査と比較すると、「知らない」は清須市が44.9%、愛知県が51.4%で、清須市の割合が低くなっている。

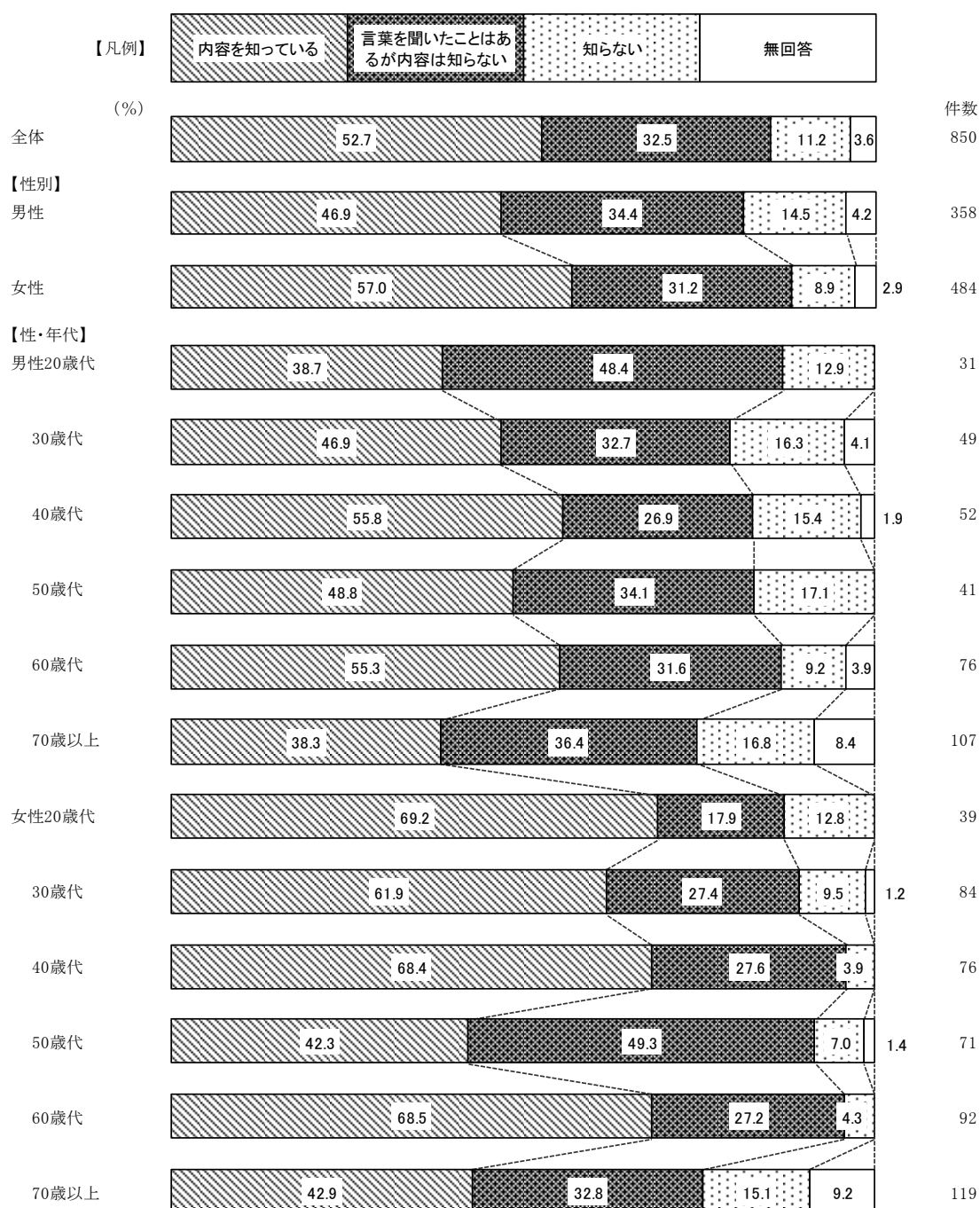
(%)	件数(件)	糖尿病	誤嚥性肺炎	心筋梗塞	骨粗しょう症	脳卒中	がん	低出生体重児出生	知らない	無回答
今回調査(H26)	850	24.5	21.9	15.8	14.4	9.2	6.8	2.6	44.9	6.9
愛知県(H24)	1,884	21.8	20.5	10.9	14.3	8.5	9.2	3.4	51.4	7.6

9 生活習慣病の予防について

9-1 生活習慣病の認知度

問56 「生活習慣病」（がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病など日頃の生活習慣が発症に深く関与する病気）について知っていますか。（1つだけ）

- 生活習慣病の認知度は85.2%であり、そのうち「内容を知っている」は52.7%となっている。一方、「知らない」は11.2%となっている。
- 性別で見ると、認知度は、女性（88.2%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、認知度は女性の40歳代（96.0%）、60歳代（95.7%）で高く、「知らない」は男性の50歳代（17.1%）、70歳以上（16.8%）で高くなっている。



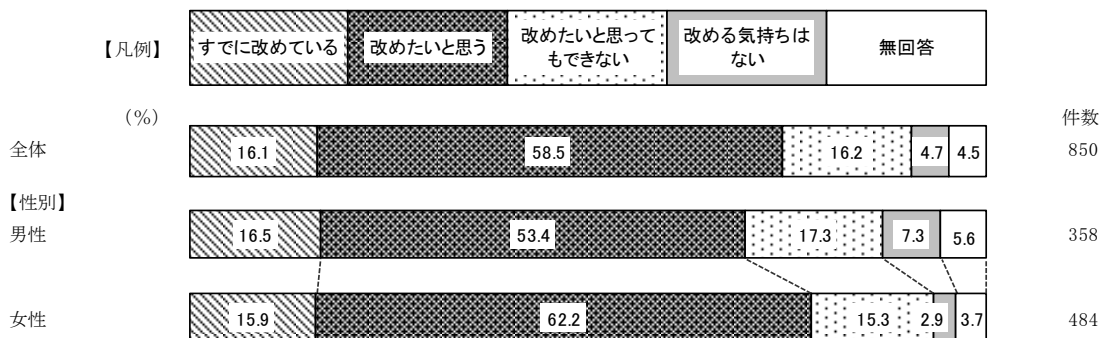
- 前回調査と比較すると、「内容を知っている」が8.4ポイント減少し、「知らない」が6.7ポイント増加している。

(%)	件数(件)	内容を知っている	は言葉は知らないが聞いた内容	知らない	無回答
今回調査 (H26)	850	52.7	32.5	11.2	3.6
前回調査 (H22)	862	61.1	32.0	4.5	2.3

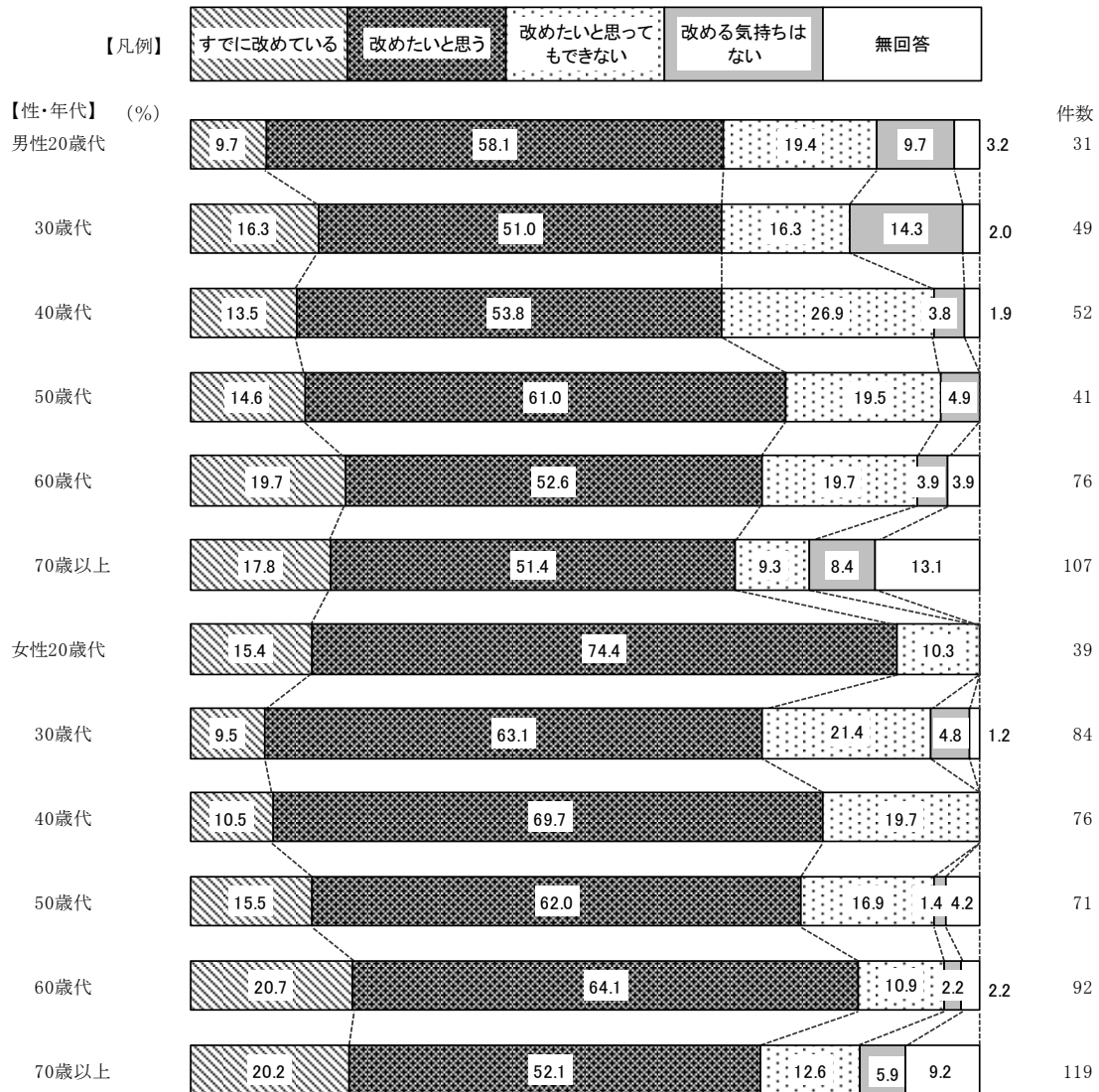
9-2 健康的な生活習慣への改善意向

問57 生活習慣病予防のために、健康的な生活習慣に改めたいと思いますか。(1つだけ)

- 健康的な生活習慣への改善意向は、「改めたいと思う」が58.5%で最も高く、「改めたいと思ってもできない」(16.2%)とあわせると『改善意向がある』人は74.7%となる。また、「すでに改めている」は16.1%となっている。
- 性別で見ると、『改善意向がある』は女性(77.5%)の割合が高くなっている。



- 性・年齢別でみると、『改善意向がある』は女性の40歳代（89.4%）で高く、「改める気持ちはない」は男性の30歳代（14.3%）で高くなっている。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

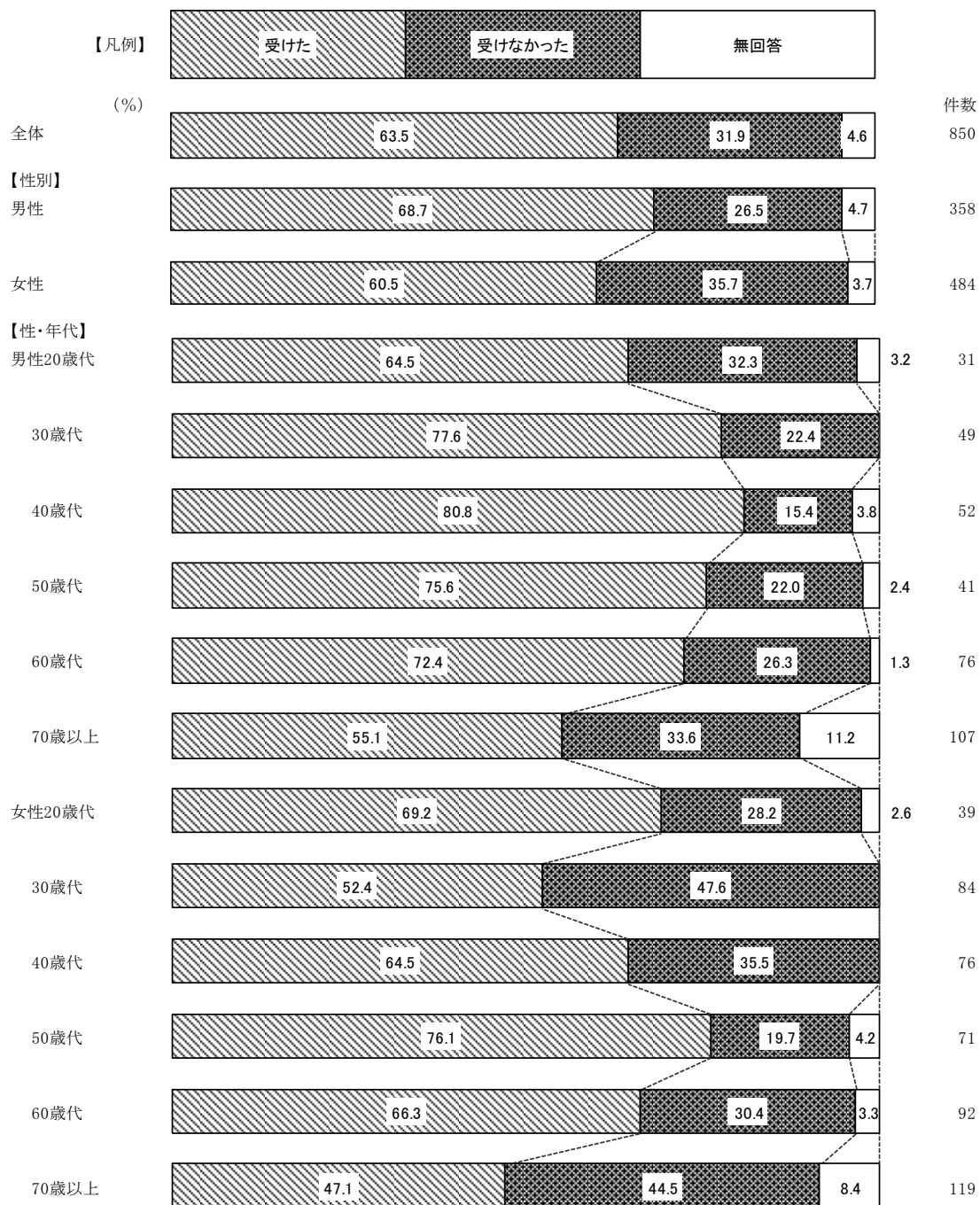
	件数 (件)	すでに改めている (%)	改めたいと思う (%)	改めたいと思ってもできない (%)	改める気持ちはない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	850	16.1	58.5	16.2	4.7	4.5
前回調査 (H22)	862	17.5	55.2	20.6	3.8	2.8

9-3 健診や人間ドックの受診状況

問58 過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（1つだけ）

- 健診や人間ドックの受診状況は、「受けた」が63.5%、「受けなかった」が31.9%となっている。
- 性別で見ると、「受けなかった」は女性（35.7%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「受けなかった」は女性の30歳代（47.6%）、70歳以上（44.5%）で高くなっている。

※がん検診、妊産婦健診、歯科健診、病院や診療所で行う診療としての検査は健診に含まない。



- 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。また、愛知県の調査と比較すると、「受けた」は清須市が63.5%、愛知県が79.7%で、清須市の割合が低くなっている。

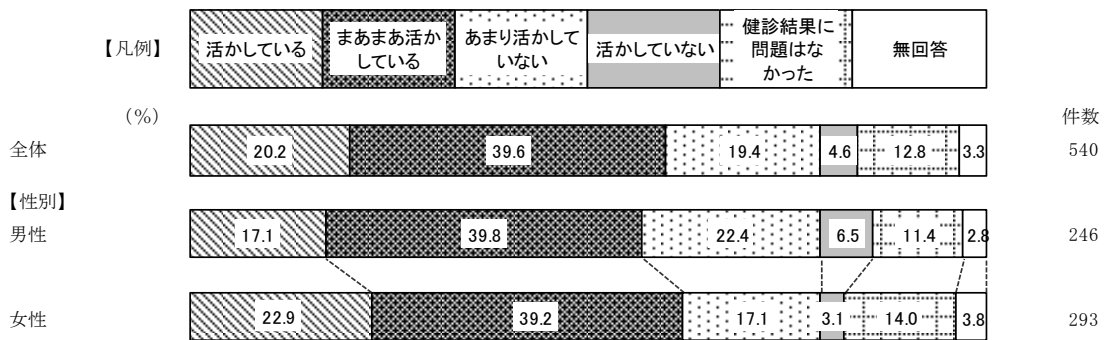
(%)	件数 (件)	受けた	受けなかった	無回答
今回調査 (H26)	850	63.5	31.9	4.6
前回調査 (H22)	862	61.1	35.7	3.1
愛知県 (H24)	1,884	79.7	19.2	1.2

9-4 健診結果の活用

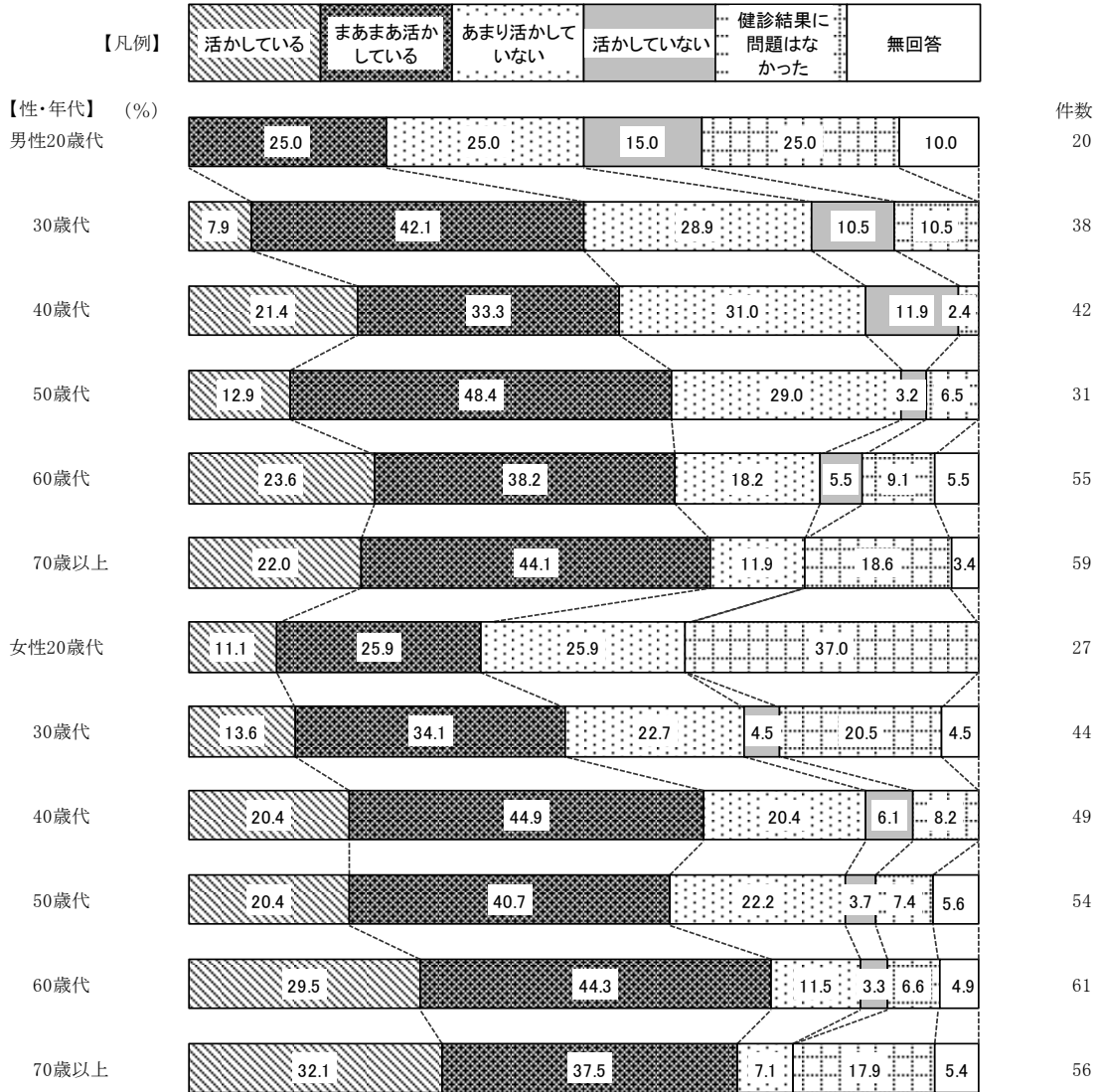
【問58で「受けた」と回答した方】

問58-1 健診結果に関心を持ち、その後の健康づくりに活かしていますか。(1つだけ)

- 健診結果の活用は、「まあまあ活かしている」が39.6%で最も高く、これに「活かしている」(20.2%)を合わせた『活かしている※1』人は59.8%となる。一方、『活かしていない※2』は24.0%となっている。
- 性別で見ると、『活かしている』は女性(62.1%)の割合が高くなっている。
 ※1 「活かしている」「まあまあ活かしている」の計
 ※2 「あまり活かしていない」「活かしていない」の計



- 性・年齢別でみると、『活かしている』は男女ともに年齢が高くなるほど概ね割合が高くなっており、男性の70歳以上では66.1%、女性の60歳代では73.8%となっている。また、『活かしていない』は男性の20歳代（40.0%）、30歳代（39.4%）、40歳代（42.9%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、『活かしている』は3.2ポイント減少している（前回63.0%→今回59.8%）。

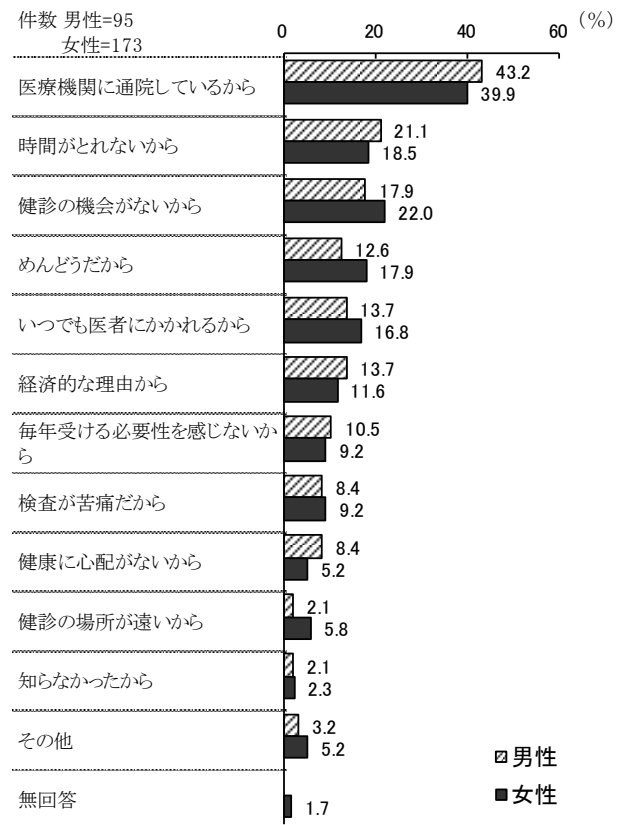
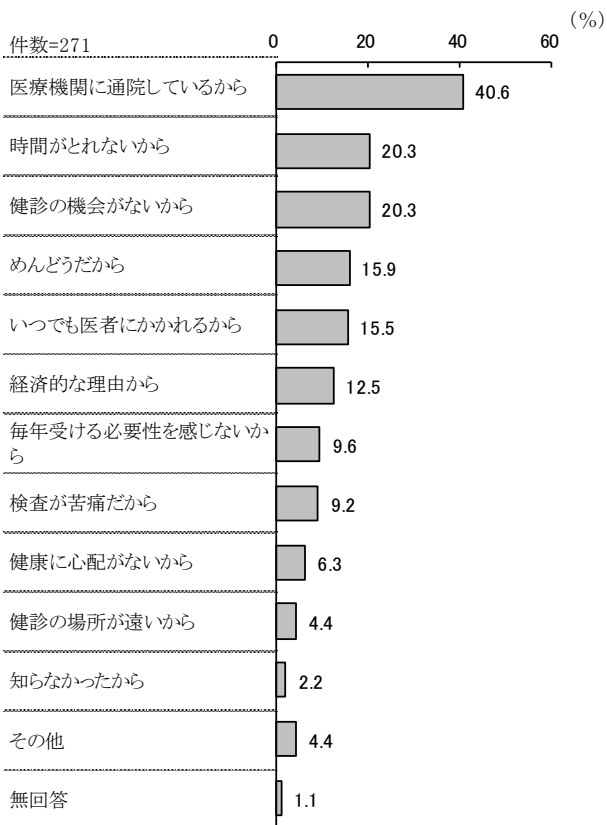
	件数 (件)	活かしている (%)	まあまあ活かしている (%)	あまり活かしていない (%)	活かしていない (%)	健診結果に問題はなかった (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	540	20.2	39.6	19.4	4.6	12.8	3.3
前回調査 (H22)	527	19.5	43.5	21.8	4.4	9.3	1.5

9-5 受けなかった理由

【問58で「受けなかった」と回答した方】

問58-2 受けなかった理由は何ですか。(いくつでも)

- 健診や人間ドックを受けなかった理由は、「医療機関に通院しているから」が40.6%で最も高く、次いで「時間がとれないから」「健診の機会がないから」がそれぞれ20.3%となっている。
- 性別で見ると、「めんどうだから」は女性（17.9%）の割合が高くなっている。



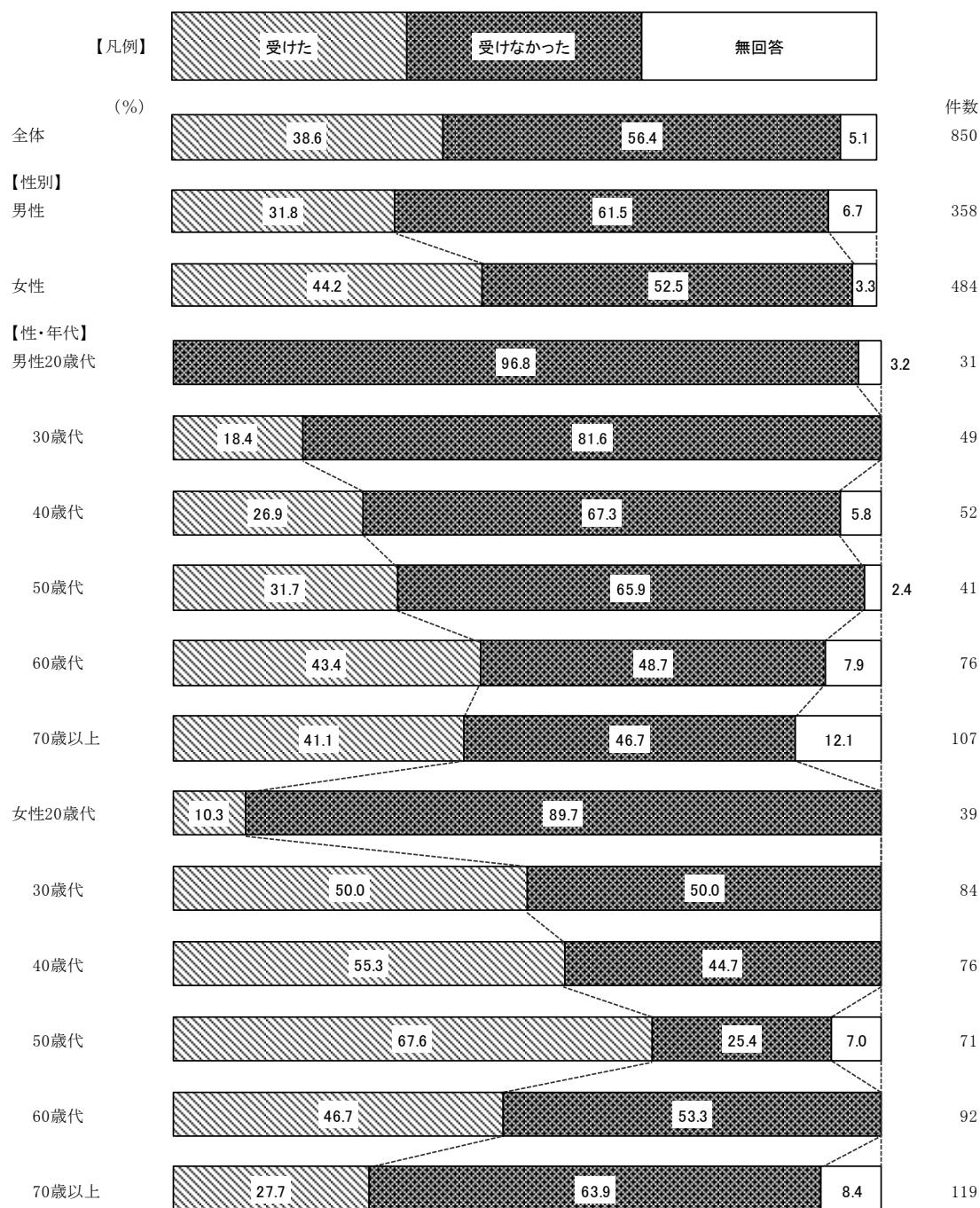
- 性・年齢別でみると、「医療機関に通院しているから」は男女ともに60歳代以上で高く、「時間がとれないから」は男女ともに50歳代で高く、「健診の機会がないから」は男女ともに20歳代・30歳代で高くなっている。

	件数(件)	医療機関に通院しているから	時間がとれないから	健診の機会がないから	めんどうだから	いつでも医者にかかれるから	経済的な理由から	毎年受ける必要性を感じないから	検査が苦痛だから	健康に心配がないから	健診の場所が遠いから	知らなかったから	その他	無回答
全体	271	40.6	20.3	20.3	15.9	15.5	12.5	9.6	9.2	6.3	4.4	2.2	4.4	1.1
男性20歳代	10	-	30.0	60.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	40.0	-	-	-	-
30歳代	11	-	36.4	45.5	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-
40歳代	8	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	12.5	-
50歳代	9	11.1	66.7	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	22.2	-	11.1	-	-	-
60歳代	20	60.0	-	10.0	10.0	30.0	5.0	10.0	-	-	-	5.0	-	-
70歳以上	36	69.4	11.1	5.6	8.3	8.3	11.1	8.3	8.3	8.3	2.8	2.8	5.6	-
女性20歳代	11	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-	-	9.1	9.1	-
30歳代	40	5.0	22.5	57.5	20.0	2.5	12.5	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	10.0	2.5
40歳代	27	18.5	29.6	22.2	37.0	3.7	25.9	7.4	18.5	11.1	7.4	-	7.4	3.7
50歳代	14	35.7	35.7	14.3	35.7	14.3	21.4	21.4	21.4	-	-	-	-	-
60歳代	28	60.7	21.4	3.6	10.7	32.1	7.1	14.3	3.6	7.1	7.1	-	3.6	-
70歳以上	53	73.6	1.9	3.8	5.7	28.3	3.8	5.7	3.8	3.8	7.5	1.9	1.9	1.9

9-6 がん検診の受診状況

問59 過去1年間に、がん検診（胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、前立腺がん）を受けましたか。（1つだけ）

- がん検診の受診状況は、「受けた」が38.6%、「受けなかった」が56.4%で、受けなかった人の割合が高くなっている。
- 性別で見ると、「受けなかった」は男性（61.5%）の割合が高くなっている。
- 性・年齢別で見ると、「受けなかった」は男性の20歳代（96.8%）、女性の20歳代（89.7%）で高くなっている。



- 前回調査と比較すると、「受けなかった」が4.6ポイント減少している。

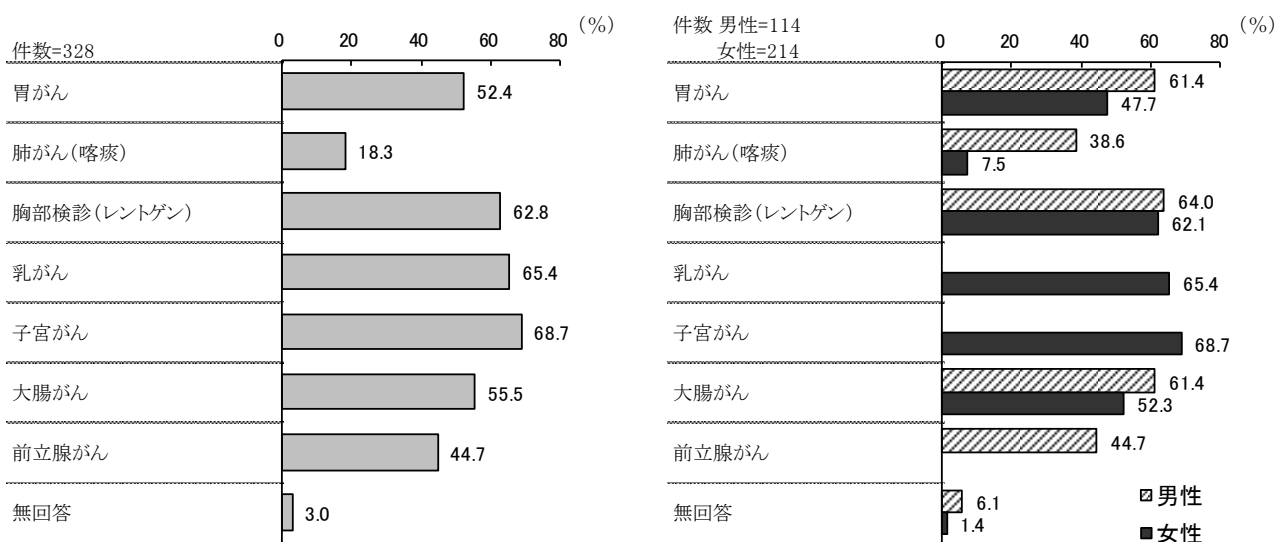
(%)	件数 (件)	受けた	受けなかった	無回答
今回調査 (H26)	850	38.6	56.4	5.1
前回調査 (H22)	862	35.8	61.0	3.1

9-7 がん検診を受診した項目・検診を受けた実施主体

【問59で「受けた」と回答した方】

問59-1 どの部位の検診を受けましたか。また、それはどこが実施するものでしたか。(いくつでも) ※「職場」には、配偶者・扶養者検診で受診された方を含みます。「個人」とは、どこからの補助もなく自己負担で受診された方のことです。

- がん検診を受診した項目は、「子宮がん」(68.7%)、「乳がん」(65.4%)といった婦人科検診の受診率が高くなっている。これらに次いで「胸部検診(レントゲン)」(62.8%)、「大腸がん」(55.5%)、「胃がん」(52.4%)が5割以上で続いている。
- 性別で見ると、「胃がん」「肺がん(喀痰)」「大腸がん」は男性の割合が高くなっている。

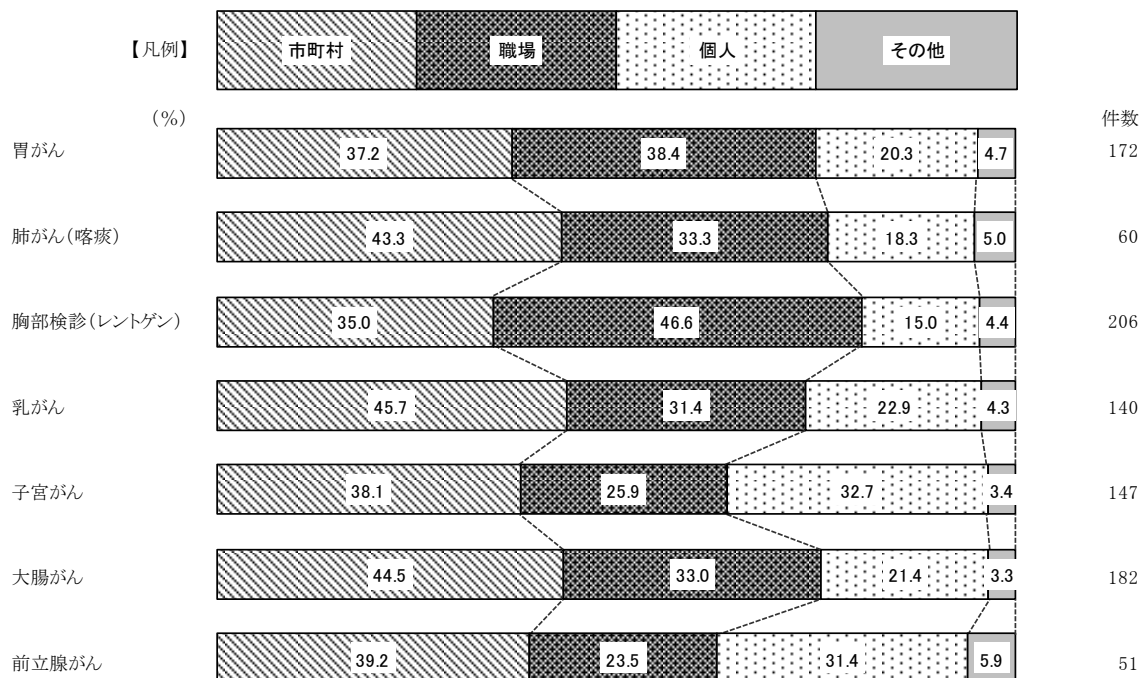


※「子宮がん検診」「乳がん検診」は女性のみ、「前立腺がん検診」は男性のみを件数(基数)として集計

- 前回調査と比較すると、「胸部検診（レントゲン）」が8.1ポイント、「大腸がん」が9.9ポイント、「前立腺がん」が5.8ポイント、それぞれ増加している。

	件数 (件)	胃がん	肺がん (喀痰)	胸部検診 (レントゲン)	乳がん	子宮がん	大腸がん	前立腺がん	無回答
(%)									
今回調査 (H26)	328	52.4	18.3	62.8	65.4	68.7	55.5	44.7	3.0
前回調査 (H22)	309	53.4	22.7	54.7	66.7	73.3	45.6	38.9	1.3

- がん検診の実施主体は、「市町村」は「肺がん（喀痰）」「乳がん」「大腸がん」で、「職場」は「胃がん」「胸部検診（レントゲン）」で、「個人」は「子宮がん」「前立腺がん」で、それぞれ割合が高くなっている。



- 前回調査と比較すると、いずれの部位の検診も「職場」での実施が増加している。

胃がん	(件数)	市町村	職場	個人	その他	無回答
(%)						
今回調査 (H26)	172	37.2	38.4	20.3	4.7	-
前回調査 (H22)	165	41.2	24.8	26.1	4.8	3.0
肺がん(喀痰)						
今回調査 (H26)	60	43.3	33.3	18.3	5.0	-
前回調査 (H22)	70	44.3	27.1	22.9	5.7	-
胸部検診(レントゲン)						
今回調査 (H26)	206	35.0	46.6	15.0	4.4	-
前回調査 (H22)	169	40.2	37.9	14.2	4.1	3.6
乳がん						
今回調査 (H26)	140	45.7	31.4	22.9	4.3	-
前回調査 (H22)	130	53.8	21.5	18.5	3.8	2.3

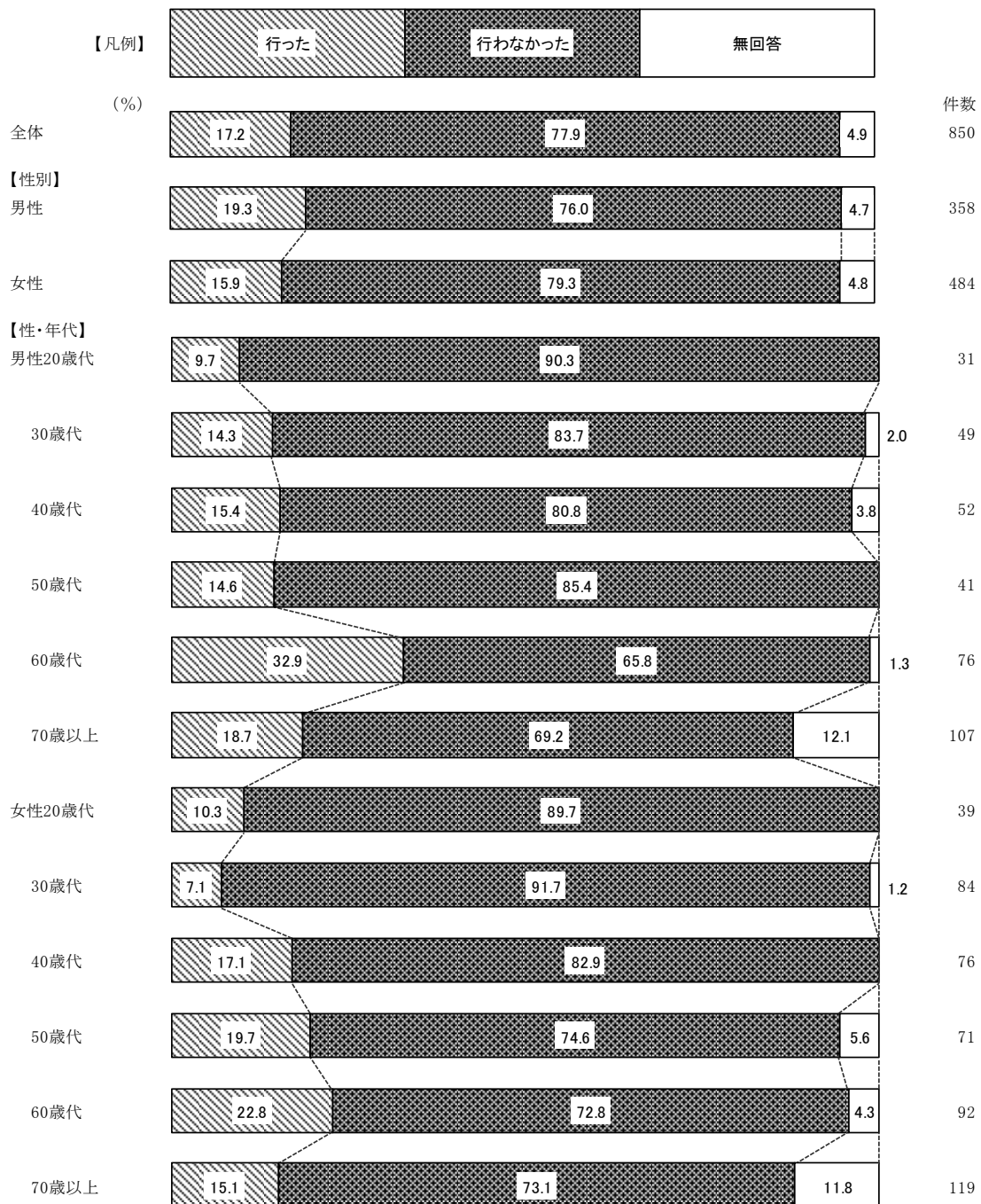
子宮がん	(件数)	市町村	職場	個人	その他	無回答
(%)						
今回調査 (H26)	147	38.1	25.9	32.7	3.4	-
前回調査 (H22)	143	43.4	25.2	28.7	2.1	0.7
大腸がん						
今回調査 (H26)	182	44.5	33.0	21.4	3.3	-
前回調査 (H22)	141	48.2	23.4	21.3	4.3	2.8
前立腺がん						
今回調査 (H26)	51	39.2	23.5	31.4	5.9	-
前回調査 (H22)	44	59.1	-	27.3	6.8	6.8

10 社会参加・社会環境について

10-1 ボランティア活動への参加状況

問60 あなたは、過去1年間に何らかのボランティア活動を行いましたか。（1つだけ）

- ボランティア活動への参加状況は、「行った」が17.2%で、およそ6人に1人の割合となっている。一方、「行わなかった」が77.9%となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年齢別でみると、「行った」は男性の60歳代（32.9%）で高くなっている。



- 愛知県の調査と比較すると、「行った」は清須市が17.2%、愛知県が25.2%で、清須市の割合が低くなっている。

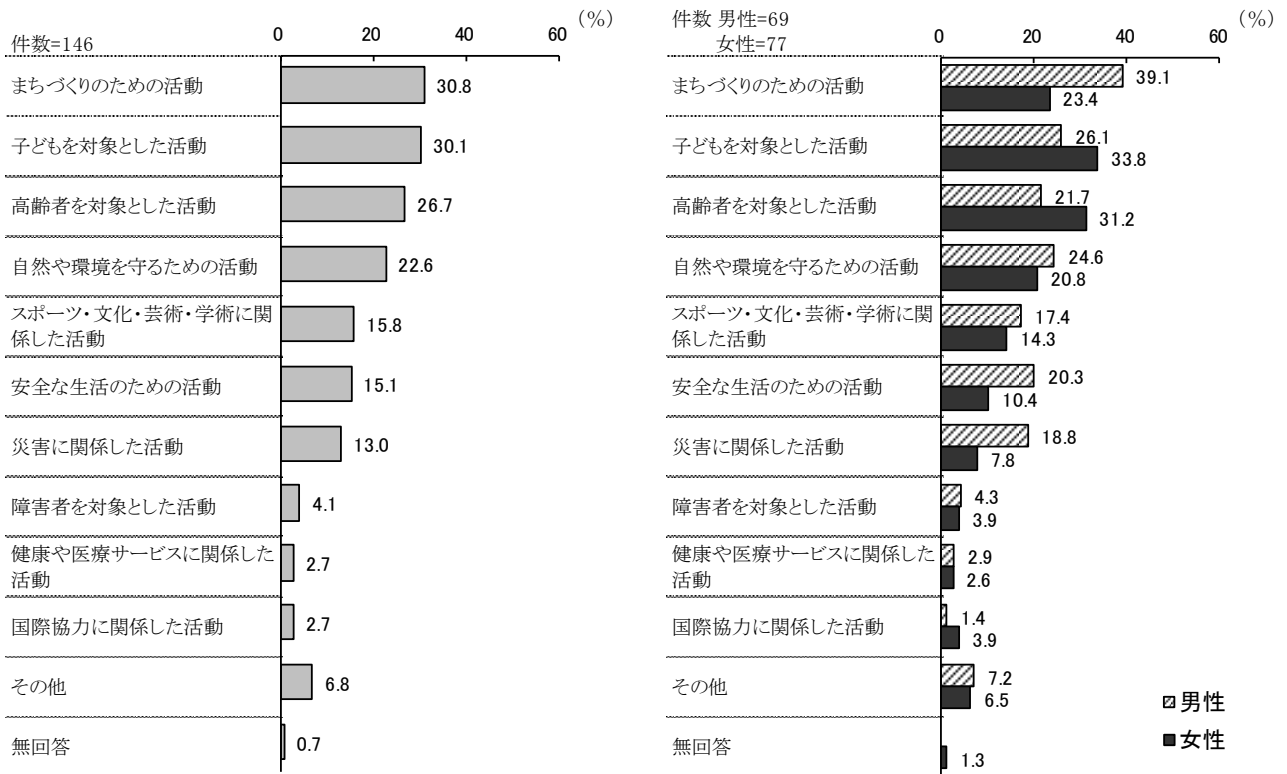
(%)	件数 (件)	行った	行わなかった	無回答
今回調査 (H26)	850	17.2	77.9	4.9
愛知県 (H24)	1,884	25.2	72.7	2.1

10-2 参加したボランティア活動の内容

【問60で「行った」と回答した方】

問60-1 どのようなボランティア活動をしましたか。(いくつでも)

- 参加したボランティア活動の内容は、「まちづくりのための活動」が30.8%で最も高く、次いで「子どもを対象とした活動」が30.1%となっている。
- 性別でみると、「まちづくりのための活動」「安全な生活のための活動」「災害に関係した活動」は男性の割合が高く、「子どもを対象とした活動」「高齢者を対象とした活動」は女性の割合が高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「子どもを対象とした活動」は女性の40歳代（69.2%）で高くなっている。

	件数(件) (%)	まちづくりのための活動	子どもを対象とした活動	高齢者を対象とした活動	自然や環境を守るための活動	スポーツ・芸術・文化・芸術に関する活動	安全な生活のための活動	災害に関係した活動	障害者を対象とした活動	健康や医療サービスに関する活動	国際協力に関係した活動	その他	無回答
全体	146	30.8	30.1	26.7	22.6	15.8	15.1	13.0	4.1	2.7	2.7	6.8	0.7
男性20歳代	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-
30歳代	7	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9	-	28.6	14.3	-	-	-	-
40歳代	8	62.5	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-
50歳代	6	66.7	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-
60歳代	25	28.0	28.0	16.0	24.0	20.0	24.0	20.0	8.0	4.0	4.0	8.0	-
70歳以上	20	30.0	20.0	40.0	30.0	5.0	20.0	15.0	-	-	-	10.0	-
女性20歳代	4	-	75.0	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-
30歳代	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-
40歳代	13	23.1	69.2	15.4	15.4	15.4	-	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-
50歳代	14	14.3	42.9	28.6	7.1	21.4	14.3	14.3	-	7.1	-	14.3	-
60歳代	21	38.1	19.0	38.1	28.6	14.3	14.3	-	4.8	-	4.8	9.5	-
70歳以上	18	11.1	11.1	44.4	33.3	5.6	11.1	-	5.6	-	5.6	-	5.6

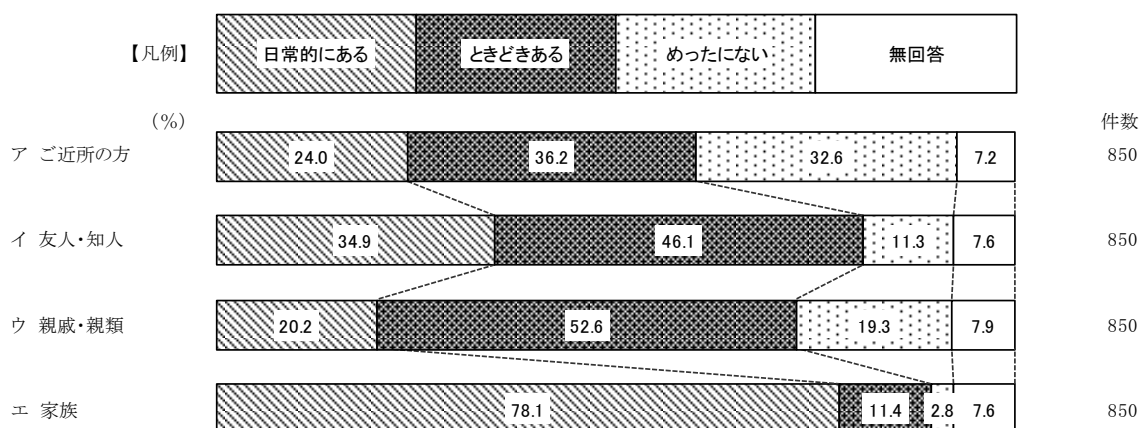
- 愛知県の調査と比較すると、「高齢者を対象とした活動」は清須市の割合が高く、「まちづくりのための活動」「安全な生活のための活動」は清須市の割合が低くなっている。

	件数(件) (%)	まちづくりのための活動	子どもを対象とした活動	高齢者を対象とした活動	自然や環境を守るための活動	スポーツ・芸術・文化・芸術に関する活動	安全な生活のための活動	災害に関係した活動	障害者を対象とした活動	健康や医療サービスに関する活動	国際協力に関係した活動	その他	無回答
今回調査 (H26)	146	30.8	30.1	26.7	22.6	15.8	15.1	13.0	4.1	2.7	2.7	6.8	0.7
愛知県 (H24)	475	47.2	30.7	18.1	17.9	13.3	24.6	9.3	6.9	6.7	4.4	5.7	0.2

10—3 人との交流の程度

問61 あなたは、次のアからエの人とどの程度の交流がありますか。（1つずつ）

- 人との交流の程度についてたずねたところ、「ア ご近所の方」では、「ときどきある」が36.2%で最も高いものの、「めったにない」も32.6%と3割台となっている。
「イ 友人・知人」では、「ときどきある」が46.1%で最も高くなっている。
「ウ 親戚・親類」では、「ときどきある」が52.6%で最も高くなっている。
「エ 家族」では、「日常的にある」が78.1%で最も高くなっている。また、「めったにない」は2.8%となっている。



- 愛知県の調査と比較すると、「日常的にある」はいずれの場合についても清須市の割合が低くなっている。

ア ご近所の方					
(%)	件数(件)	日常的にある	ときどきある	めったにない	無回答
今回調査 (H26)	850	24.0	36.2	32.6	7.2
愛知県 (H24)	1,884	27.3	39.4	29.4	3.9
イ 友人・知人					
今回調査 (H26)	850	34.9	46.1	11.3	7.6
愛知県 (H24)	1,884	37.7	48.0	10.4	3.9
ウ 親戚・親類					
今回調査 (H26)	850	20.2	52.6	19.3	7.9
愛知県 (H24)	1,884	21.5	57.8	16.4	4.2
エ 家族					
今回調査 (H26)	850	78.1	11.4	2.8	7.6
愛知県 (H24)	1,884	82.1	11.1	2.9	4.0

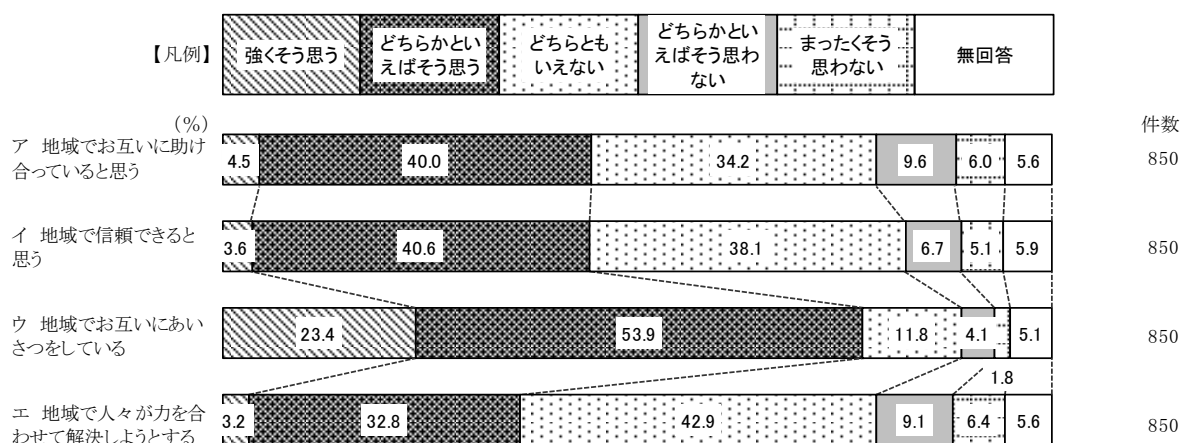
10-4 住んでいる地域について

問62 あなたのお住まいの地域について、次のアからエについてどのように思いますか。

(1つずつ)

- 住んでいる地域についてたずねたところ、『そう思う※1』は、「ウ 地域でお互いにあいさつをしている」が77.3%で高くなっている。「ア 地域でお互いに助け合っていると思う」「イ 地域で信頼できると思う」は4割台、「エ 地域で人々が力を合わせて解決しようとする」は4割を下回っている。

※1 「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」の計



- 愛知県の調査と比較すると、『そう思う』はいずれの項目についても清須市の割合が低くなっているが、『そう思わない※2』も「ウ 地域でお互いにあいさつをしている」以外の項目については清須市の割合が低くなっている。

※2 「どちらかといえばそう思わない」「まったくそう思わない」の計

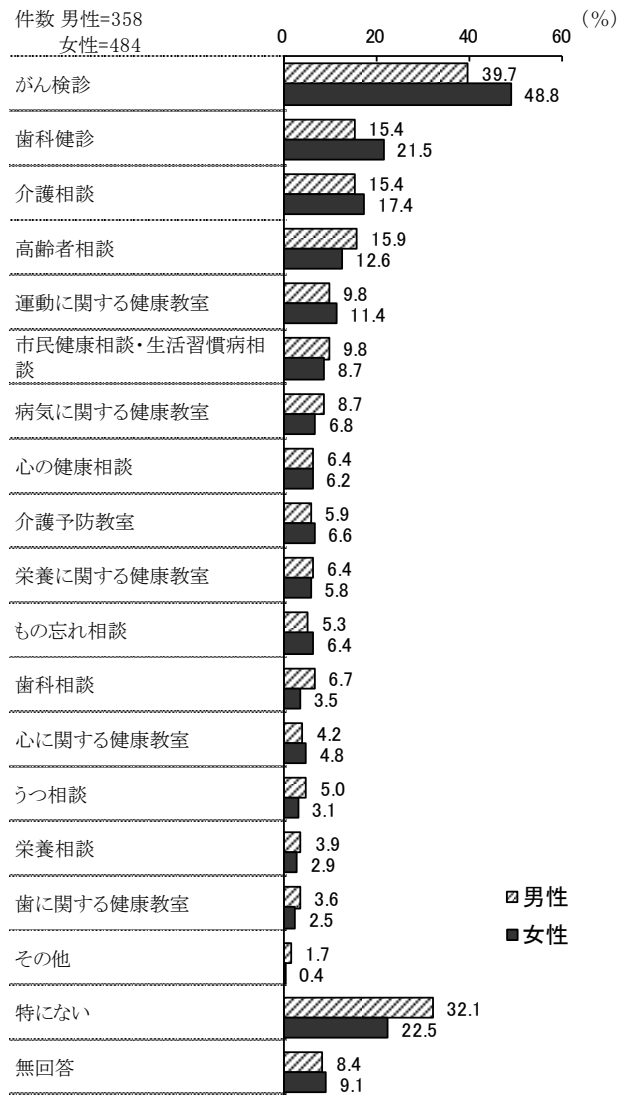
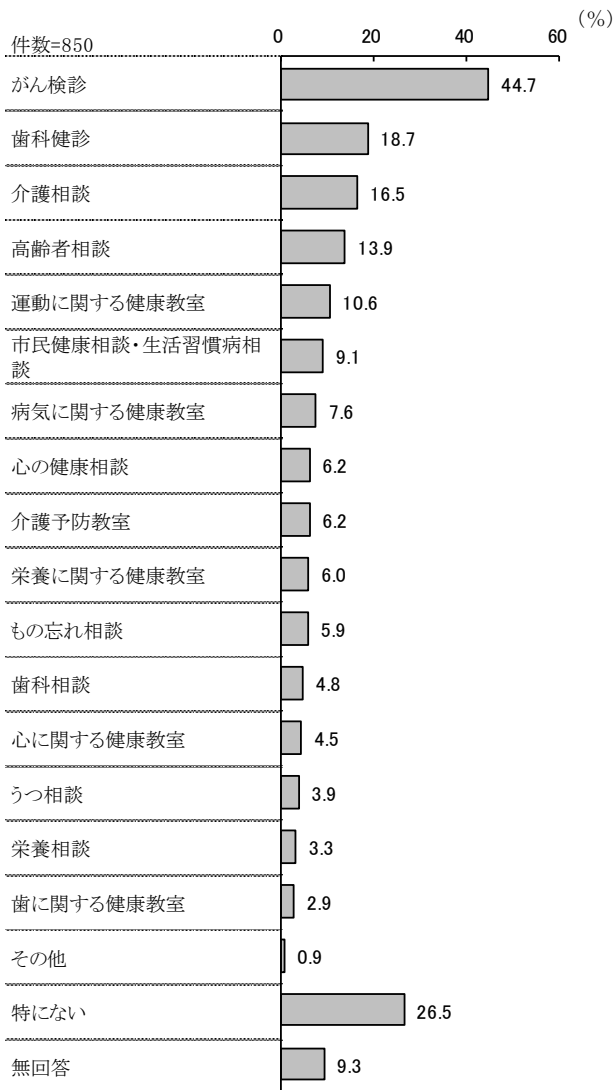
ア 地域でお互いに助け合っていると思う							
	件数 (件)	強くそう思う (%)	えどち ばち そら うか 思と うい	えど ない ら とも い	なえど ない そら うか 思と わい	思ま つた く そ う	無 回 答
今回調査 (H26)	850	4.5	40.0	34.2	9.6	6.0	5.6
愛知県 (H24)	1,884	8.2	37.6	32.7	9.5	8.5	3.4
イ 地域で信頼できると思う							
今回調査 (H26)	850	3.6	40.6	38.1	6.7	5.1	5.9
愛知県 (H24)	1,884	8.7	37.7	35.4	7.6	6.4	4.2
ウ 地域でお互いにあいさつをしている							
今回調査 (H26)	850	23.4	53.9	11.8	4.1	1.8	5.1
愛知県 (H24)	1,884	28.3	53.3	10.0	3.6	2.1	2.8
エ 地域で人々が力を合わせて解決しようとする							
今回調査 (H26)	850	3.2	32.8	42.9	9.1	6.4	5.6
愛知県 (H24)	1,884	7.5	34.0	38.1	9.7	6.6	4.0

11 行政の取り組み等について

11-1 市の保健事業の利用意向

問63 市が行っている保健事業を今後利用したいと思いますか。(いくつでも)

- 市の保健事業の利用意向がある人※は64.2%で、具体的な事業では「がん検診」が44.7%で最も高く、次いで「歯科健診」が18.7%となっている。
- 性別で見ると、「がん検診」「歯科健診」は女性の割合が高く、「特にない」は男性の割合が高くなっている。
※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合



- 性・年齢別で見ると、利用意向のある人は男性では30歳代（36.8%）、女性では70歳以上（58.9%）が他の年齢層に比べて低くなっている。具体的な事業では、「がん検診」は女性の20歳代（61.5%）、30歳代（79.8%）、40歳代（59.2%）で、「歯科健診」は女性の20歳代（41.0%）、30歳代（42.9%）で、「介護相談」は女性の70歳以上（32.8%）で、それぞれ割合が高くなっている。

	件数 (件)	がん 検診	歯 科 健 診	介 護 相 談	高 齢 者 相 談	運 動 に 関 する 健 康 教 室	生 活 習 慣 病 相 談 ・ 市 民 健 康 相 談	康 教 室 に 関 する 健 康	心 の 健 康 相 談	介 護 予 防 教 室	栄 養 に 関 する 健 康 教 室	も の 忘 れ 相 談	歯 科 相 談
(%)													
全 体	850	44.7	18.7	16.5	13.9	10.6	9.1	7.6	6.2	6.2	6.0	5.9	4.8
男性20歳代	31	29.0	9.7	9.7	6.5	22.6	3.2	-	3.2	-	12.9	-	9.7
30歳代	49	30.6	18.4	6.1	-	6.1	8.2	2.0	6.1	4.1	2.0	4.1	6.1
40歳代	52	46.2	15.4	9.6	9.6	15.4	5.8	7.7	13.5	5.8	11.5	5.8	7.7
50歳代	41	46.3	14.6	22.0	12.2	4.9	14.6	2.4	14.6	7.3	4.9	4.9	4.9
60歳代	76	42.1	21.1	15.8	21.1	7.9	10.5	10.5	-	6.6	3.9	2.6	6.6
70歳以上	107	40.2	12.1	21.5	27.1	8.4	12.1	15.9	5.6	7.5	6.5	9.3	6.5
女性20歳代	39	61.5	41.0	5.1	2.6	12.8	2.6	5.1	2.6	5.1	12.8	2.6	7.7
30歳代	84	79.8	42.9	8.3	1.2	14.3	10.7	6.0	7.1	2.4	8.3	2.4	4.8
40歳代	76	59.2	27.6	10.5	3.9	11.8	7.9	9.2	10.5	3.9	3.9	2.6	9.2
50歳代	71	45.1	14.1	18.3	8.5	9.9	9.9	4.2	5.6	5.6	8.5	-	-
60歳代	92	42.4	12.0	16.3	18.5	13.0	13.0	3.3	6.5	7.6	3.3	12.0	1.1
70歳以上	119	22.7	8.4	32.8	27.7	8.4	5.9	10.9	4.2	11.8	3.4	12.6	1.7

	健 心 に 関 する 教 室	う つ 相 談	栄 養 相 談	健 歯 に 関 する 教 室	そ の 他	特 に な い	無 回 答
(%)							
全 体	4.5	3.9	3.3	2.9	0.9	26.5	9.3
男性20歳代	3.2	9.7	6.5	-	-	45.2	-
30歳代	2.0	4.1	4.1	2.0	-	61.2	2.0
40歳代	9.6	11.5	9.6	7.7	-	38.5	-
50歳代	4.9	7.3	-	2.4	-	31.7	7.3
60歳代	1.3	1.3	1.3	3.9	2.6	22.4	15.8
70歳以上	4.7	2.8	3.7	3.7	3.7	18.7	12.1
女性20歳代	5.1	2.6	7.7	5.1	-	25.6	5.1
30歳代	7.1	2.4	3.6	3.6	-	15.5	2.4
40歳代	6.6	3.9	2.6	3.9	-	23.7	2.6
50歳代	2.8	1.4	1.4	1.4	1.4	31.0	8.5
60歳代	5.4	2.2	2.2	-	-	19.6	10.9
70歳以上	2.5	5.0	2.5	2.5	0.8	23.5	17.6

- 前回調査と比較すると、利用意向のある人は17.3ポイント増加している（前回46.9%→今回64.2%）。具体的な事業では、「介護相談」が5.1ポイント増加している。

	件 数 (件)	がん 検 診	歯 科 健 診	介 護 相 談	高 齢 者 相 談	康 教 室 に 関 する 健 康	運 動 に 関 する 健 康	生 活 習 慣 病 相 談 ・ 市 民 健 康 相 談	康 教 室 に 関 する 健 康	心 の 健 康 相 談	介 護 予 防 教 室	康 教 室 に 関 する 健 康	も の 忘 れ 相 談	歯 科 相 談
(%)														
今回調査 (H26)	850	44.7	18.7	16.5	13.9	10.6	9.1	7.6	6.2	6.2	6.0	5.9	4.8	
前回調査 (H22)	862			11.4	13.6	13.2	11.4	9.4	5.1	5.6	8.5		3.5	

	件 数 (件)	健 心 に 関 する 健 康 教 室	う つ 相 談	栄 養 相 談	健 歯 に 関 する 健 康 教 室	援 助 相 談	健 康 ラ イ フ に 関 する 健 康	親 子 で 参 加 す る 健 康 教 室	特 定 保 健 指 導	そ の 他	特 に な い	無 回 答
(%)												
今回調査 (H26)	850	4.5	3.9	3.3	2.9				0.9	26.5	9.3	
前回調査 (H22)	862	4.3	4.1	3.5	3.2	7.0	5.6	3.4	1.0	39.9	13.2	

11-2 実施希望の保健事業

問64 問63の他に、あるとよいと思う事業があれば、お書きください。

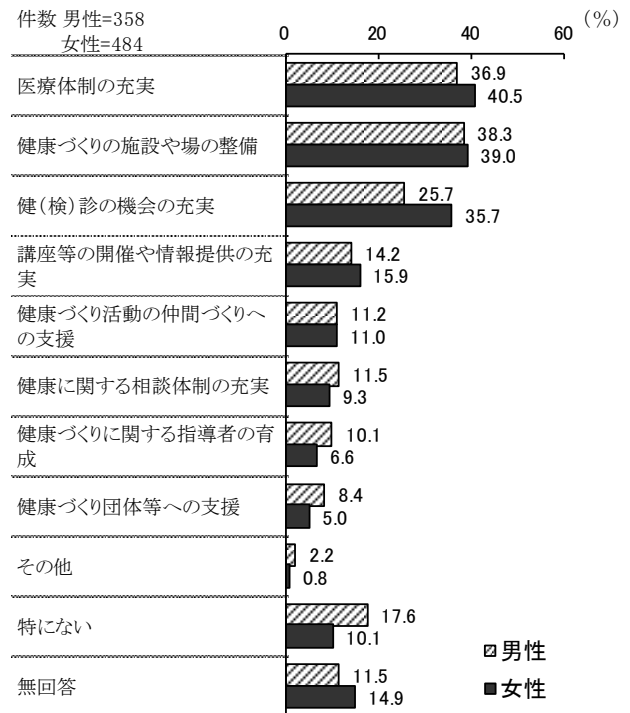
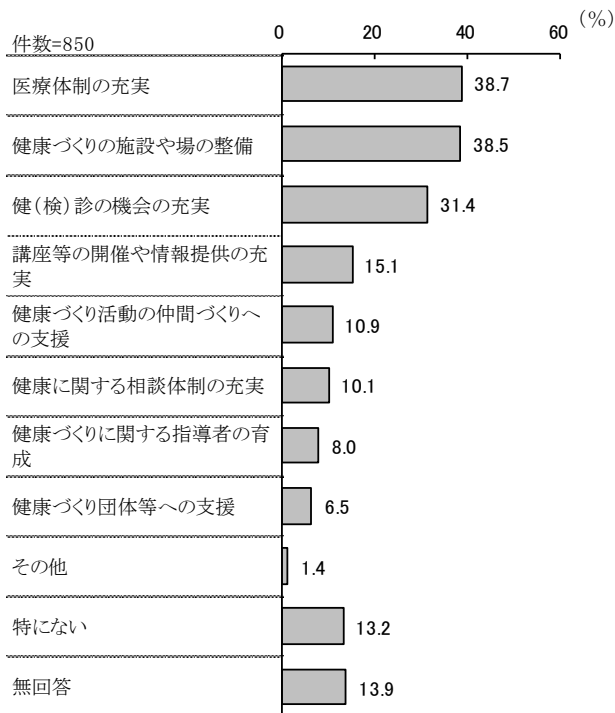
- あるとよいと思う事業をたずねたところ、45件の意見が得られた。「禁煙相談」「血液検査」「矯正歯科の補助」などの意見が得られた。

No.	内 容	件数
●健康づくり教室や健康相談に関すること		(15)
1	禁煙相談。	1
2	心の健康相談。	1
3	運動に関する健康教室。	1
4	禁煙、禁酒教室のようなもの。	1
5	相談しようにもどこにどのように行ったら良いかわからない。まず宣伝伝達をお願いしたい。	1
6	平日ではなく、土・日もしくは夜間で運動教室があれば参加したい。	1
7	女性専用（女性になりやすい病気）の相談。	1
8	託児あり（有料でも）のエアロビやヨガ教室など。	1
9	健康食に対しての教室。	1
10	精神的な相談。	1
11	子育てに少し心配のある親子のための相談や教室。	1
12	不妊治療の交流会。	1
13	平日では勤めがあるので、教室・講習が土・日にあると良い。	1
14	いつまでも身の回りのことは自分でできるように、体力維持の運動教室と、ボケないための趣味的な文化教室。	1
15	子育ての相談。	1
●健康診査・がん検診等に関すること		(7)
16	MR I。	1
17	体の健康状態がわかるので、年1回の健診の中に血液一般検査があってほしい。市の健診日とは予定が合わないので、健診が病院で受けられると良い。	1
18	特に自覚症状がなくても万一のため過去に害した部位の検査を受診したい。制度化してほしい。	1
19	がん検診等は特別な病院で毎年やっている。	1
20	名古屋市が行っているワンコイン（500円）検診の充実をお願いしたい。	1
21	色々な血液検査。	1
22	栄養の計測、診断。	1
●スポーツ・運動に関すること		(6)
23	健康・スポーツイベント。	1
24	ストレッチ、体操。	1
25	生涯スポーツ（元気なお年寄りが多いと良い）。	1
26	スポーツジム。	1
27	体力測定。	1
28	子どもを預かってもらって、運動する機会。	1
●その他		(17)
29	高齢者の仕事の斡旋。	1
30	場所を変えて行ってほしい。近くなれば行きたい。	1
31	病院の休日・夜間の診療を紹介してほしい（数が少ない）。	1
32	在宅医療相談。	1
33	設備を利用するにも、若い時貯めておかないと利用不可。	1
34	税金、保険など。	1
35	特定疾患。	1
36	認知症などの施設。	1
37	行政としての介護施設の充実。	1
38	骨粗しょう等の薬事。	1
39	総合病院があればと思う。	1
40	時間的になかなか合わず残念。	1
41	任意予防接種の補助金がもらえるようになる事業。	1
42	利用したいが、飲食組合の保険なので利用できないのが残念である。	1
43	広報に低カロリーや健康に良い食べ物の3分レシピなどが載っているとうれしい。	1
44	矯正歯科の補助。子どもの歯並びを指摘されたが、矯正歯科への相談は無料でも、初めのレントゲンが高額なため、悩んでいる。せめて、それだけでも補助がおりれば助かる。	1
45	無駄のない事業。	1

11-3 健康に暮らすまちをつくるために行政に望むこと

問65 市民の皆様が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。（いくつでも）

- 健康に暮らすまちをつくるために行政に望むことは、「医療体制の充実」(38.7%)、「健康づくりの施設や場の整備」(38.5%)の割合が高くなっている。
- 性別で見ると、「健(検)診の機会の充実」は女性の割合が高く、「特にない」は男性の割合が高くなっている。



- 性・年齢別でみると、「医療体制の充実」は女性の40歳代（50.0%）で、「健康づくりの施設や場の整備」は男性の20歳代（54.8%）で、「健（検）診の機会の充実」は女性の30歳代（61.9%）で、それぞれ割合が高くなっている。

	件数（件）	医療体制の充実	健康づくりの施設や場の整備	健（検）診の機会の充実	講座等の開催や情報提供の充実	健康づくり活動の仲間への支援	健康に関する相談体制の充実	健康づくりに関する指導者の育成	健康づくり団体等への支援	その他	特になし	無回答
(%)												
全体	850	38.7	38.5	31.4	15.1	10.9	10.1	8.0	6.5	1.4	13.2	13.9
男性20歳代	31	32.3	54.8	22.6	6.5	12.9	6.5	9.7	12.9	3.2	16.1	6.5
30歳代	49	42.9	34.7	32.7	8.2	12.2	8.2	12.2	10.2	-	22.4	2.0
40歳代	52	42.3	40.4	23.1	13.5	11.5	7.7	9.6	3.8	3.8	17.3	5.8
50歳代	41	34.1	34.1	22.0	22.0	9.8	9.8	7.3	4.9	2.4	17.1	12.2
60歳代	76	38.2	38.2	22.4	14.5	13.2	14.5	15.8	13.2	1.3	14.5	13.2
70歳以上	107	33.6	36.4	29.0	16.8	9.3	15.0	6.5	6.5	2.8	17.8	17.8
女性20歳代	39	28.2	51.3	43.6	7.7	10.3	10.3	2.6	5.1	-	20.5	5.1
30歳代	84	47.6	41.7	61.9	15.5	9.5	6.0	4.8	2.4	3.6	9.5	4.8
40歳代	76	50.0	40.8	39.5	25.0	9.2	11.8	6.6	5.3	-	3.9	7.9
50歳代	71	43.7	46.5	36.6	23.9	14.1	7.0	9.9	7.0	-	7.0	11.3
60歳代	92	44.6	40.2	28.3	14.1	14.1	6.5	6.5	5.4	1.1	7.6	19.6
70歳以上	119	29.4	26.1	17.6	10.1	9.2	13.4	7.6	5.0	-	15.1	27.7

- 前回調査と比較すると、「医療体制の充実」が6.3ポイント、「健（検）診の機会の充実」が10.7ポイントそれぞれ減少し、「健康づくりの施設や場の整備」が4.6ポイント、「講座等の開催や情報提供の充実」が4.4ポイントそれぞれ増加している。

	件数（件）	医療体制の充実	健康づくりの施設や場の整備	健（検）診の機会の充実	講座等の開催や情報提供の充実	健康づくり活動の仲間への支援	健康に関する相談体制の充実	健康づくりに関する指導者の育成	健康づくり団体等への支援	その他	特になし	無回答
(%)												
今回調査（H26）	850	38.7	38.5	31.4	15.1	10.9	10.1	8.0	6.5	1.4	13.2	13.9
前回調査（H22）	862	45.0	33.9	42.1	10.7	10.6	11.1	8.1	6.6	1.4	10.6	12.9

11-4 自由意見

問66 健康に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

- 健康に関するご意見・ご要望をたずねたところ、114人から115件の意見が得られた。内容は以下のとおりである。

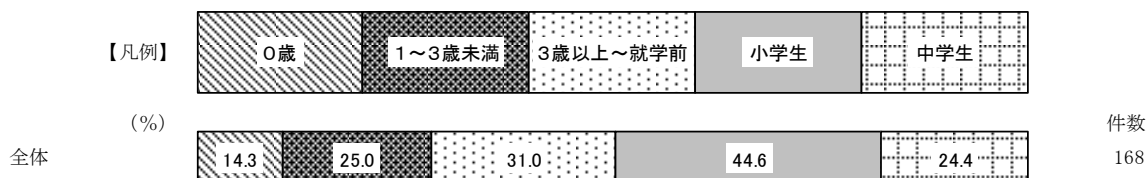
No.	内 容	件数
●健康診査・がん検診等に関すること		(12)
1	高齢者の定期健康診断や、認知症の判定検査等を実施してほしい。	1
2	健診時の検査が簡易すぎるので、もっと丁寧にしてほしい。	1
3	市の健診の申込み手続き等を簡易にしてほしい。	1
4	集団健診で受診できない場合、かかりつけ医でも検診が受けられるようにしてほしい。	1
5	がん検診の受付、実施日等を勤労者にも配慮してほしい。	1
6	その他（がん検診の無料クーポンはありがたい。健診の検査項目を増やしてほしい。など）	7
●スポーツ・運動に関すること		(13)
7	市民が無料で利用できるスポーツ施設をつくってほしい。	3
8	高齢者用の運動施設がほしい。	2
9	その他（主婦が空いた時間に利用できるスポーツ教室があるとよい。周辺自治体と共同開催で運動会等を実施してはどうか。散歩道の整備。など）	8
●健康づくり施策などに関すること		(14)
10	勤労者向けに土日や自宅での空いた時間に利用できるような保健事業をしてほしい。	4
11	予算が限られているので効果的な取り組み・運用をしてほしい。	3
12	高齢者や一人暮らしの人等の参加を促進してほしい。	2
13	その他（健康づくり施設や場の整備・充実。健康の阻害要因である貧困をなくすべき。など）	5
●健康教室・健康相談に関すること		(8)
14	相談事業を充実させてほしい（夜遅くまでメール受付、介護者の相談、など）。	2
15	その他（託児可能な体操教室があるとよい。身近な場所で健康講座を行ってほしい。健康体操にかかる経費に補助がほしい。など）	6
●医療・病院等に関すること		(26)
16	市に総合病院、市民病院をつくってほしい。	18
17	高齢者の医療費に援助がほしい。	2
18	その他（高齢者の在宅医療を考えてほしい。市内に医療機関が少ない。など）	6
●健康づくりに取り組んでいること		(5)
19	その他（規則正しい生活を心がけたい。体に合わせて実施すべき運動等を努力してやっていきたい。筋トレ等をして鍛えている。など）	5
●情報提供の充実に関すること		(6)
20	難病のことをもっと多くの人に理解してもらいたい。	2
21	健康に関する小冊子を定期的にいただきたい。	1
22	その他（健康づくり団体の活動内容等を周知してほしい。ロコモ予防の話を以前から知っていればと悔やんでいる。「計画」についてもっと周知すべきである。）	3
●アンケートに関すること		(4)
23	健康に関することを少しでも考える時間ができた。この調査はもっとたくさんの人に行って結果を公開してほしい。	1
24	その他（アンケートの意見を反映し市からの対応策を提案してほしい。調査項目が多すぎると思う。など）	3
●その他		(27)
25	老人ホーム、リハビリ施設等を充実してほしい。	4
26	その他（あしがるバスの便を増やしてほしい。高齢者が集まる会合等の機会を増やしてほしい。現在は大丈夫だが将来はお世話になると思う。など）	23

12 中学生以下の子どもがいる保護者への質問

12-1 子どもの年齢

問67 お子さんの年齢はおいくつですか。（平成26年6月1日現在）（いくつでも）

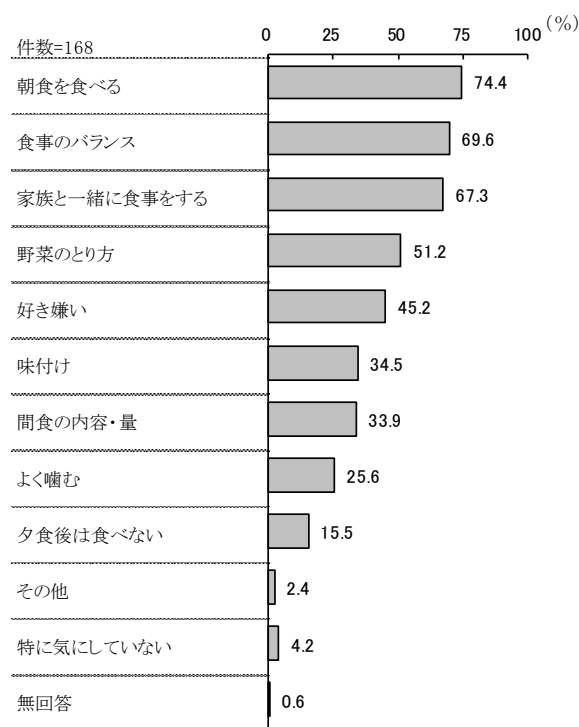
- 子どもの年齢は、「小学生」が44.6%で最も高く、次いで「3歳以上～就学前」が31.0%、「中学生」が24.4%となっている。



12-2 子どもの「食」について気をつけていること

問68 お子さんの「食」について、気をつけていることは何ですか。（いくつでも）

- 子どもの「食」について気をつけていることは、「朝食を食べる」が74.4%で最も高く、次いで、「食事のバランス」(69.6%)、「家族と一緒に食事をする」(67.3)が6割台、「野菜のとり方」(51.2%)が5割台で続いている。



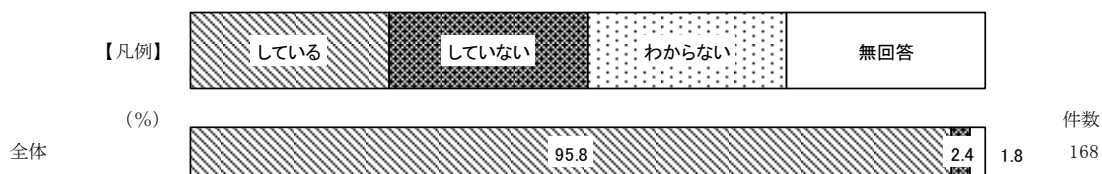
- 前回調査と比較すると、いずれの項目についても前回より増加しており、特に「食事のバランス」「家族と一緒に食事をする」「味付け」は10ポイント以上増加している。

	件数 (件)	朝食を食べる	食事のバランス	家族と一緒に食事をする	野菜のとり方	好き嫌い	味付け	間食の内容・量	よく噛む	夕食後は食べない	その他	特に気にしていない	無回答
今回調査 (H26)	168	74.4	69.6	67.3	51.2	45.2	34.5	33.9	25.6	15.5	2.4	4.2	0.6
前回調査 (H22)	177	66.7	53.7	54.8	44.6	21.5	25.4	19.2	13.0	2.3	0.6	16.4	

12-3 子どもが大人と一緒に食事をする機会

問69 お子さんは、1日最低1回は家族のうち大人の人と一緒に食事をしていただけますか。（1つだけ）

- 子どもが1日最低1回は家族のうち大人と一緒に食事をしているかをたずねたところ、「している」は95.8%となっている。一方、「していない」は2.4%となっている。

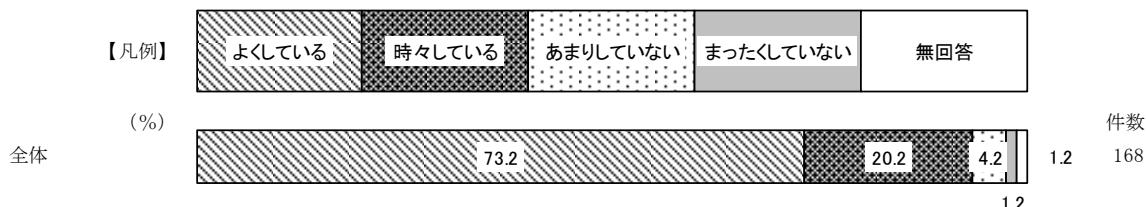


12-4 子どもの運動の状況

問70 お子さんは、運動や身体を動かす遊びや活動をしていますか。（1つだけ）

- 子どもが運動や身体を動かす遊びをしているかをたずねたところ、「よくしている」が73.2%で最も高く、「時々している」(20.2%)とあわせると、『している』は93.4%となる。一方、『していない※』は5.4%となっている。

※「あまりしていない」「まったくしていない」の計



- 前回調査と比較すると、「よくしている」が25.2ポイント増加している。

	件数 (件)	よくしている (%)	時々している (%)	あまりしていない (%)	まったくしていない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	168	73.2	20.2	4.2	1.2	1.2
前回調査 (H22)	177	48.0	23.7	10.2	1.1	16.9

12-5 子どもの生活習慣

問71 お子さんは、早寝・早起きなど規則正しい生活習慣を心がけていますか。（1つだけ）

- 子どもが規則正しい生活習慣を心がけているかについては、「いつも心がけている」「できるだけ心がけている」をあわせた『心がけている』が89.3%となっている。一方、「心がけていない」は9.5%となっている。



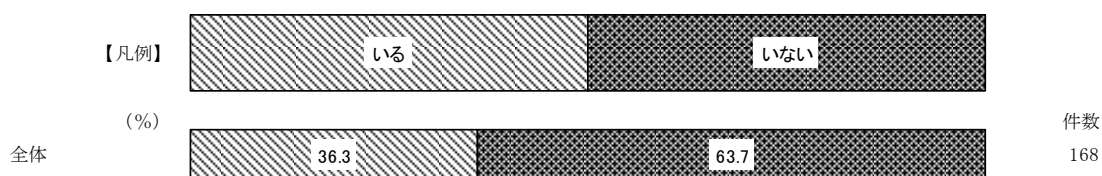
- 前回調査と比較すると、「いつも心がけている」が10.1ポイント増加しているが、「心がけていない」も4.4ポイント増加している。

	件数 (件)	いつも心がけている (%)	できるだけ心がけている (%)	心がけていない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	168	41.7	47.6	9.5	1.2
前回調査 (H22)	177	31.6	46.9	5.1	16.4

12-6 家族内喫煙者の有無

問72 家族にたばこを吸う人はいますか。（1つだけ）

- 家族に喫煙者がいるかについては、「いる」が36.3%で、およそ3人に1人の割合となっている。



- 前回調査と比較すると、「いない」が10.0ポイント増加しているが、「いる」も5.2ポイント増加している。

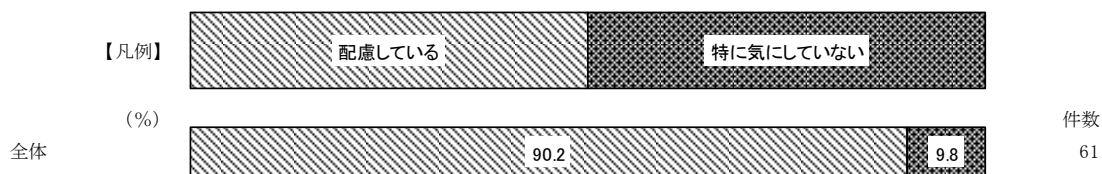
	件数 (件)	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
今回調査 (H26)	168	36.3	63.7	-
前回調査 (H22)	177	31.1	53.7	15.3

12-7 子どもへの受動喫煙への配慮

【問72で「いる」と回答した方】

問72-1 お子さんのいるところでたばこを吸わないよう（子どもが煙を吸わないよう）に配慮していますか。（1つだけ）

- 子どもへの受動喫煙への配慮については、「配慮している」が90.2%となっている。一方、「特に気にしていない」は9.8%となっている。



- 前回調査と比較すると、「配慮している」が17.5ポイント増加している。

	件数 (件)	配慮している (%)	い特に ない気に にして して
今回調査 (H26)	61	90.2	9.8
前回調査 (H22)	55	72.7	27.3

12-8 子どもへの飲酒防止への配慮

問73 家族がお酒を飲むときに、お子さんにはお酒をすすめないようにしていますか。（1つだけ）

- 子どもへの飲酒防止への配慮については、「している」が64.9%、「していない」が8.9%となっている。また、「家族のだれも飲まない」が24.4%となっている。



12-9 子どもの歯科健診

問74 お子さんを歯科医院の定期健診に連れて行っていきますか。(1つだけ)

- 子どもを歯科医院の定期健診に連れて行っているかについては、「はい」が60.7%、「いいえ」が38.1%となっている。



- 前回調査と比較すると、「はい」が8.2ポイント増加しているが、「いいえ」も6.5ポイント増加している。

(%)	(件数)	はい	いいえ	無回答
今回調査 (H26)	168	60.7	38.1	1.2
前回調査 (H22)	177	52.5	31.6	15.8

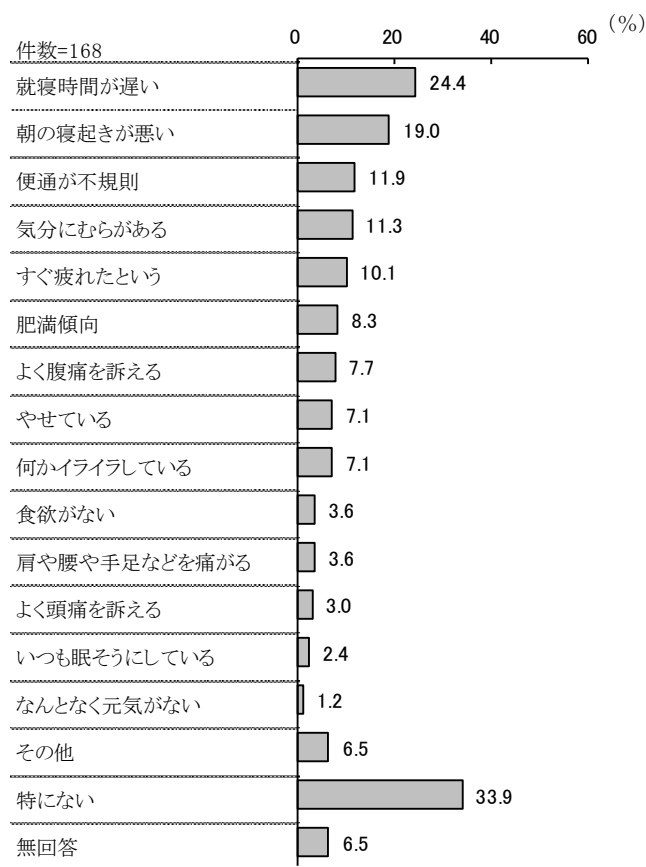
12-10 子どもの健康について気になっていること

問75 お子さんの健康について、現在気になっていることは何ですか。（いくつでも）

● 子どもの健康について気になっていることがある人※は59.6%で、具体的には「就寝時間が遅い」が24.4%で最も高く、次いで「朝の寝起きが悪い」が19.0%、「便通が不規則」が11.9%、「気分がむらがある」が11.3%、「すぐ疲れたという」が10.1%となっている。一方、「特にない」は33.9%となっている。

● 性別で見ると、子どもの健康について気になっていることがある人は男性が54.6%、女性が62.0%で、女性が高くなっている。具体的には、「朝の寝起きが悪い」「よく腹痛を訴える」は女性の割合が高く、「気分がむらがある」「特にない」は男性の割合が高くなっている。

※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合



	件数(件)	就寝時間が遅い	朝の寝起きが悪い	便通が不規則	気分がむらがある	すぐ疲れたという	肥満傾向	よく腹痛を訴える	やせている	何かイライラしている	食欲がない	肩や腰や手足などを痛がる	よく頭痛を訴える	いつも眠そうにしている	なんとなく元気がない	その他	特にない	無回答
全体	168	24.4	19.0	11.9	11.3	10.1	8.3	7.7	7.1	7.1	3.6	3.6	3.0	2.4	1.2	6.5	33.9	6.5
男性	66	22.7	15.2	9.1	16.7	7.6	6.1	4.5	7.6	7.6	1.5	1.5	3.0	3.0	-	3.0	40.9	4.5
女性	100	26.0	22.0	14.0	7.0	11.0	10.0	10.0	7.0	6.0	5.0	5.0	3.0	2.0	2.0	9.0	30.0	8.0

● 前回調査と比較すると、気になっていることがある人は12.7ポイント増加している（前回46.9%→今回59.6%）。具体的には「就寝時間が遅い」「朝の寝起きが悪い」「よく腹痛を訴える」が5ポイント以上増加している。

	件数(件)	就寝時間が遅い	朝の寝起きが悪い	便通が不規則	気分がむらがある	すぐ疲れたという	肥満傾向	よく腹痛を訴える	やせている	何かイライラしている	食欲がない	肩や腰や手足などを痛がる	よく頭痛を訴える	いつも眠そうにしている	なんとなく元気がない	その他	特にない	無回答
今回調査 (H26)	168	24.4	19.0	11.9	11.3	10.1	8.3	7.7	7.1	7.1	3.6	3.6	3.0	2.4	1.2	6.5	33.9	6.5
前回調査 (H22)	177	15.3	12.4	10.2	12.4	9.6	6.2	2.3	8.5	6.2	5.1	3.4	1.1	3.4	-	4.0	33.9	19.2

12-11 自由意見

問76 お子さんの健康に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

- 子どもの健康に関するご意見・ご要望をたずねたところ、27人から30件の意見が得られた。内容は以下のとおりである。

No.	内 容	件数
●健康診査・予防接種等に関すること		(6)
1	予防接種を完全無料化してほしい。	2
2	市の健診で診てもらえるのは助かる。	1
3	保育園でのフッ素塗布の機会が増えるとよい。	1
4	小さい頃の予防接種は検診もありわかりやすいが、大きくなると書面のみでわかりづらい。	1
5	歯科で歯磨き後のフッ素塗布を勧められたが、健診や保育園でもしてくれるので歯科に通うタイミングがわからない。	1
●育児教室・子どもの健康相談に関すること		(5)
6	子どもの健康管理についての相談が気軽にできる窓口をつくってほしい。	1
7	その他（妊婦のための講座や子どもの健康相談をもっと踏み込んだ内容で実施してほしい。スクールカウンセラー等子どもの相談相手を設置してほしい。など）	4
●医療・病院等に関すること		(2)
8	市に大きな市民病院をつくってほしい。	1
9	小児科（専門等）が少なく、いつも大変混雑しているので困っている。	1
●子どもの健康の不安に関すること		(7)
10	食べ物の好き嫌が多い、食事をとらない等で、栄養バランスが悪く、体格が小さい。	3
11	その他（中学生の女子に子宮がんワクチンを受けさせるかどうか迷っている。アレルギー体質に悩んでいる。など）	4
●子どもをとりまく環境に関すること		(2)
12	健診で利用する福祉センターの出入口に灰皿が出してあるが、小さい子どもも出入りするの で設置場所に気を配ってほしい。	1
13	健康のために水や空気がきれいな街にしてほしい。	1
●アンケートに関すること		(1)
14	アンケートがどのように使われているのか今後わかるように説明してほしい。	1
●その他		(7)
15	その他（給食で毎日色々な献立があり助かる。親子で参加できる行事を今後も続けてほしい。 など）	7